

わ031  
36  
2

頭書増補訓蒙図彙

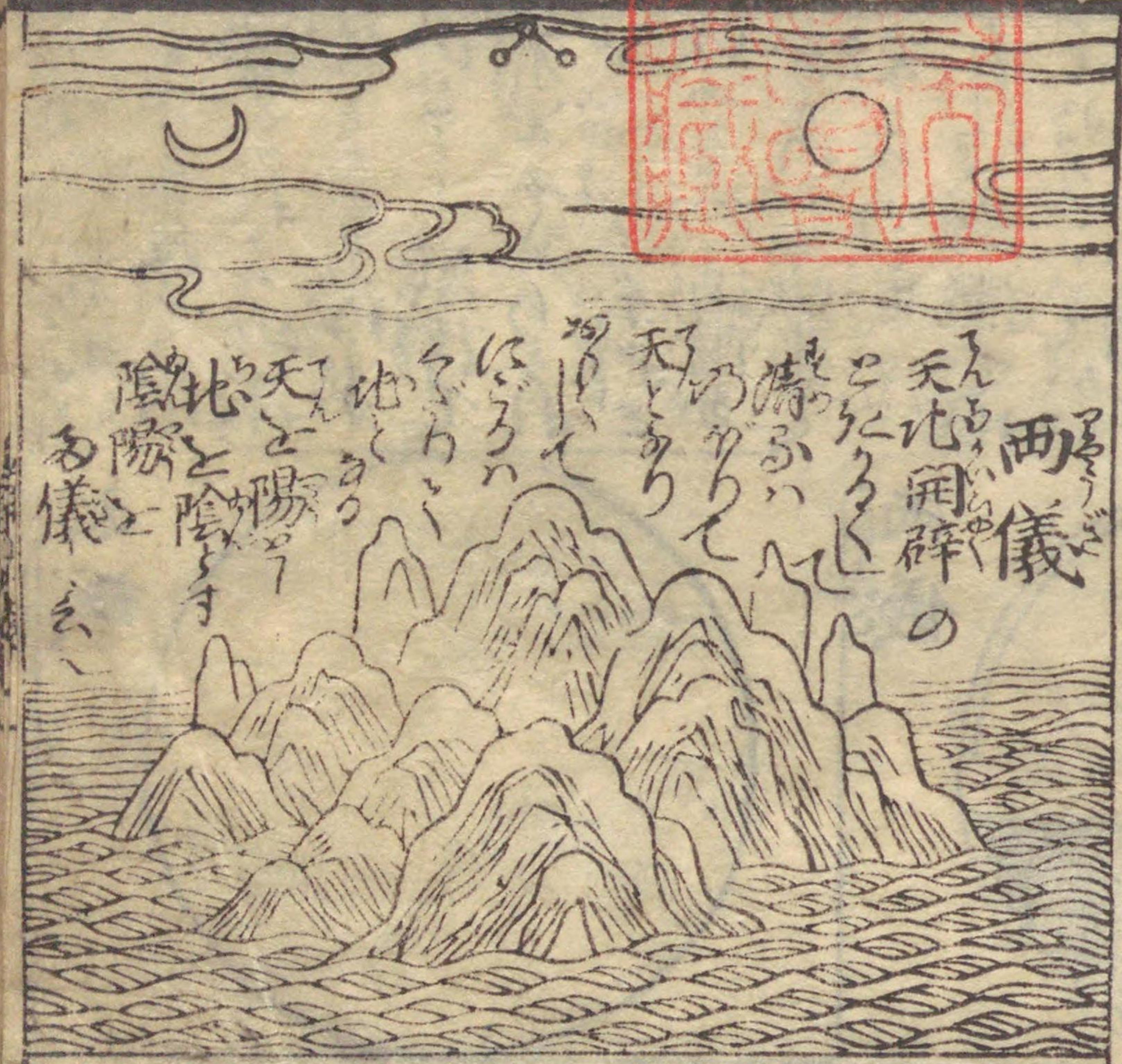




頭書增補訓蒙圖彙卷之一

天文

此部は日月星辰の文章のれが易曰仰現於天文

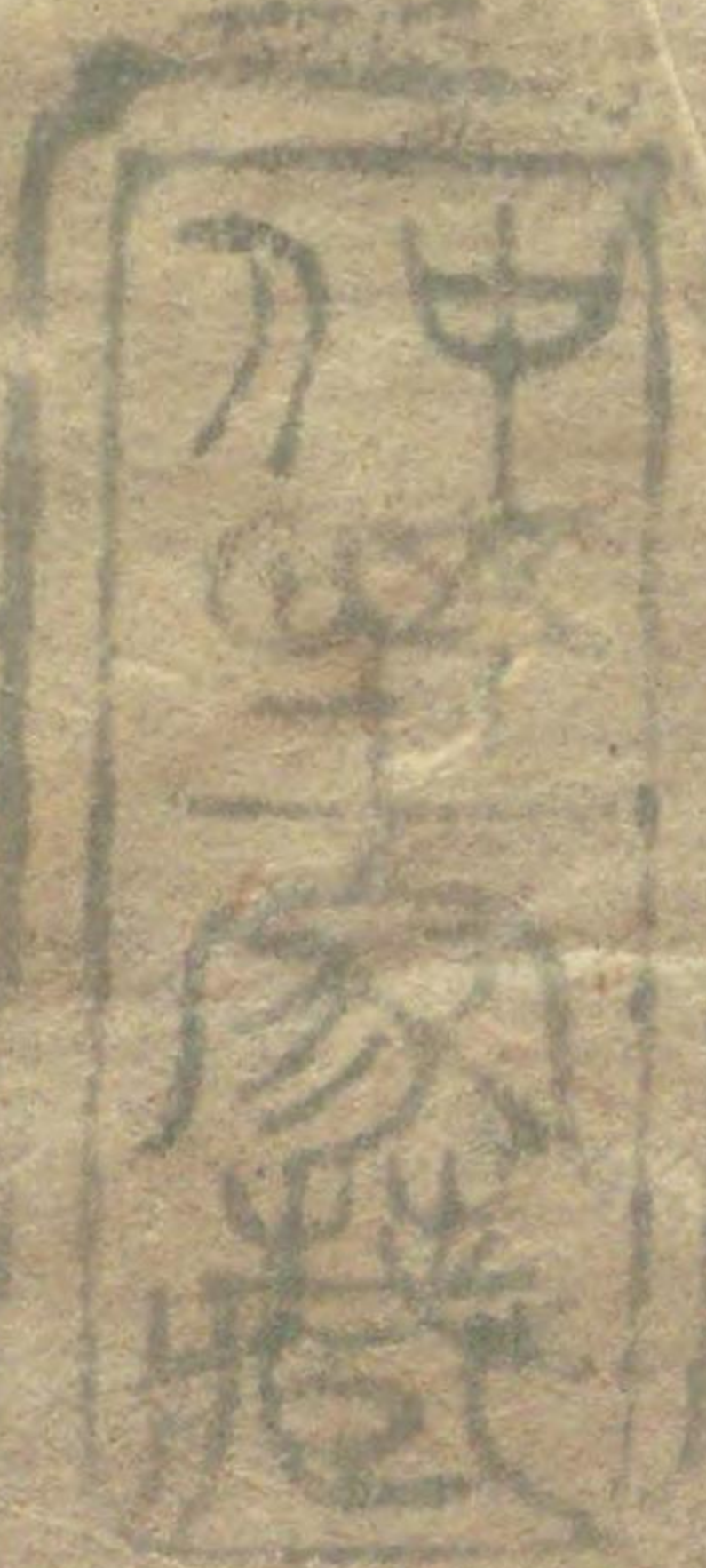
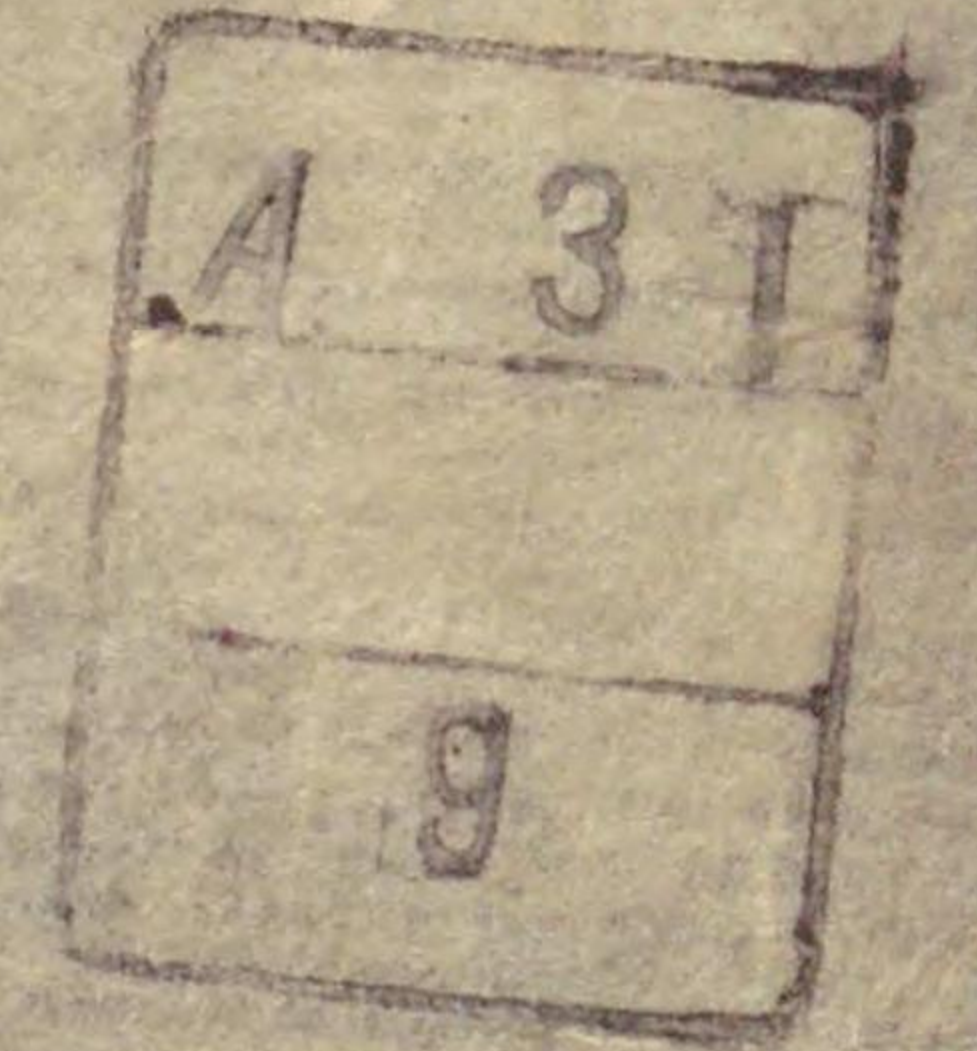
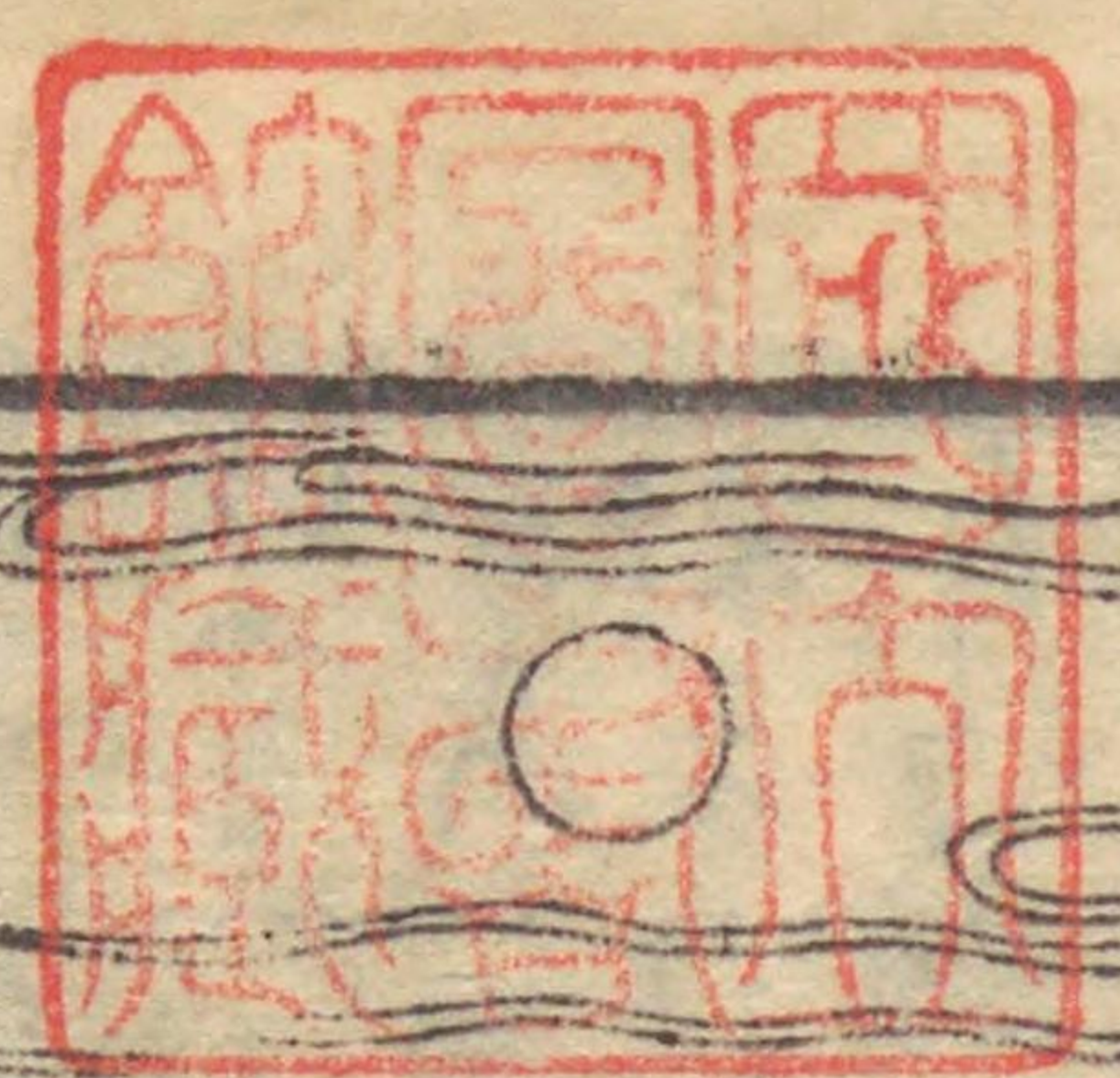


七政

日月と五星と合して七政といふ

木星と歳星と土星  
星と熒惑と金星  
と太白と木星  
と辰星と土星  
金星の五行の星  
りて陰陽と  
一歳と日と  
五星と五緯といふ

|    |    |    |    |    |    |    |
|----|----|----|----|----|----|----|
| 月  | 日  | 木星 | 金星 | 土星 | 火星 | 木星 |
| ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| 水星 | 金星 | 土星 | 火星 | 木星 | 火星 | 木星 |













8 9 170 1 2 3 4 5 6 7 8 9 180 1 2 3 4 5 6 7 8 9 190 1 2 3 4 5 6 7 8 9 100

○日蝕ハ日月天  
ハミテハハ上ハ月  
ハ下ハ月ハ日月の  
會之日月上下ハ  
ミテ道ハミテ  
會日ハ日月の  
ハミテハハ上ハ月  
ハ下ハ月ハ日月の  
會之日月上下ハ  
ミテ道ハミテ

虚空

虚空ハミテハミテハ  
ハミテハミテハミテハ  
ハミテハミテハミテハ  
ハミテハミテハミテハ  
ハミテハミテハミテハ  
ハミテハミテハミテハ  
ハミテハミテハミテハ  
ハミテハミテハミテハ

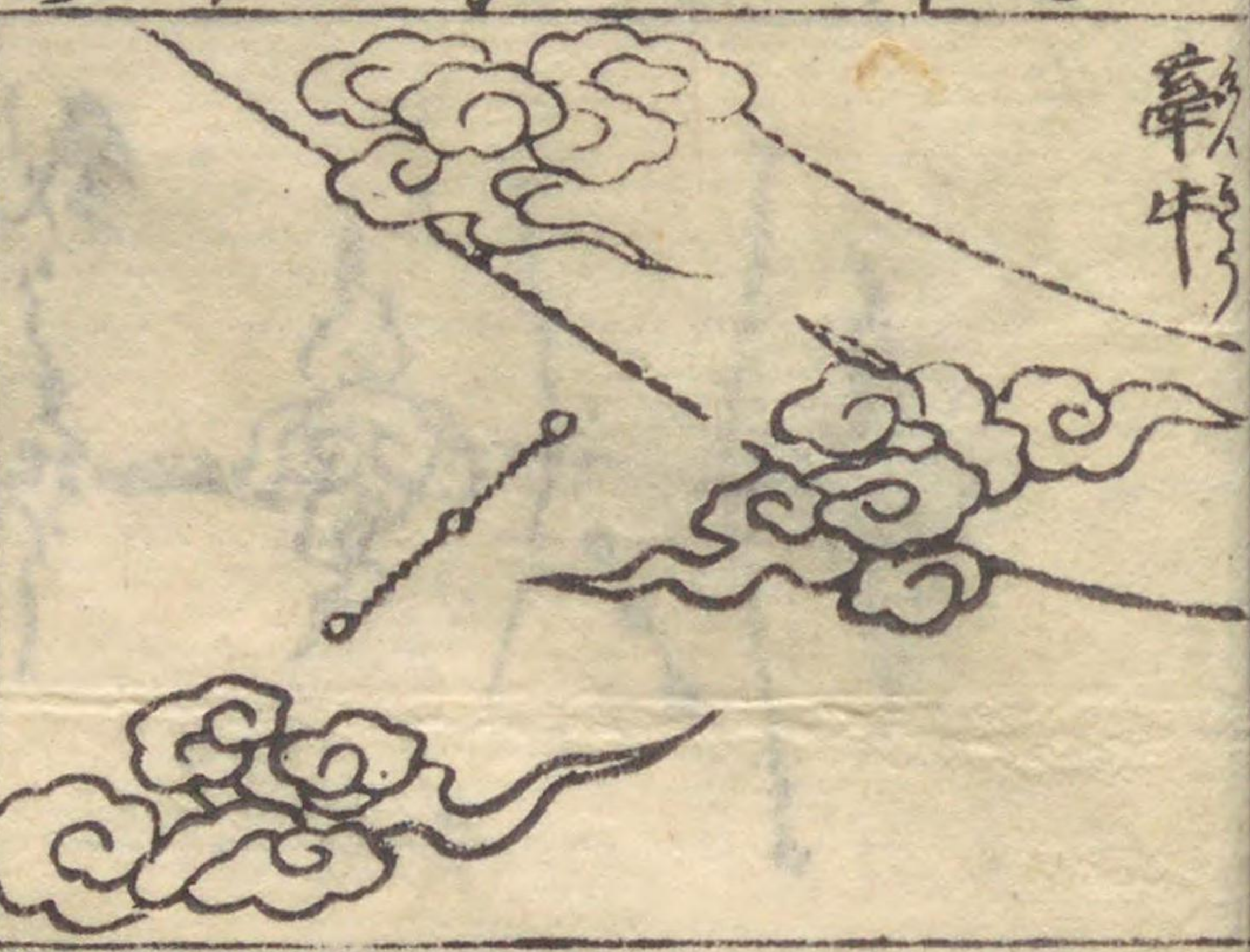
日蝕



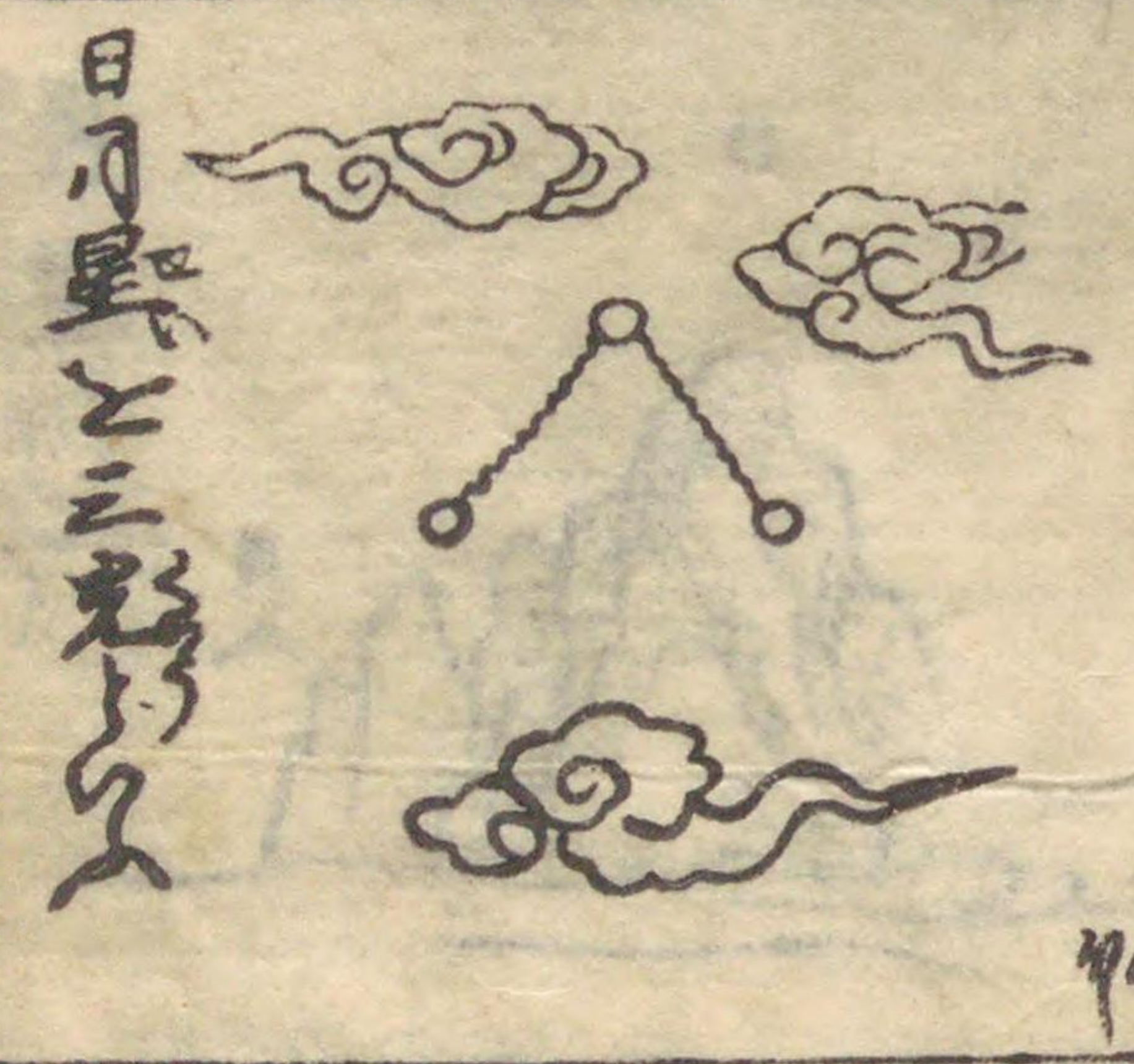
虚空



牛



星



日月星

○月蝕ハ日月ハ  
光ハ日ハ光ハ受  
テ明クハ日月  
還テ月ハミテハ  
地ハ月ハミテハ  
ハミテハミテハ  
ハミテハミテハ  
ハミテハミテハ

月蝕



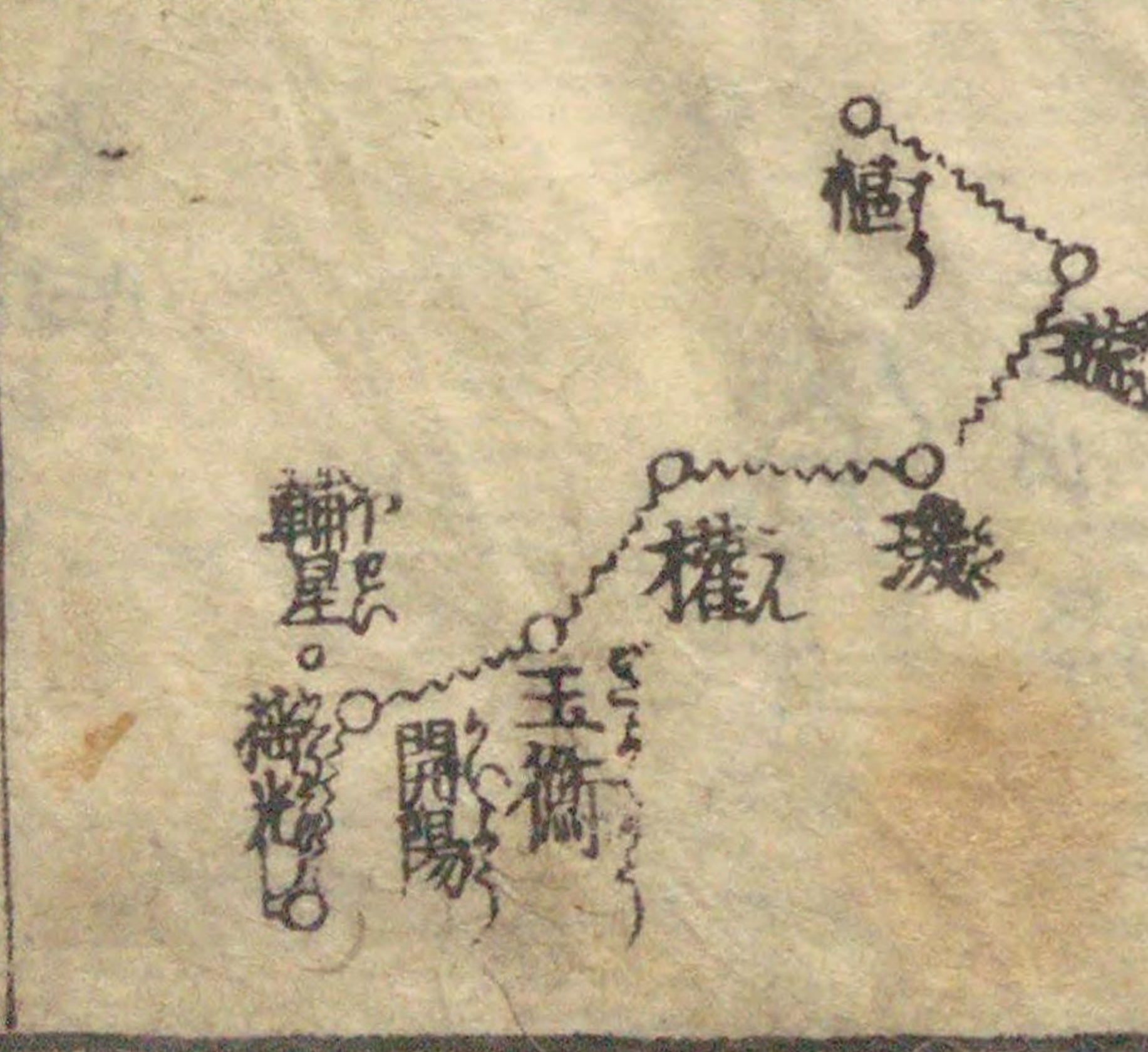
天漢



織女



牛



玉衡  
開陽  
輔星  
權星

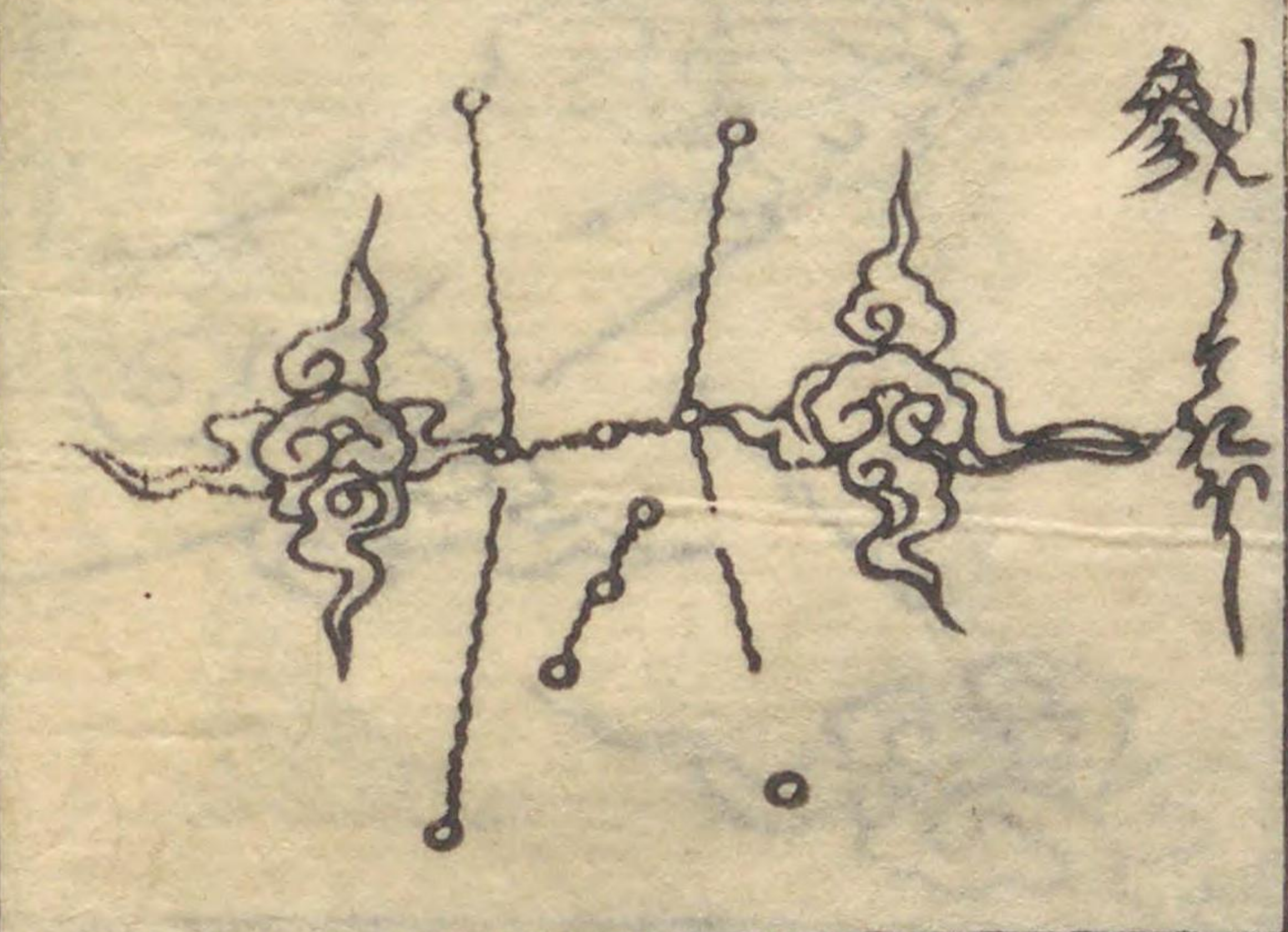


8 9 170 1 2 3 4 5 6 7 8 9 180 1 2 3 4 5 6 7 8 9 190 1 2 3 4 5 6 7 8 9

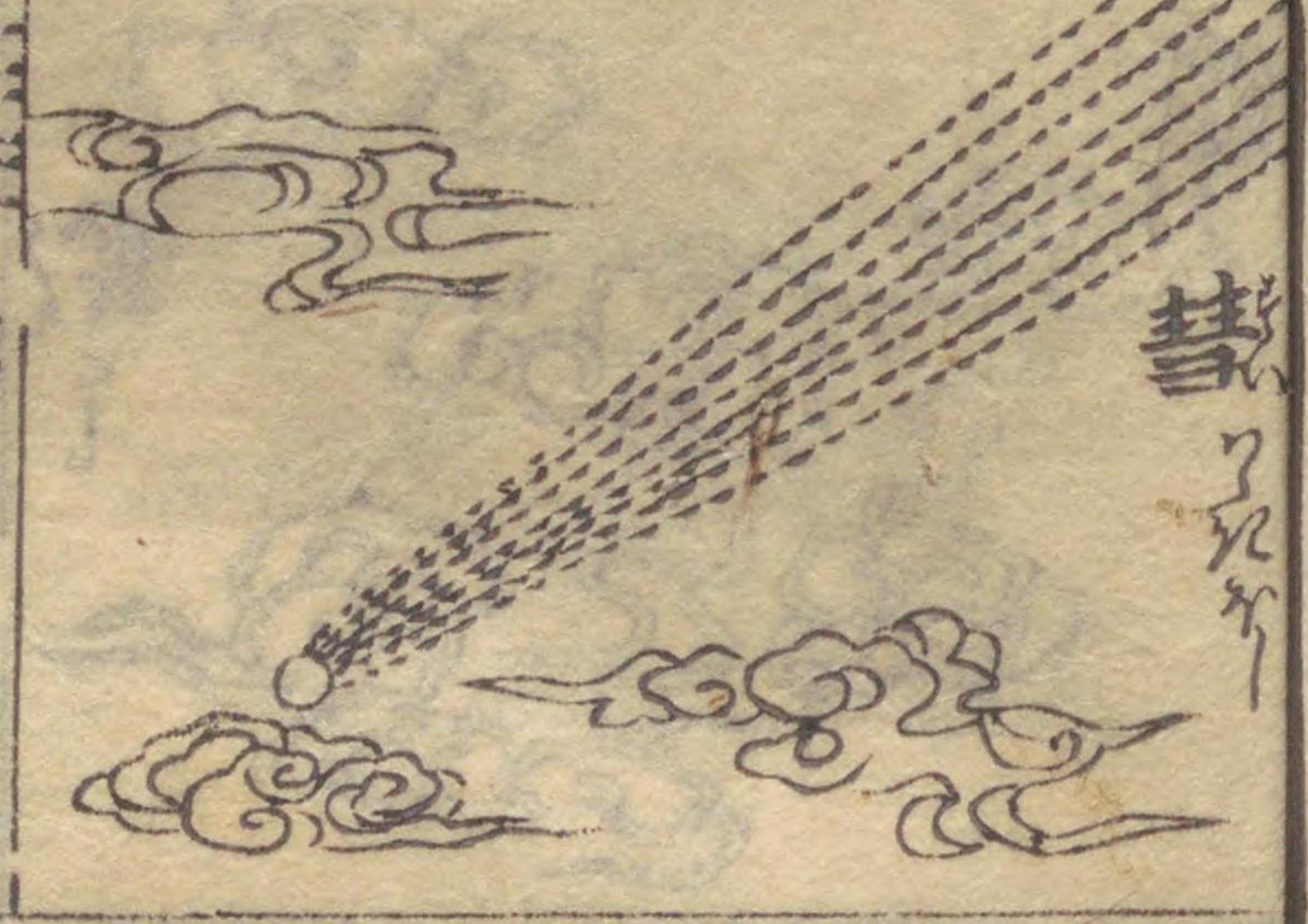
長庚の星の金  
星あり金星の  
あつたての  
長庚星の  
つくとの  
参



参星の西方  
七の  
俗  
あり星の  
く



参星の俗  
星の色  
候  
兵  
わ  
り



虹の日雨  
て  
の  
五  
帯  
の



太白の金星  
わ  
俗  
の  
の  
金星  
の  
の



参星の西方  
一  
星  
の  
の  
の



参星の妖星  
の  
の  
の  
の  
の  
の



暈の日月の  
の  
の  
の  
の  
の  
の





○風ハ大塊の噴  
 氣より陽の祥小  
 用と散して陰の  
 小風と死の土  
 風ハ大塊の噴  
 氣より陽の祥小  
 用と散して陰の  
 小風と死の土



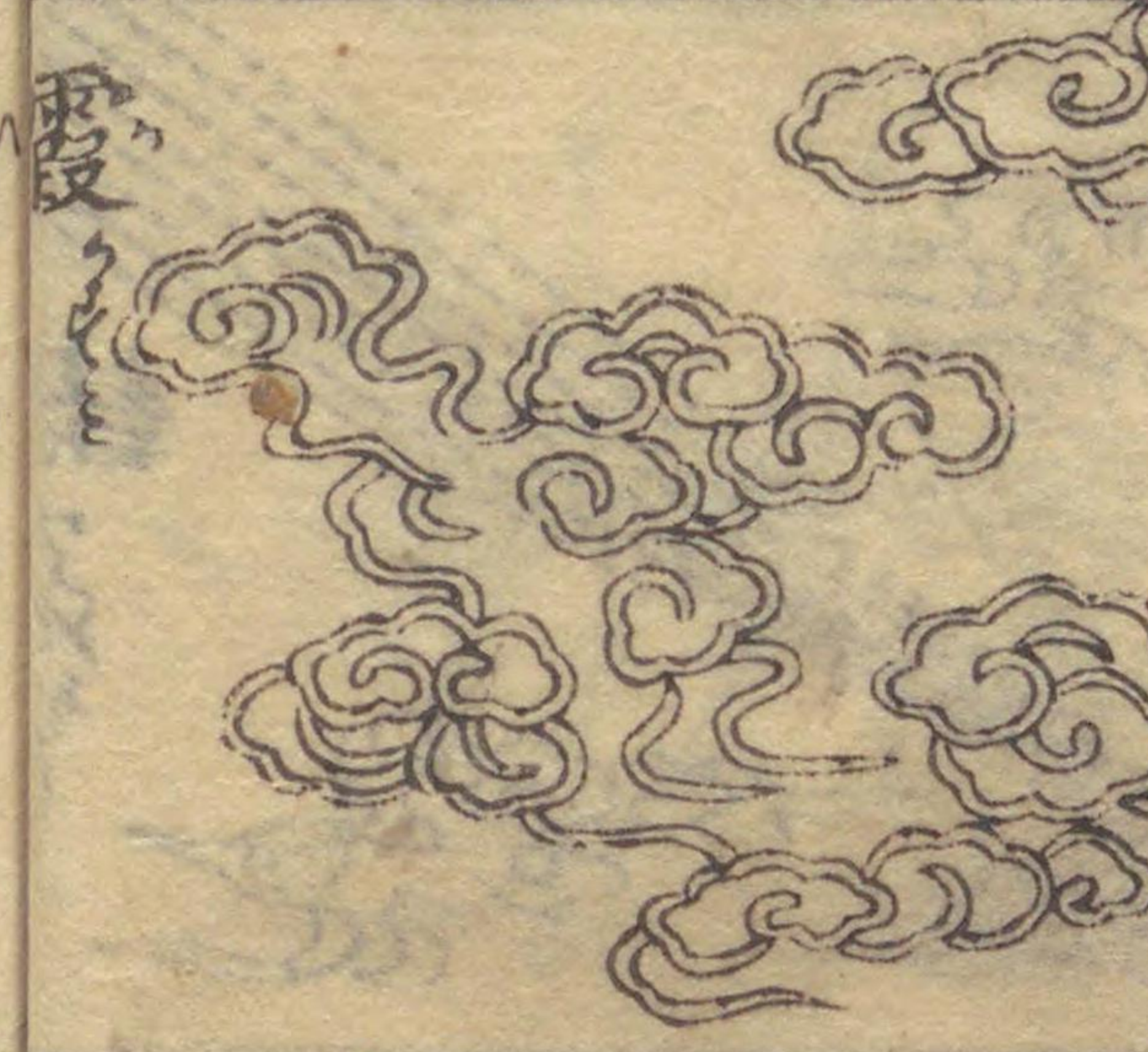
風のまは

○霧ハ陰陽の交  
 くれより生れ地  
 氣のつゞき天  
 急せよと霧と云  
 天急せよと霧と云  
 急せよと霧と云  
 急せよと霧と云



霧のまは

○雲ハ山頂のた  
 かり地をのかつ  
 雲トあり天をく  
 かつくあり天をく  
 雲トあり天をく  
 雲トあり天をく



雲のまは

○雷ハ陰陽の  
 激なりと云玉を  
 論衡と云書  
 雷乃くさる一人  
 のカ士ありて  
 ぐら連鼓と云  
 りら右れ文に鞭  
 のいでらて色  
 さあせと云り



雷のまは

○雨ハ水蒸て雲  
 とありて雨と云  
 雨とありて雨と云  
 とありて雨と云  
 とありて雨と云



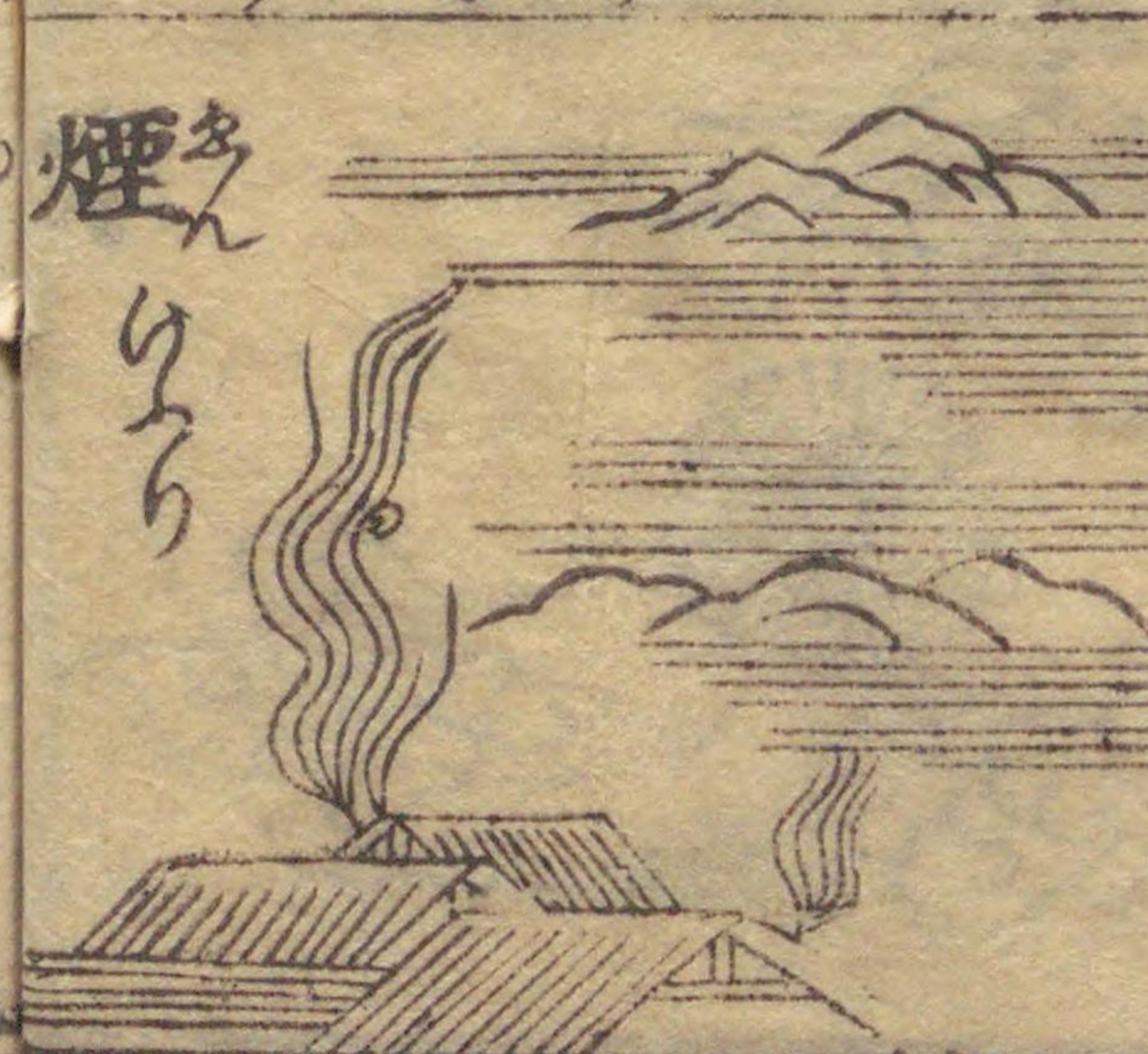
雨のまは

○露ハ夜に生れ  
 とありて露と云  
 とありて露と云  
 とありて露と云  
 とありて露と云



露のまは

○煙ハ火の升る  
 気あり煙日  
 火を昇るの  
 火を昇るの  
 火を昇るの  
 火を昇るの



煙のまは

○電ハ二月  
 この月陽気  
 さんけで脚  
 とらその激  
 俗いといふ  
 とら雷神と電母



電のまは



170 1 2 3 4 5 6 7 8 9 180 1 2 3 4 5 6 7 8 9 190 1 2 3 4 5 6 7 8 9

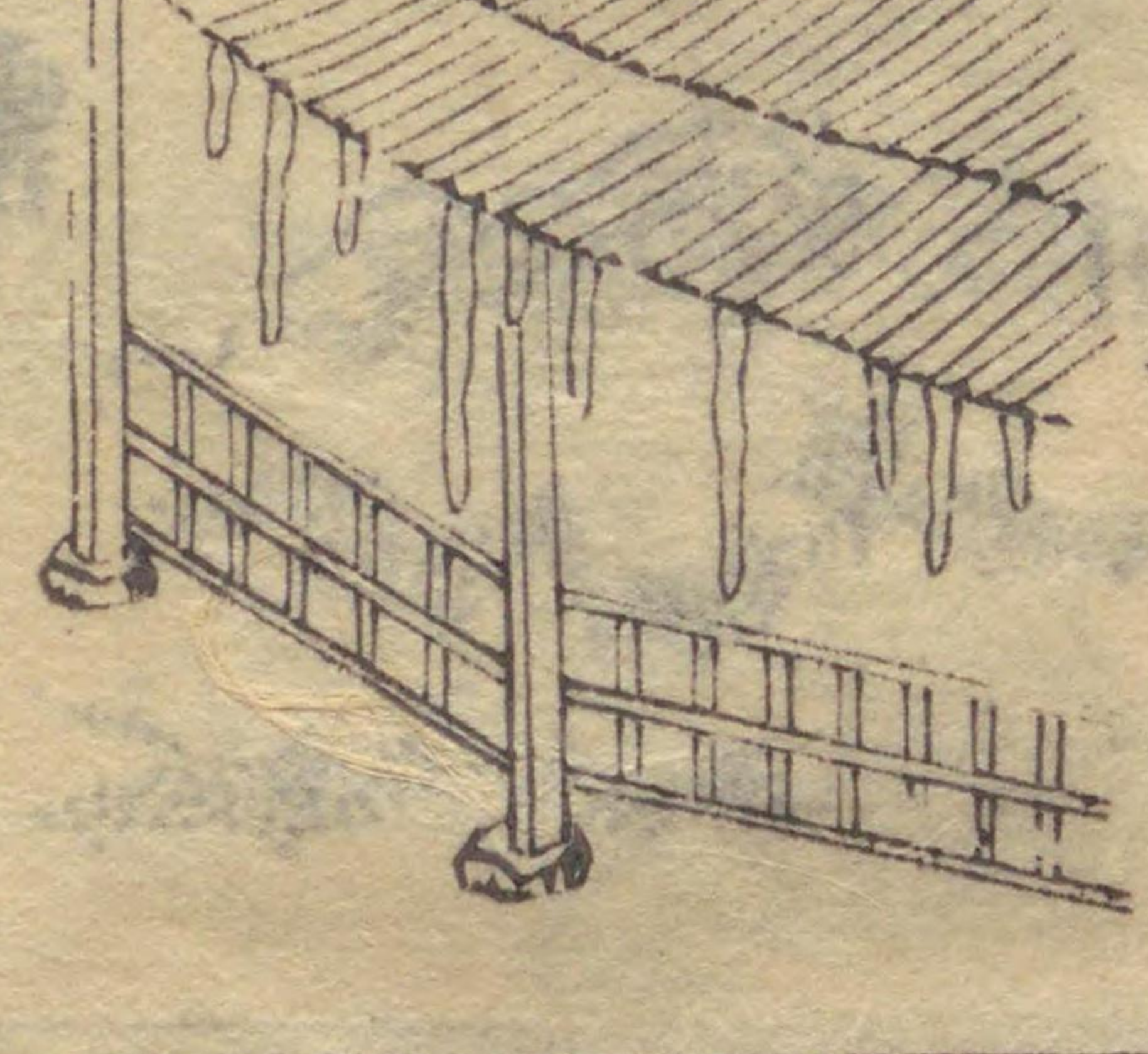
○氷の陰気のお

つまふりしきより  
時氷の陰気は氷と  
多り氷と氷のあま  
まりん氷と氷の  
氷つりぬりと氷と  
り氷と氷のあま  
と凍りぬり氷か  
多り氷と氷のあ  
氷と氷のあま  
氷柱  
氷柱のひそお  
まきぬとのあ  
りぬりぬり氷  
柱とぬり氷筋  
氷柱とぬり  
氷筋とぬりぬり

氷



補 氷



○雪の雨のりく

雪のりく天地の  
積陰のりく雨の  
るりぬり雨のり  
とひことぬり雪  
とぬりぬりぬり  
ふと電のりぬり  
銀のりぬりぬり  
とも銀のりぬり  
雪のりぬりぬり  
雪のりぬりぬり  
ふと電のりぬり  
銀のりぬりぬり  
とも銀のりぬり  
雪のりぬりぬり  
雪のりぬりぬり  
ふと電のりぬり  
銀のりぬりぬり  
とも銀のりぬり

雪



補 電



# 頭書増補訓蒙圖彙卷之二

## 地理

此部の山川田園林北村市乃ぬらぬり  
此の條理あり易云俯察於地理

○山のふたがて  
あつとりの廣雅云  
山の産ありと  
物と産とあり  
説文子山の宜也



山

○谷の雨の中  
の流水多り溪  
谷同ト水谷  
そくくと谷の  
山の間水あり  
と洞あり



谷

○麓の山は  
麓のりぬりぬり  
のりぬりぬりぬり  
ゆりぬりぬりぬり  
鹿のりぬりぬり  
鹿のりぬりぬり  
鹿のりぬりぬり



麓

○岬の山は  
岬のりぬりぬり  
のりぬりぬりぬり  
つぬりぬりぬり  
金岬のりぬり  
岬のりぬりぬり



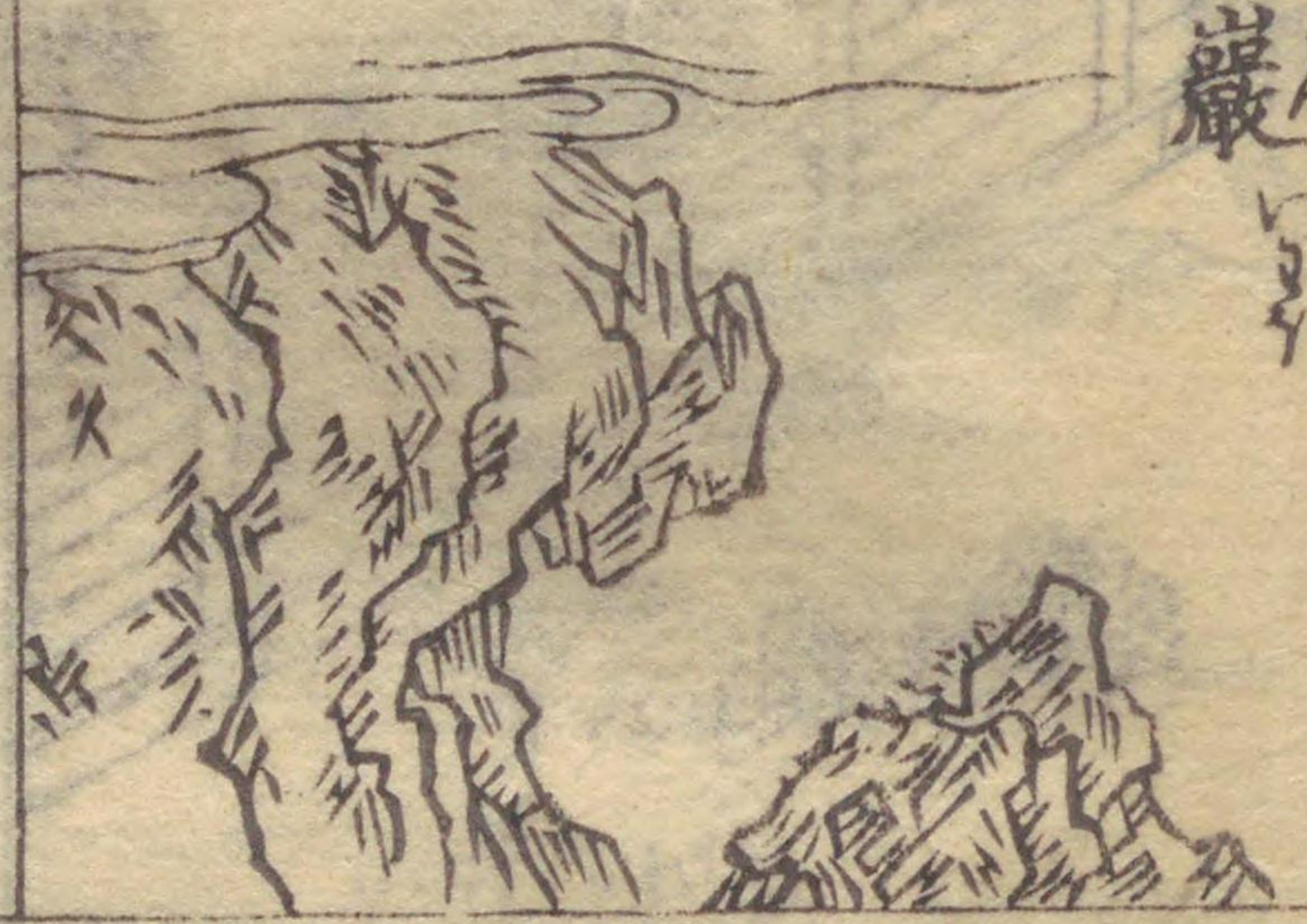
岬



巖いそ 巖いそのいそかえり  
まをれいそま  
まをれいそま  
石を巖とふ  
ふのまをれい  
てあういそま  
ふといふ経子  
維石巖いそをい  
りり岩同  
巖いそ  
○巖いそのいそ  
いそ一片を  
いそをいそ  
又懸崖とふ  
いそ



崖いそ



巖いそ

巖いそのいそかえり  
まをれいそま  
まをれいそま  
石を巖とふ  
ふのまをれい  
てあういそま  
ふといふ経子  
維石巖いそをい  
りり岩同  
巖いそ  
○巖いそのいそ  
いそ一片を  
いそをいそ  
又懸崖とふ  
いそ



坂いそ

峯いそ



洞いそ 洞いそのいそかえり  
まをれいそま  
まをれいそま  
石を巖とふ  
ふのまをれい  
てあういそま  
ふといふ経子  
維石巖いそをい  
りり岩同  
巖いそ  
○巖いそのいそ  
いそ一片を  
いそをいそ  
又懸崖とふ  
いそ

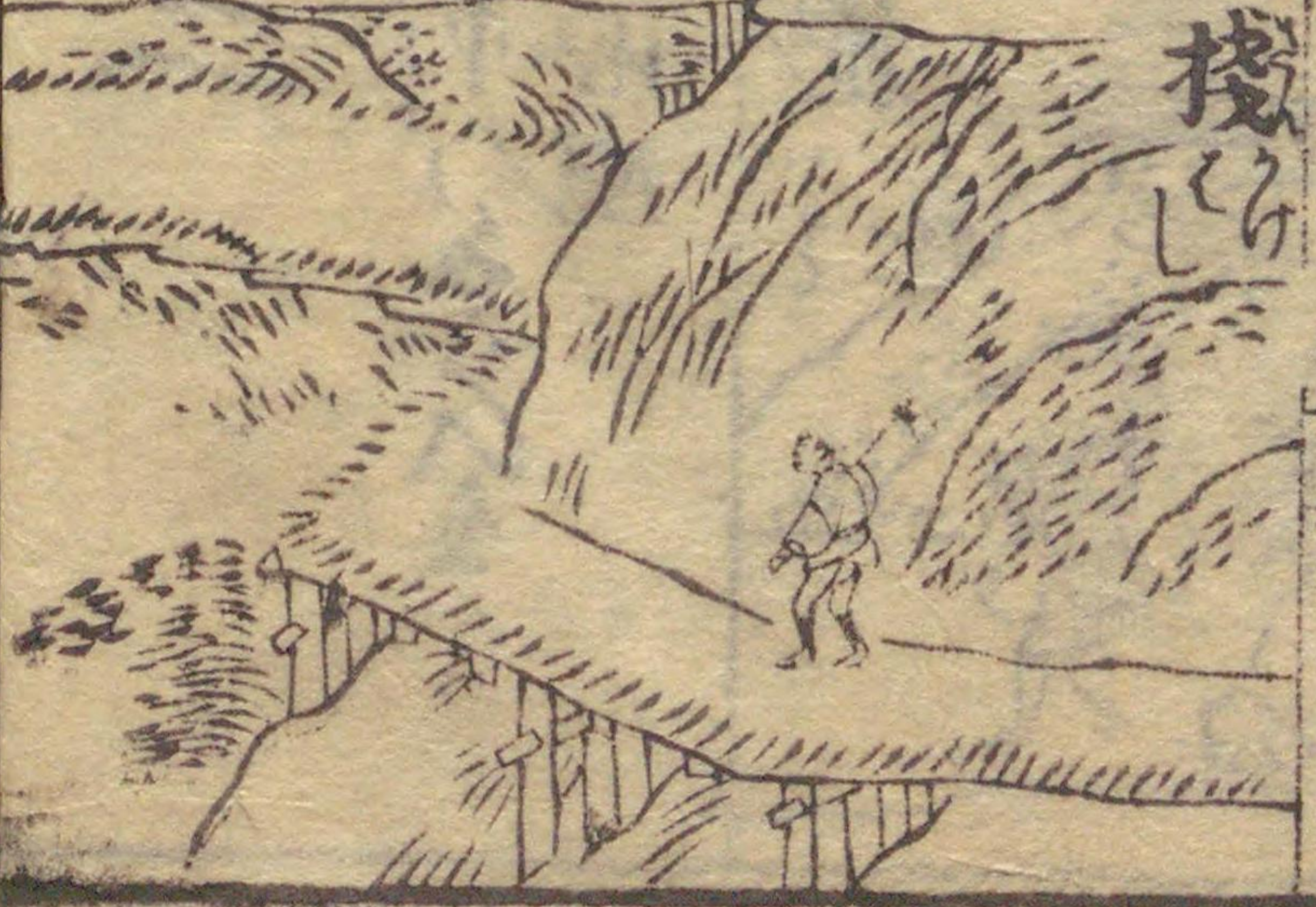


岸いそ



洞いそ

巖いそのいそかえり  
まをれいそま  
まをれいそま  
石を巖とふ  
ふのまをれい  
てあういそま  
ふといふ経子  
維石巖いそをい  
りり岩同  
巖いそ  
○巖いそのいそ  
いそ一片を  
いそをいそ  
又懸崖とふ  
いそ



棧いそ

巖いそ





磐 いし  
磐の大石あり大石  
と磐石といふ俗  
に大磐石といふ  
重言あり一又  
大磐石といふ  
いふ重言

沙 いさ  
沙の細散のり  
砂子破と身い  
をまりん説文  
木少子とさか  
水少子といふ  
織沙のゆりあり  
ごほい

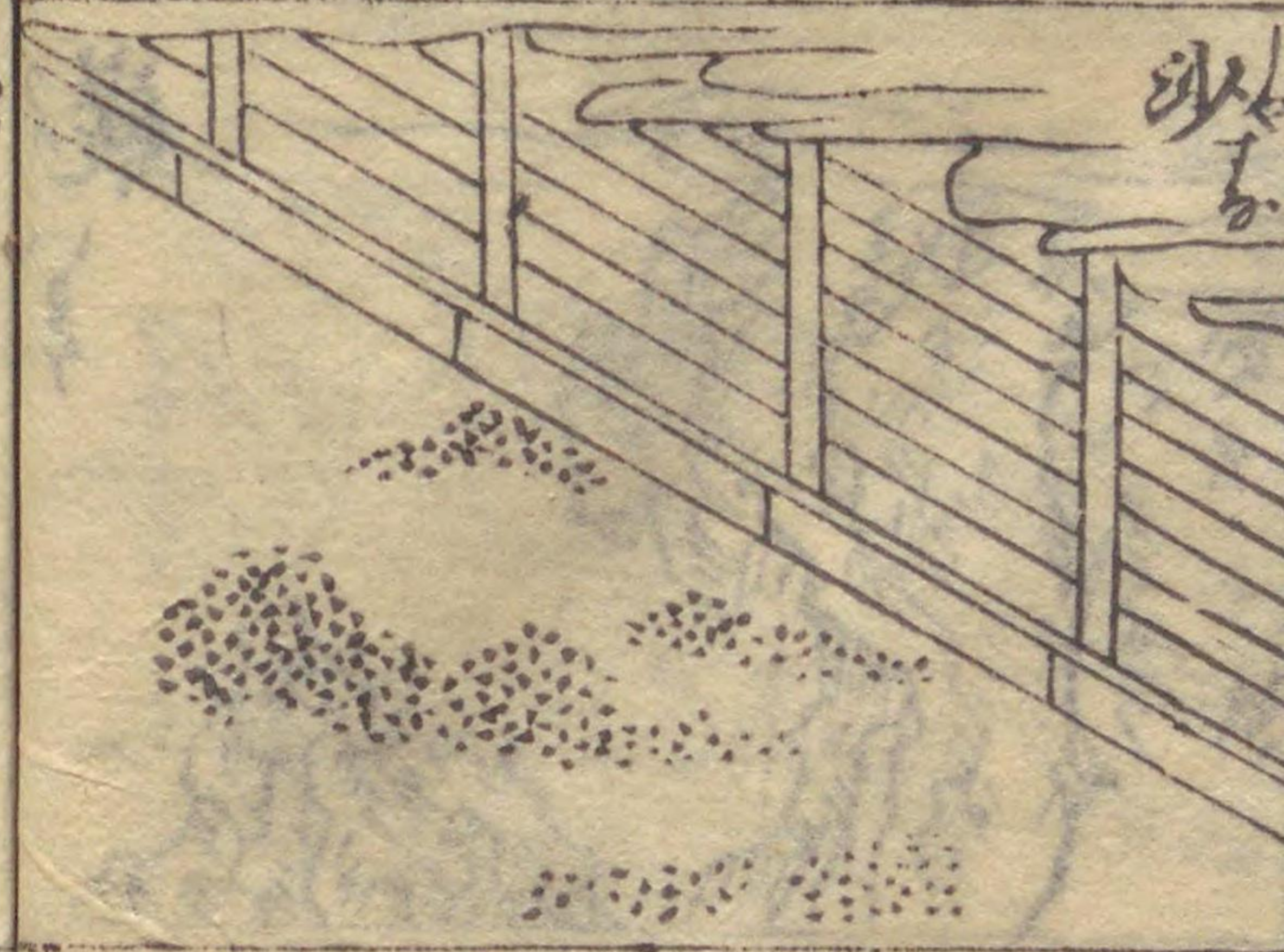
野 の  
郊外と野といふ  
野のいりて  
野のいりて  
野のいりて  
野のいりて  
野のいりて  
野のいりて  
野のいりて

田 た  
田の土と耕の  
名田の四方  
の田のいりて  
十の字の田に  
田のいりて  
田のいりて  
田のいりて  
田のいりて

磐 いし



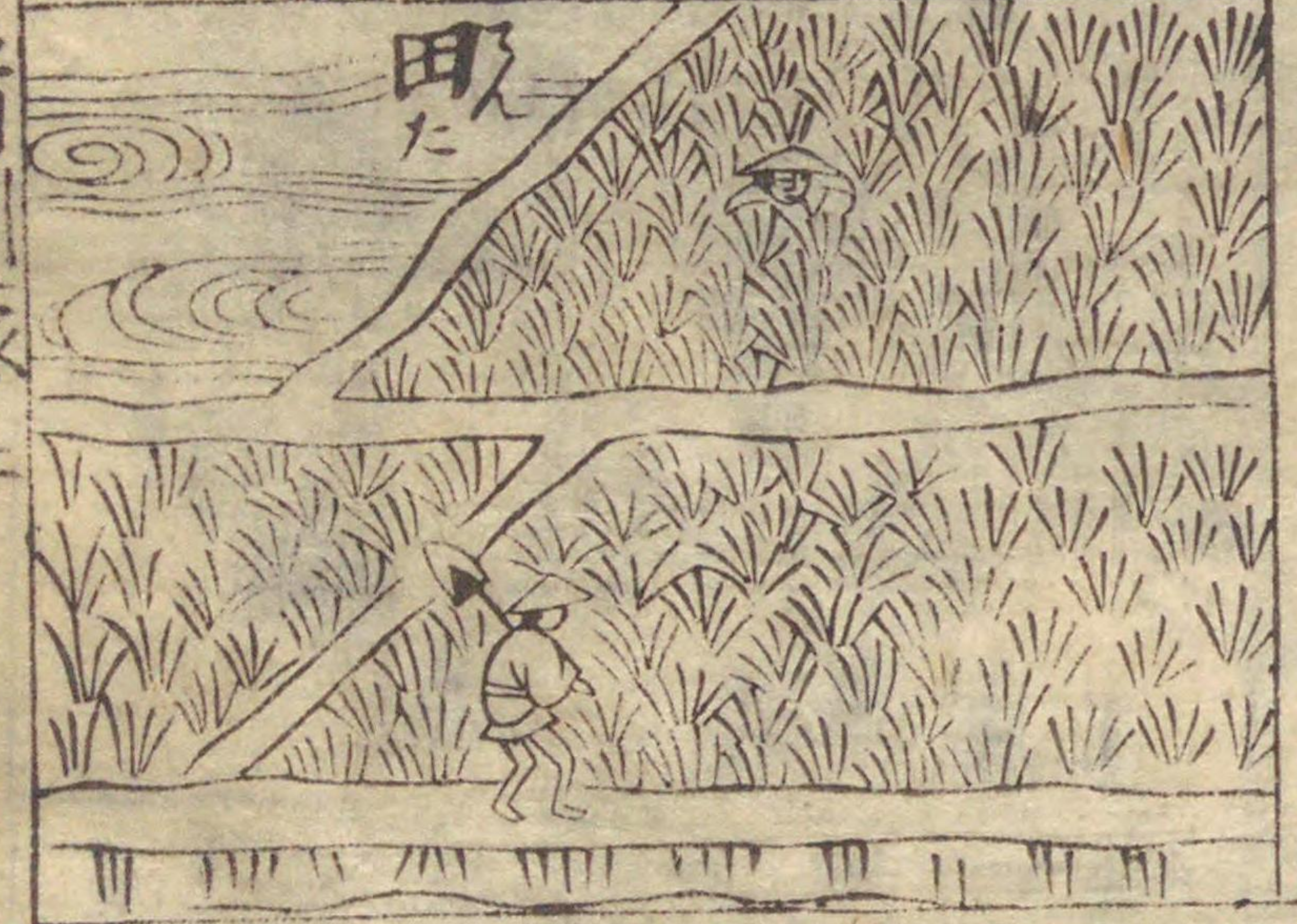
沙 いさ



野 の



田 た



礫 れき

○礫の石あり  
またいりて  
いりてその  
礫の石あり  
礫の石あり  
礫の石あり  
礫の石あり  
礫の石あり

石 いし

○石の山骨あり  
塊ありて  
令銀銅鉄と生  
星ありて  
お石に怪あり

牧 まき

○牧の畜と  
外と牧といふ  
六畜といふ  
の私養と牧とい  
と氏と中といふ  
羊といふ

園 のち

○園の果と  
ああり又あり  
とのと中といふ  
とありて  
とありて  
とありて  
とありて  
とありて

礫 れき



石 いし

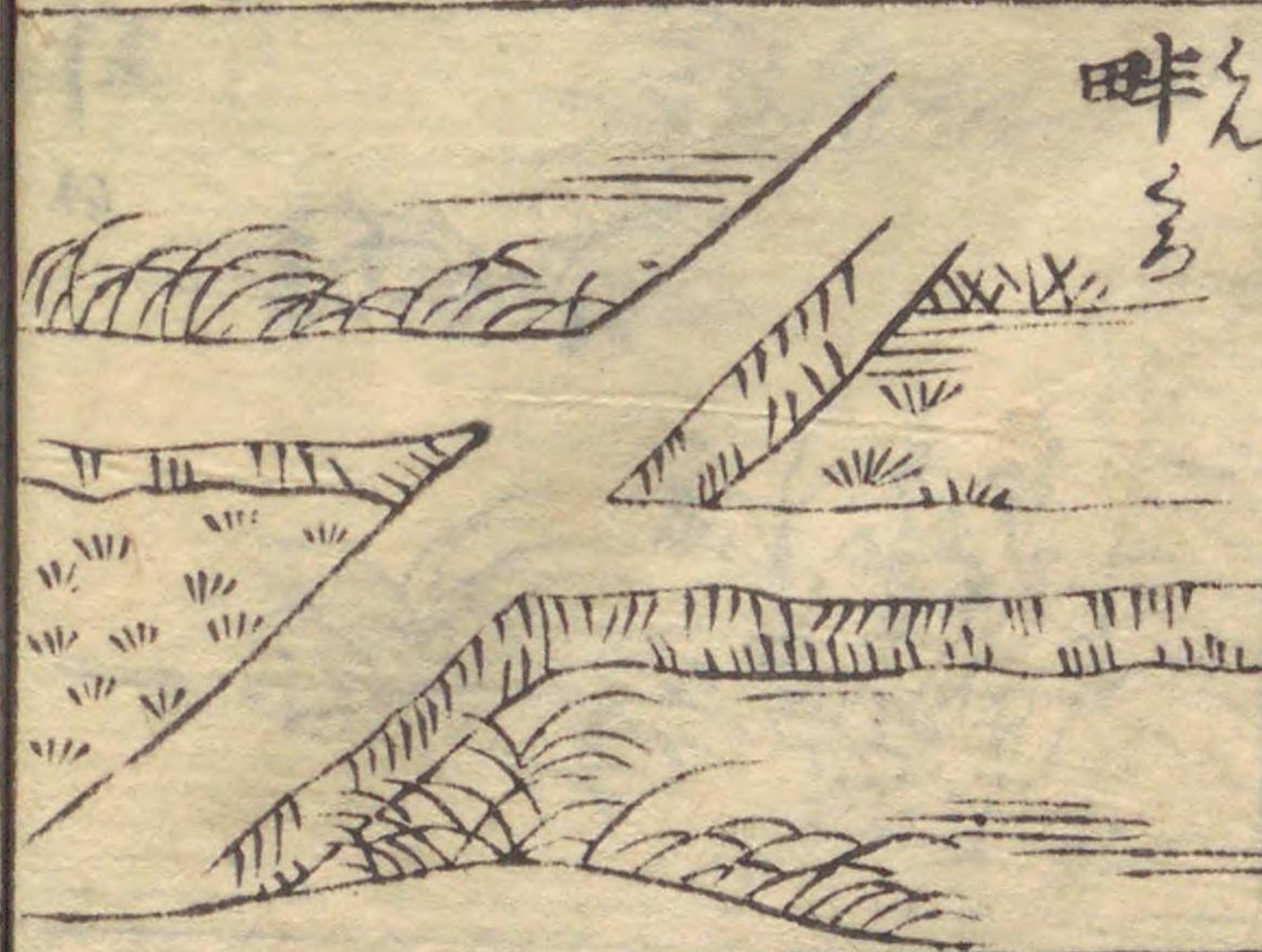




170 1 2 3 4 5 6 7 8 9 180 1 2 3 4 5 6 7 8 9 190 1 2 3 4 5 6 7 8 9

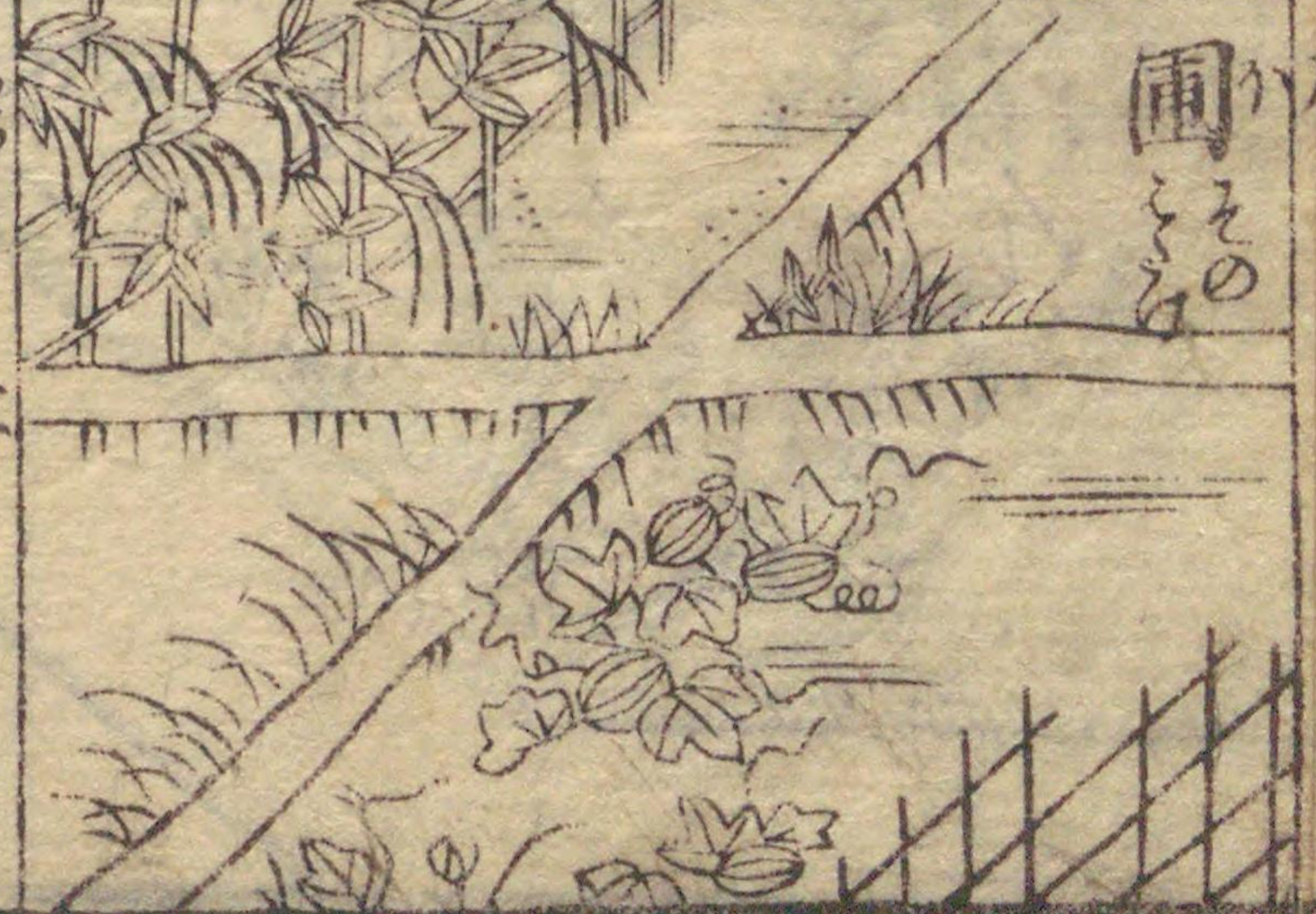
場

○場の五穀とか  
 さいり圃といふ  
 おと菜と増ん  
 り心と陰を場  
 といふ并とまひ  
 予不しく之市場  
 賣場をいふ又  
 場とす  
 畔  
 ○畔の田の界  
 くらとて又い  
 早とす  
 又繼ぎ田  
 圃のふすの科と  
 乃の畔と壊と云



圃

圃の菜とす  
 圃といふ  
 圃の菜とす  
 圃といふ  
 圃の菜とす  
 圃といふ

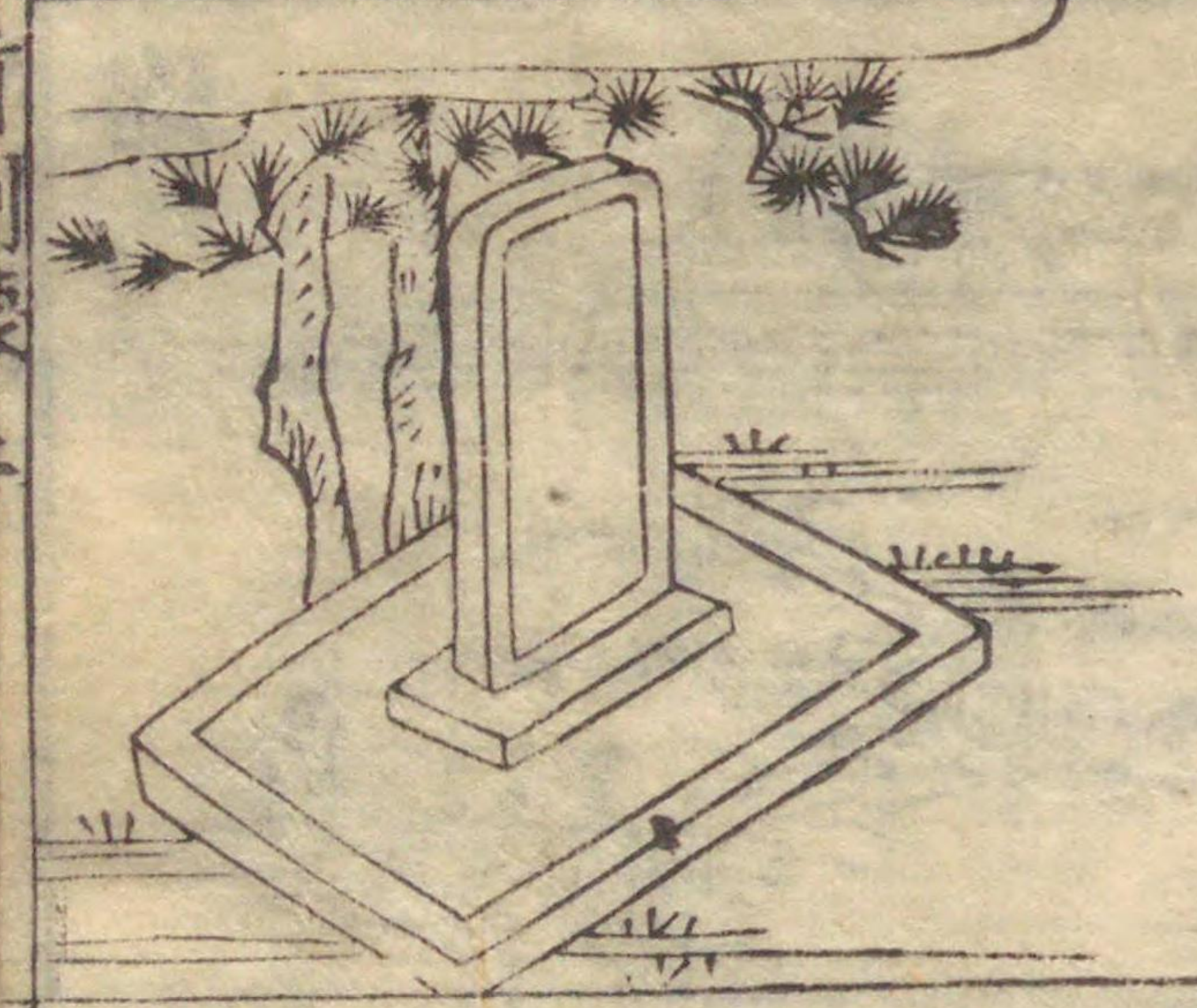


林

○林の平地と云  
 叢木わつた  
 林といふ又野  
 林といふ松林  
 竹林といふ本  
 薄といふ草と  
 叢同  
 墓



墓



塚

○塚の平地と云  
 墓といふ塚と  
 墓といふ塚と  
 墓といふ塚と  
 墓といふ塚と  
 墓といふ塚と



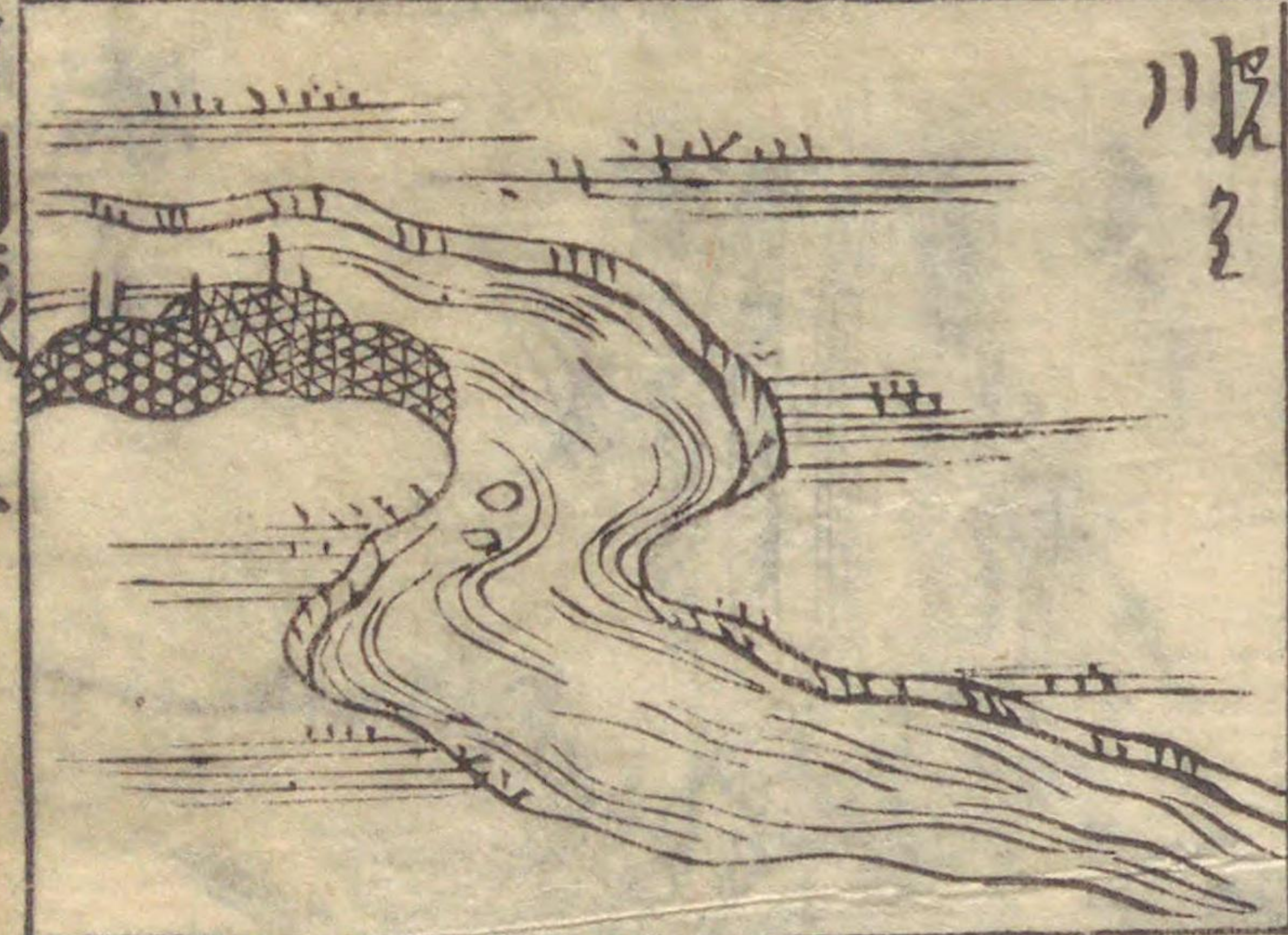
丘



○丘の平地と云  
 墓といふ塚と  
 墓といふ塚と  
 墓といふ塚と  
 墓といふ塚と  
 墓といふ塚と



○川ハ水の中居る  
 穿ててゆく水の  
 又河とをすべ  
 江ハ水あり



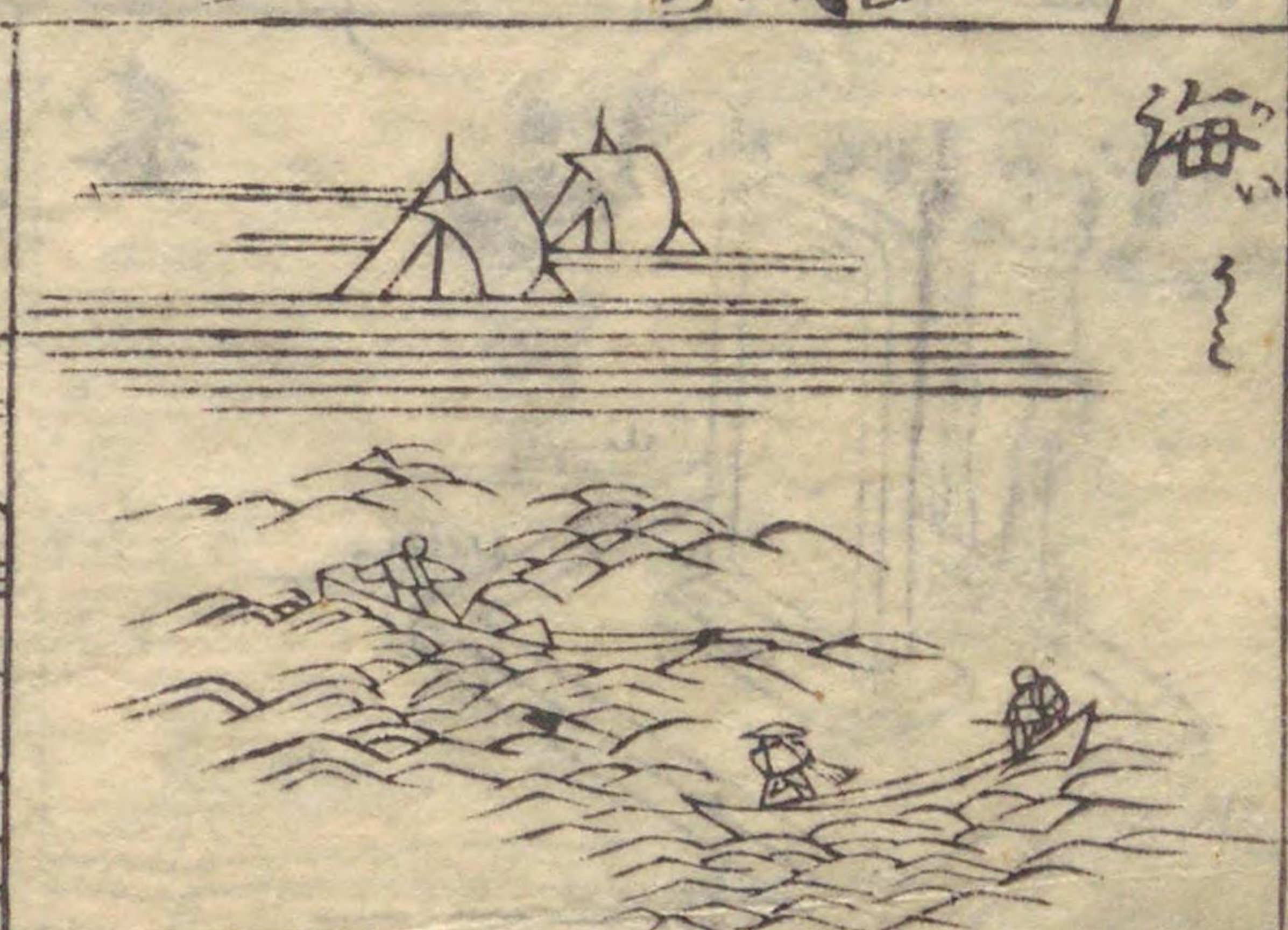
川

○洲ハ水の中居る  
 死にんくもその  
 りつまり息あり  
 小洲と渚とあり  
 わかると積り  
 いそ水沙上あり  
 又河とをすべ  
 江ハ水あり

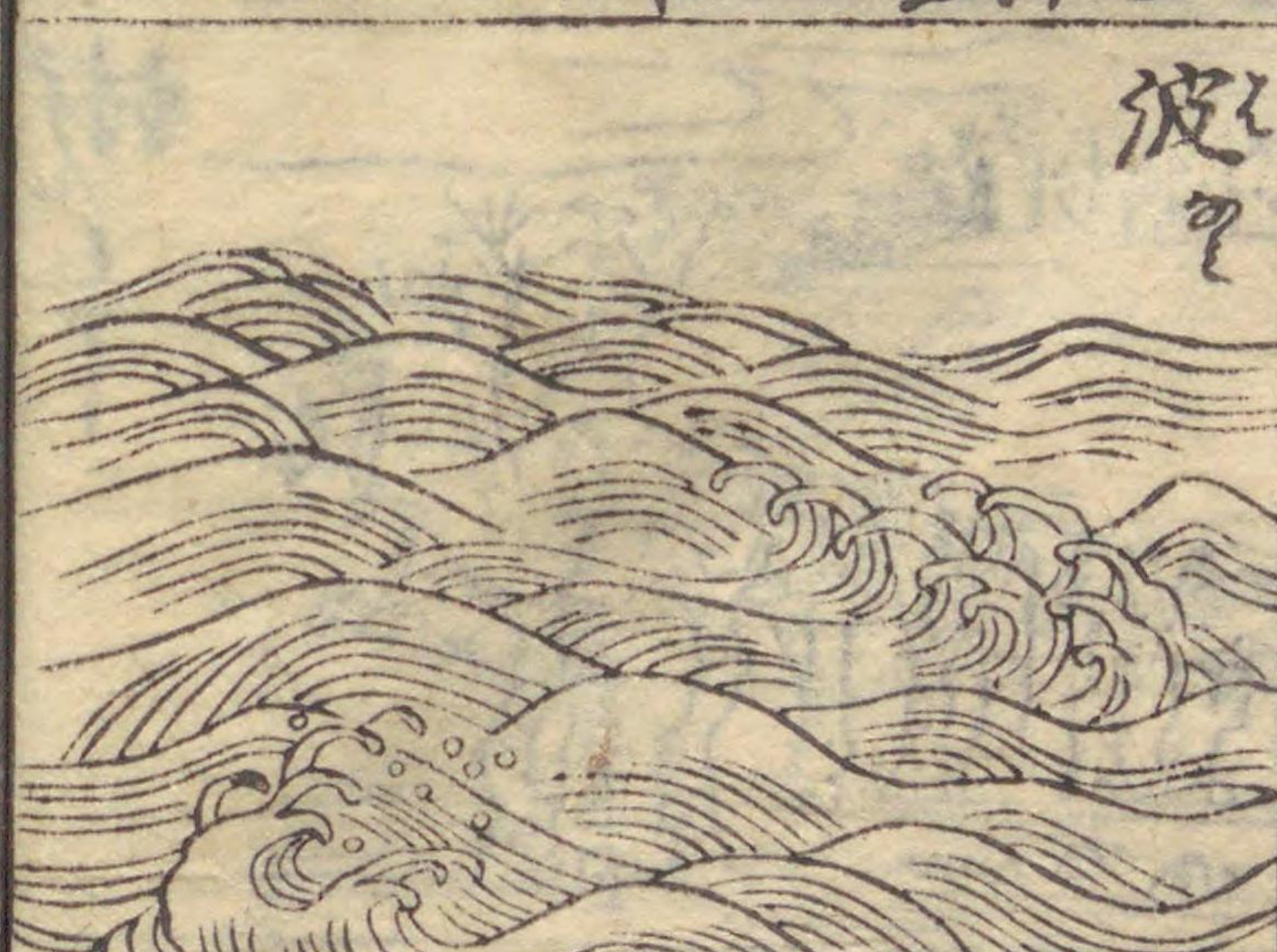


洲

○海ハ海ガリ  
 遠くし冥味  
 るん又海ハ様  
 とくくその水  
 點して海乃こ  
 潮ハつらあり  
 潮ハつらあり  
 風水と波とあり  
 水波ハ水紋あり  
 浪ハ波と渚とあり  
 又連ハ渚とあり  
 又渚と潮頭とあり

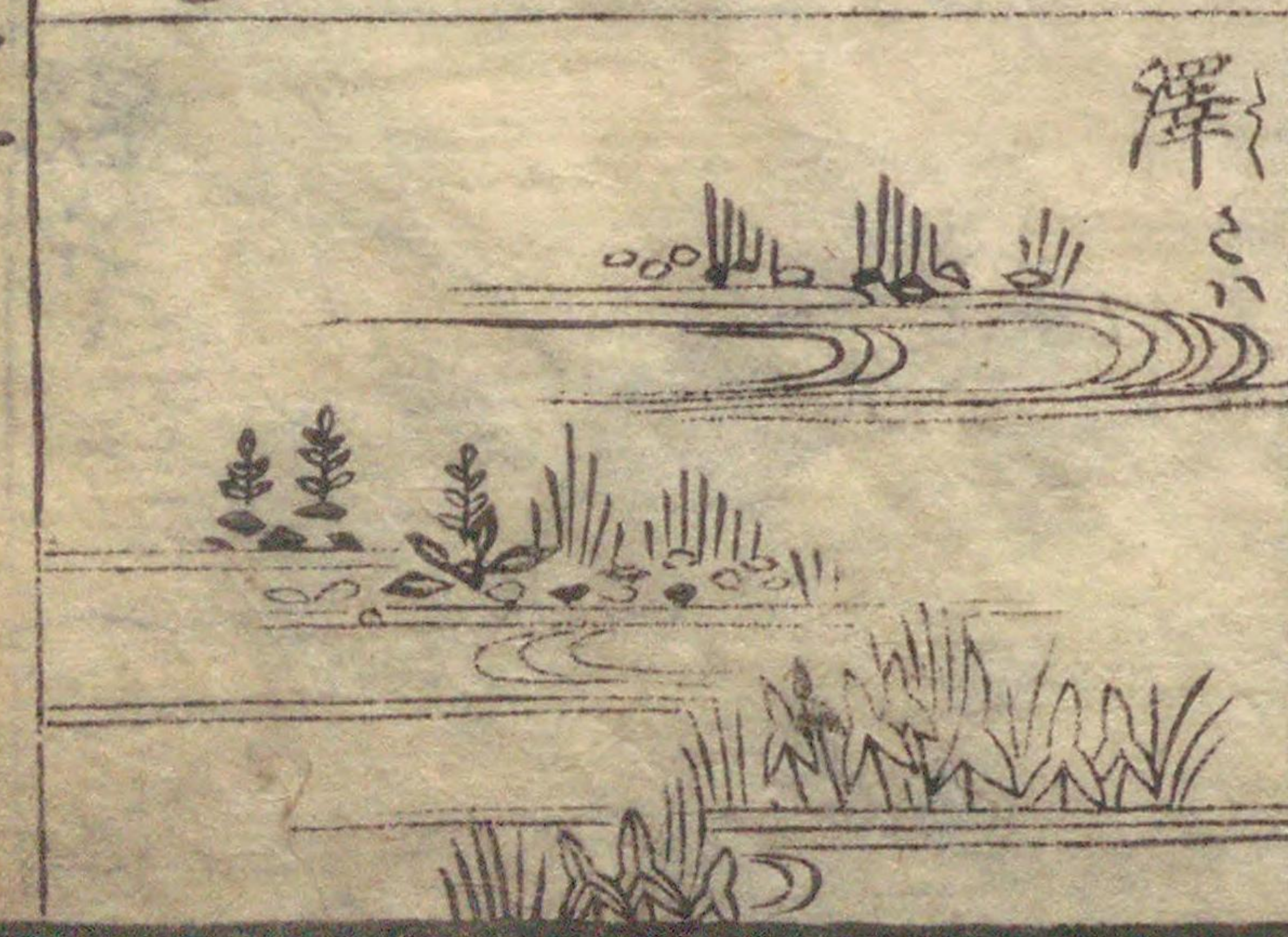


海



波

○澤ハ水のわけ  
 りり澤とあり  
 澤ハ水とあり  
 澤ハ水とあり  
 澤ハ水とあり  
 澤ハ水とあり



澤

○濱ハ水際あり  
 いりり浦あり  
 灘ハ水とあり  
 の平水とあり  
 えと海濱あり  
 河濱水濱海濱  
 灘ハ水とあり



濱

○淵ハ水あり  
 水ありあり  
 淵ハ水とあり  
 淵ハ水とあり  
 淵ハ水とあり



淵

○島ハ海中に  
 ありてあり  
 島ハ水とあり  
 島ハ水とあり  
 島ハ水とあり



島

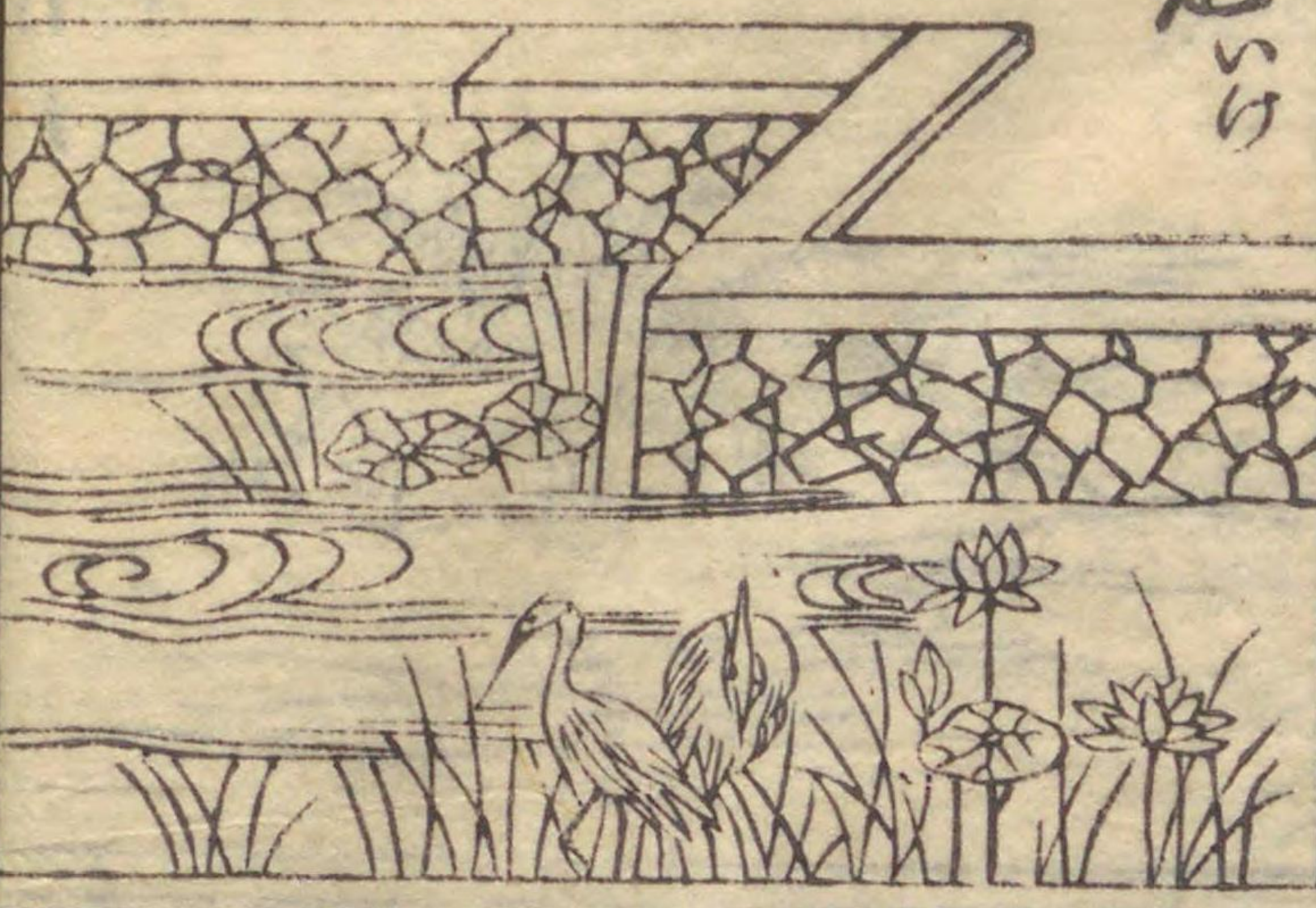


瀑

○池  
○池ハ  
○池ハ  
○池ハ



池



泉

○泉  
○泉  
○泉  
○泉



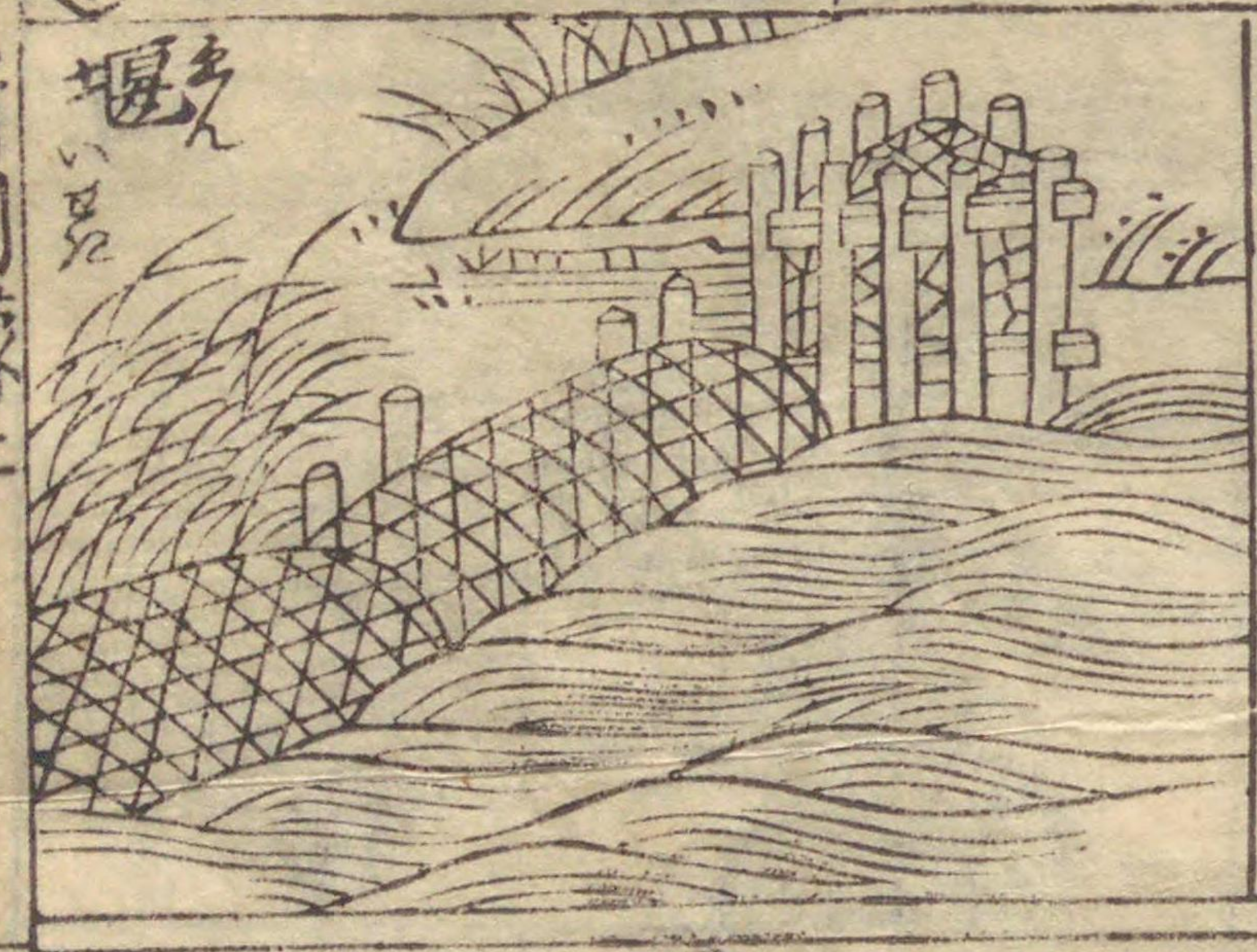
塘



○堰  
○堰  
○堰  
○堰

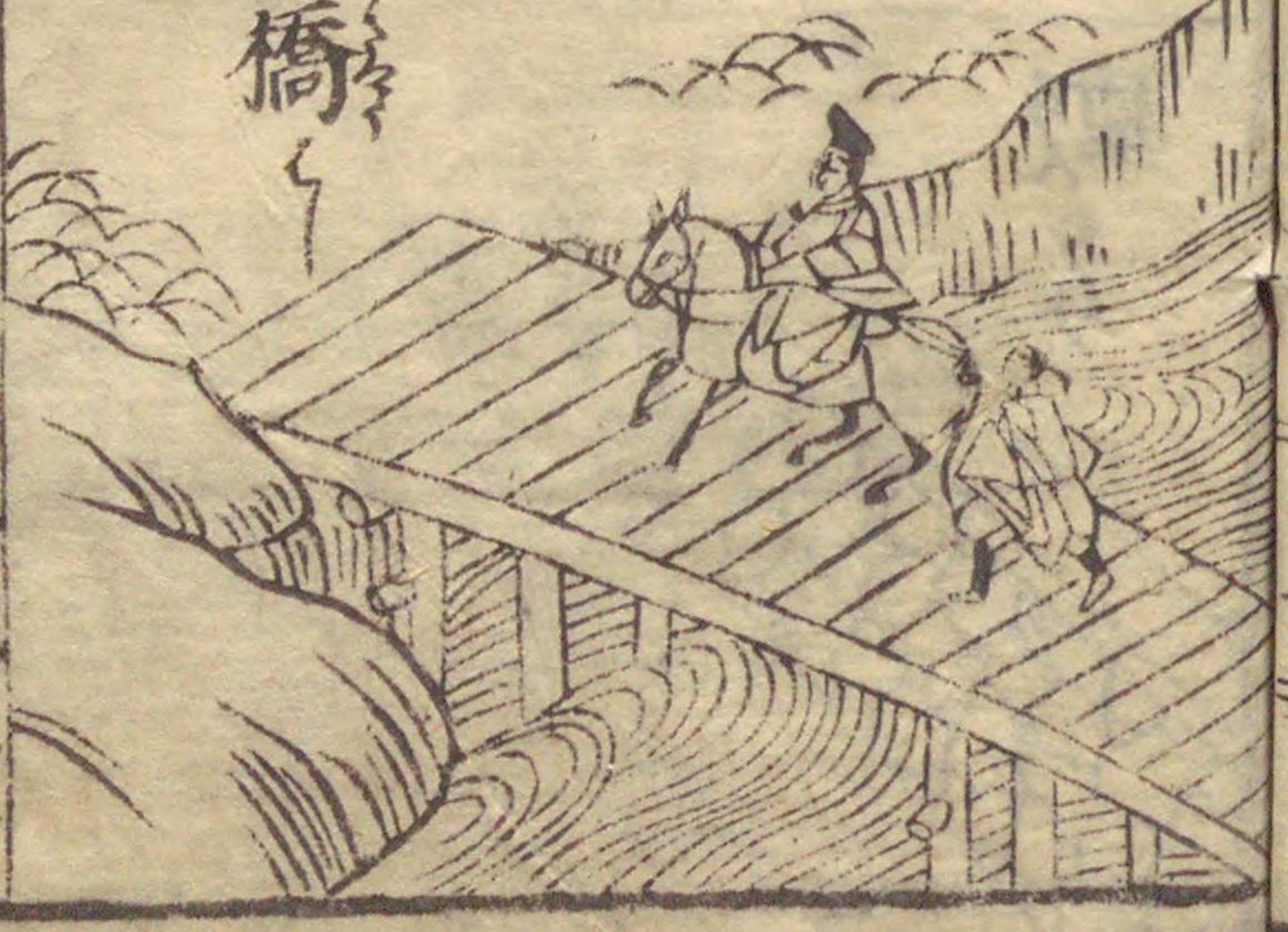
堰

○堰  
○堰  
○堰  
○堰

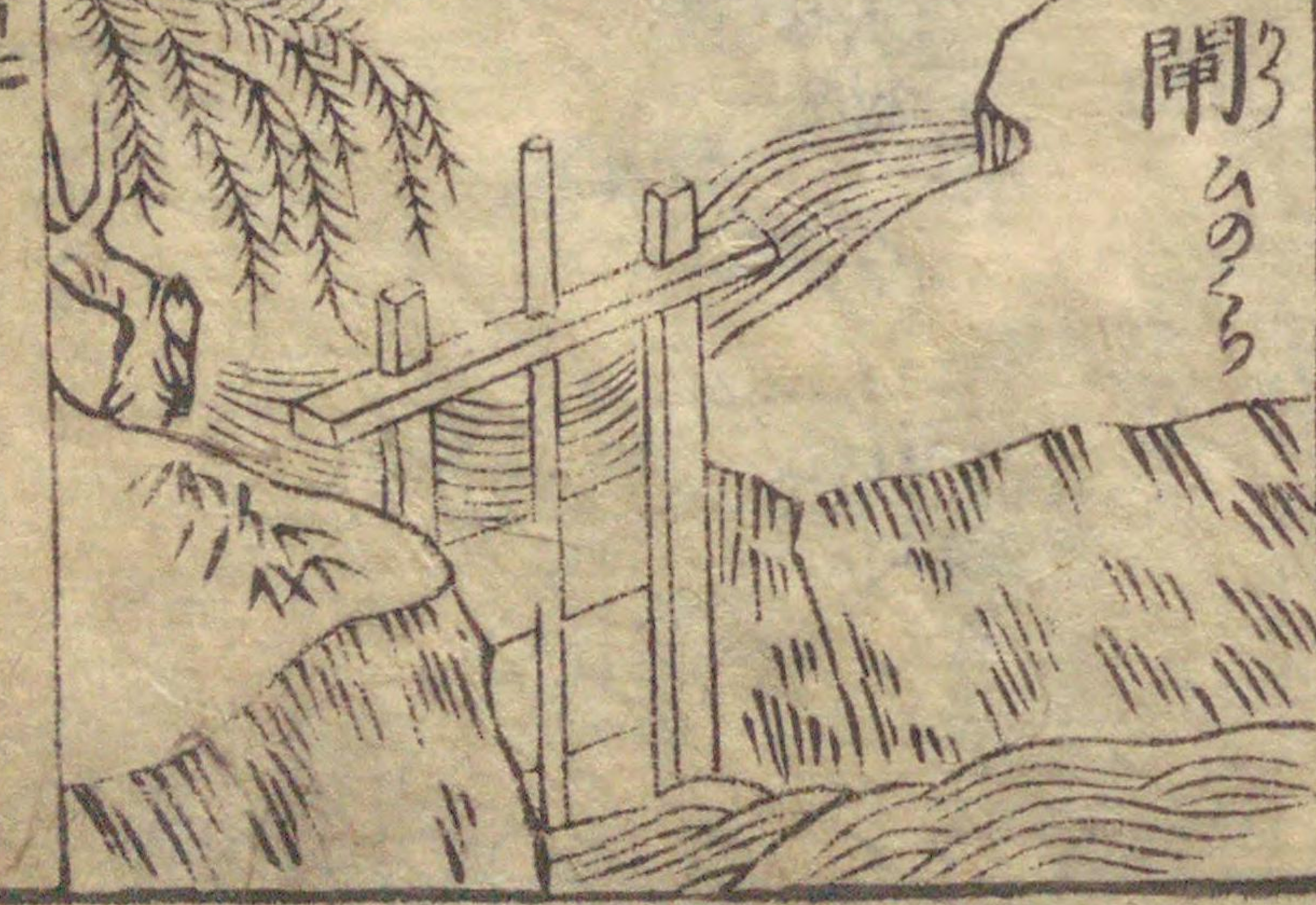


橋

○橋  
○橋  
○橋  
○橋



閘

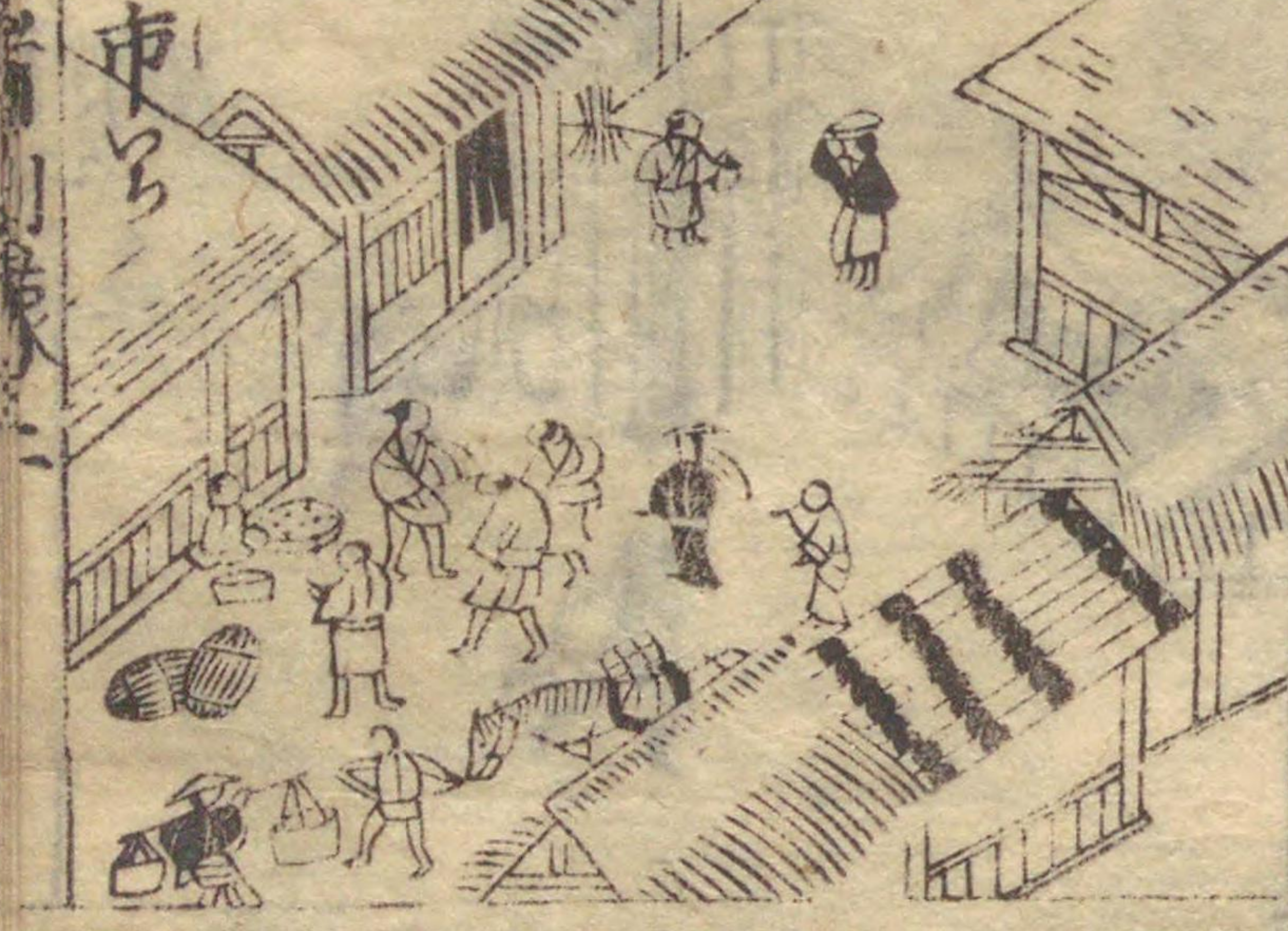
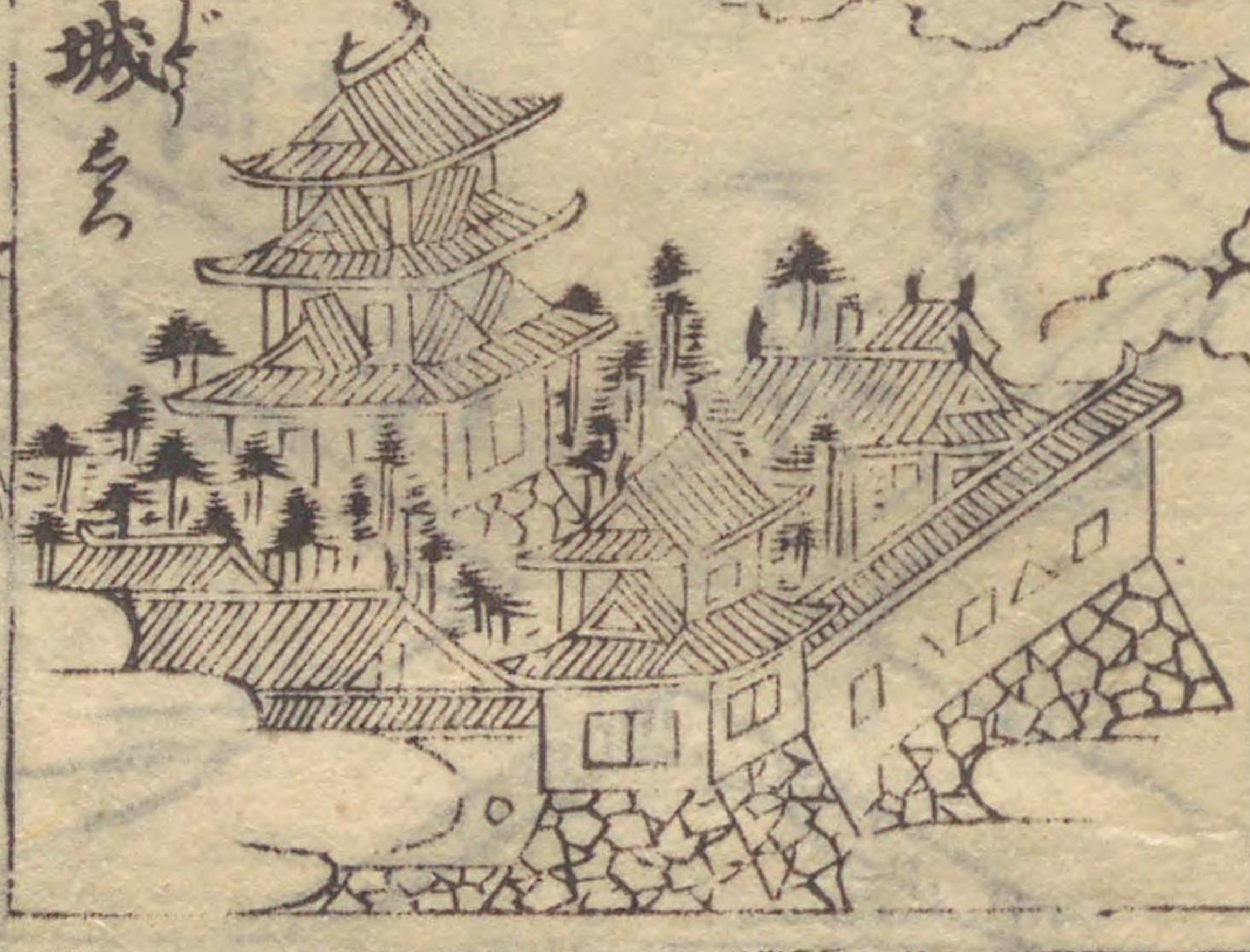




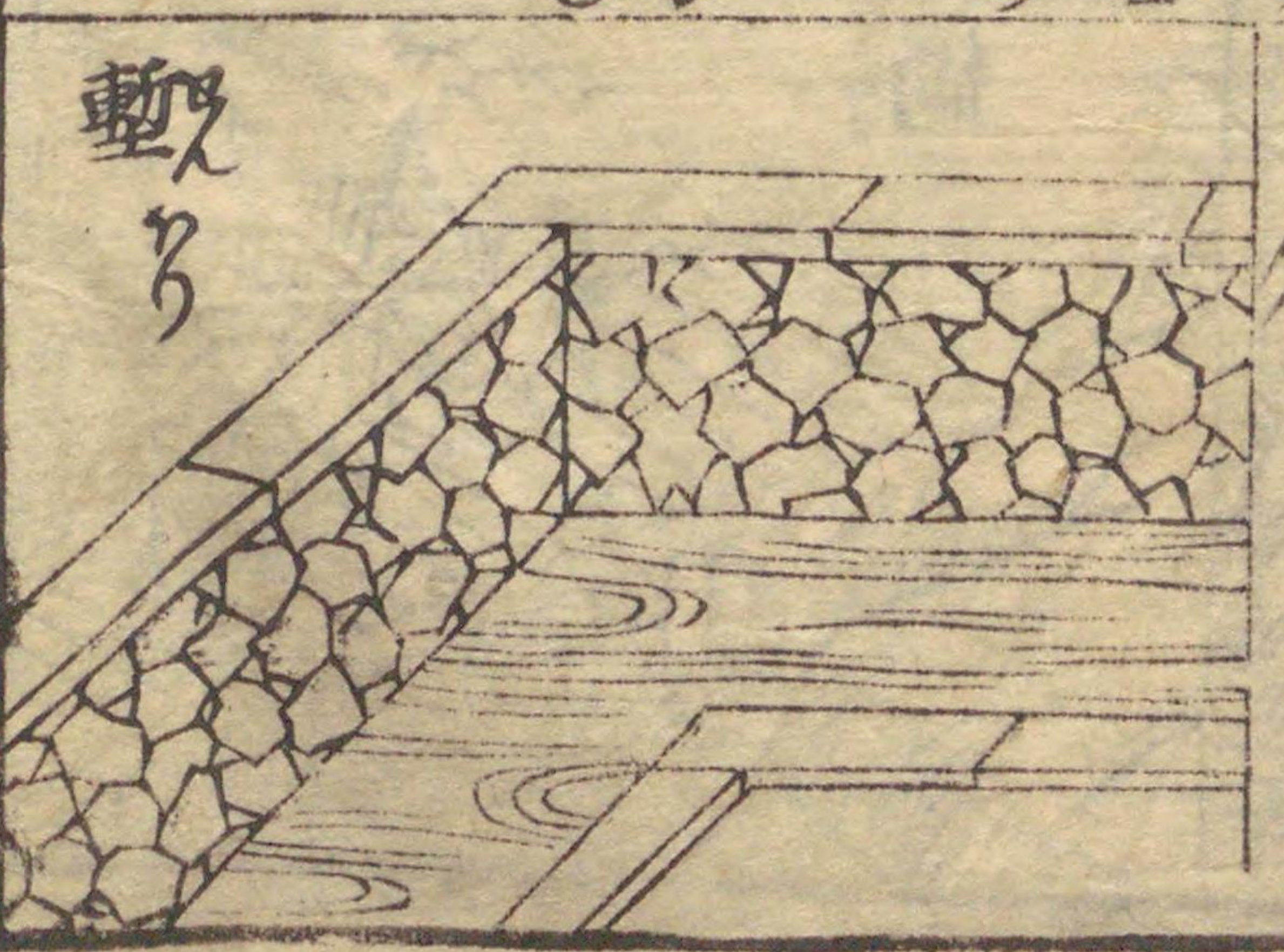
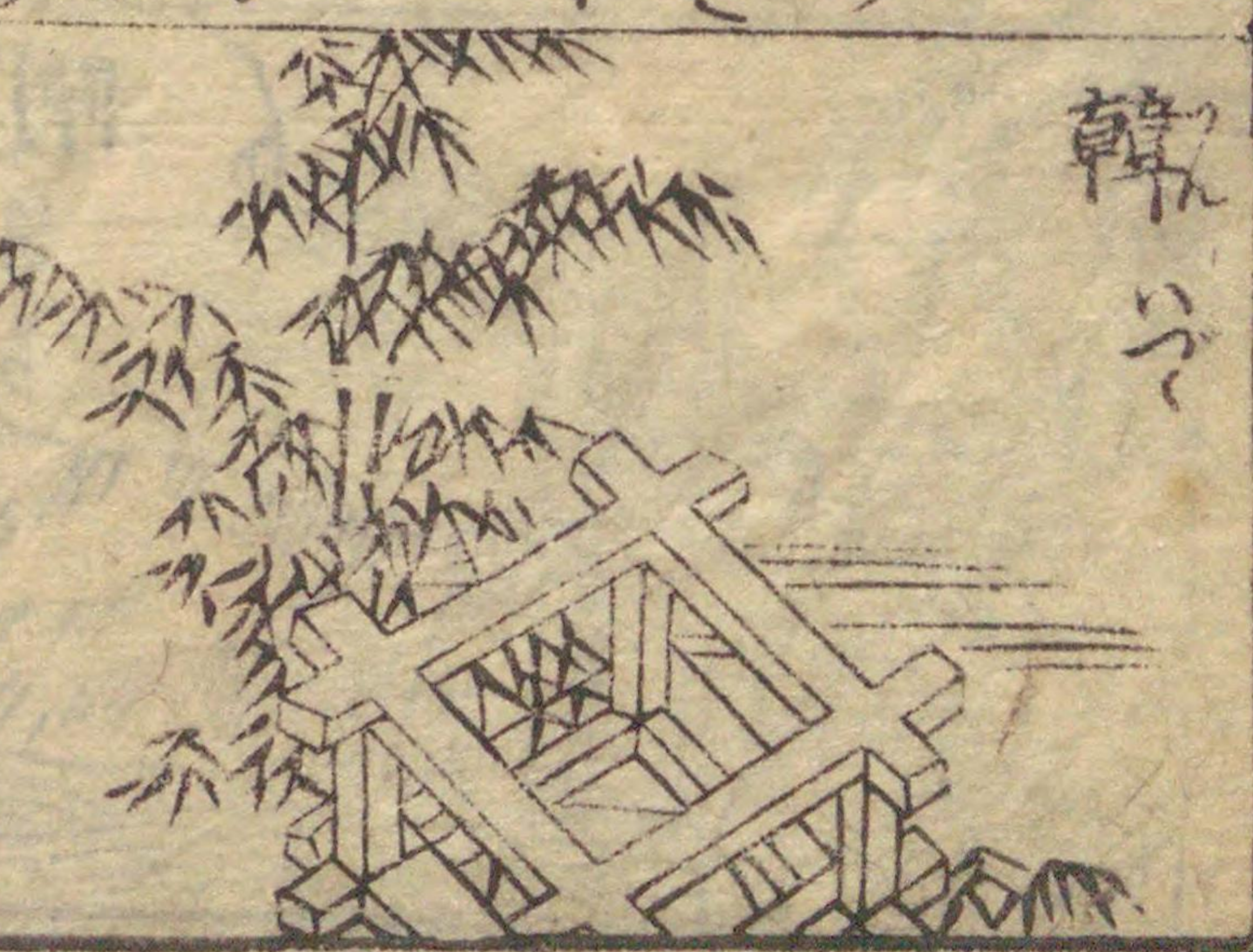
○井ハ伯益と云  
 人つらり始りて  
 始ハ毒なる移井  
 の心よりあて人  
 そ木をのめりて  
 そらり井に相と  
 風凰の懼  
 風凰の梧桐を  
 ひとののれい園  
 乃んことと教  
 かされんこと  
 溝と云



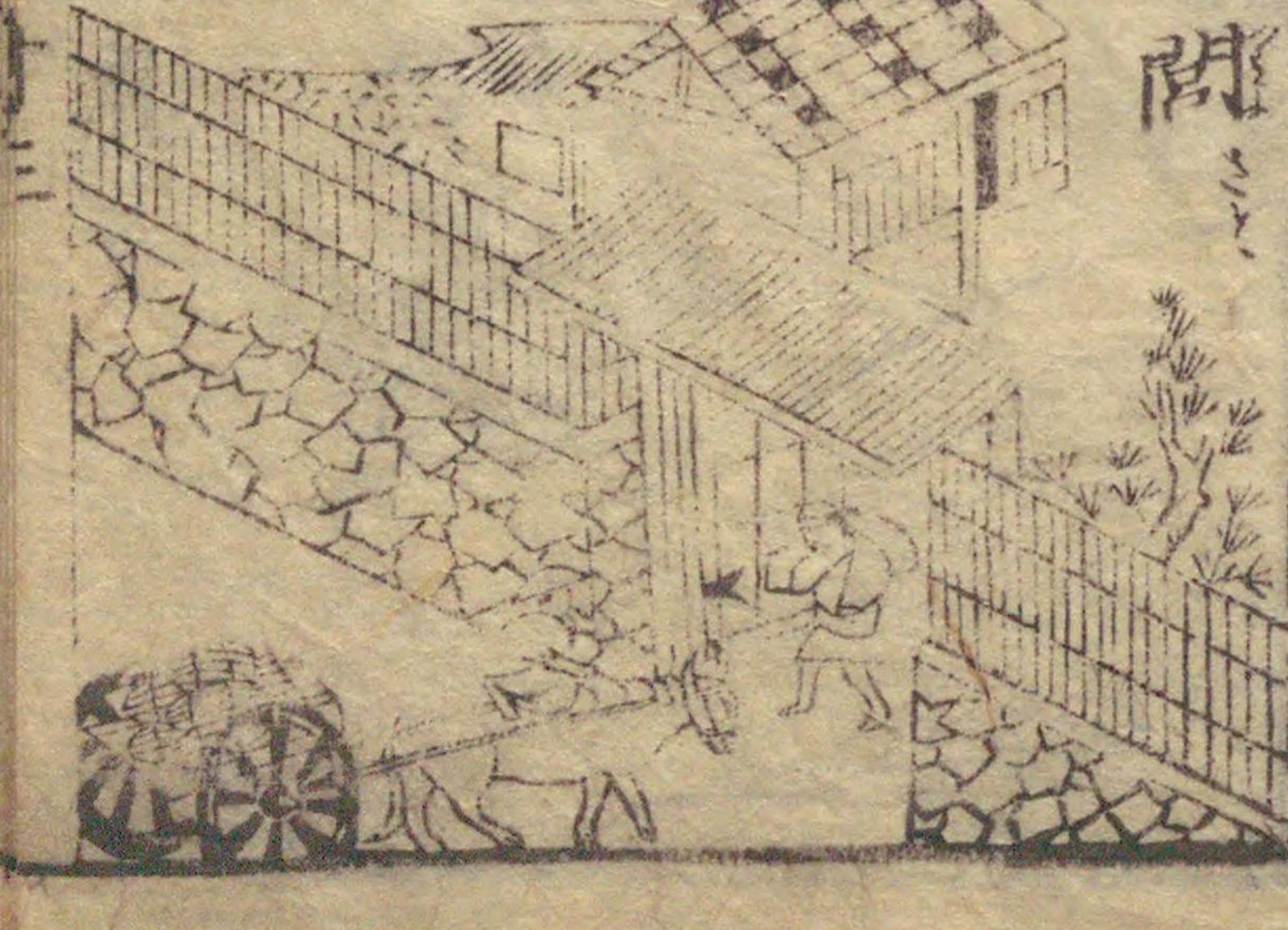
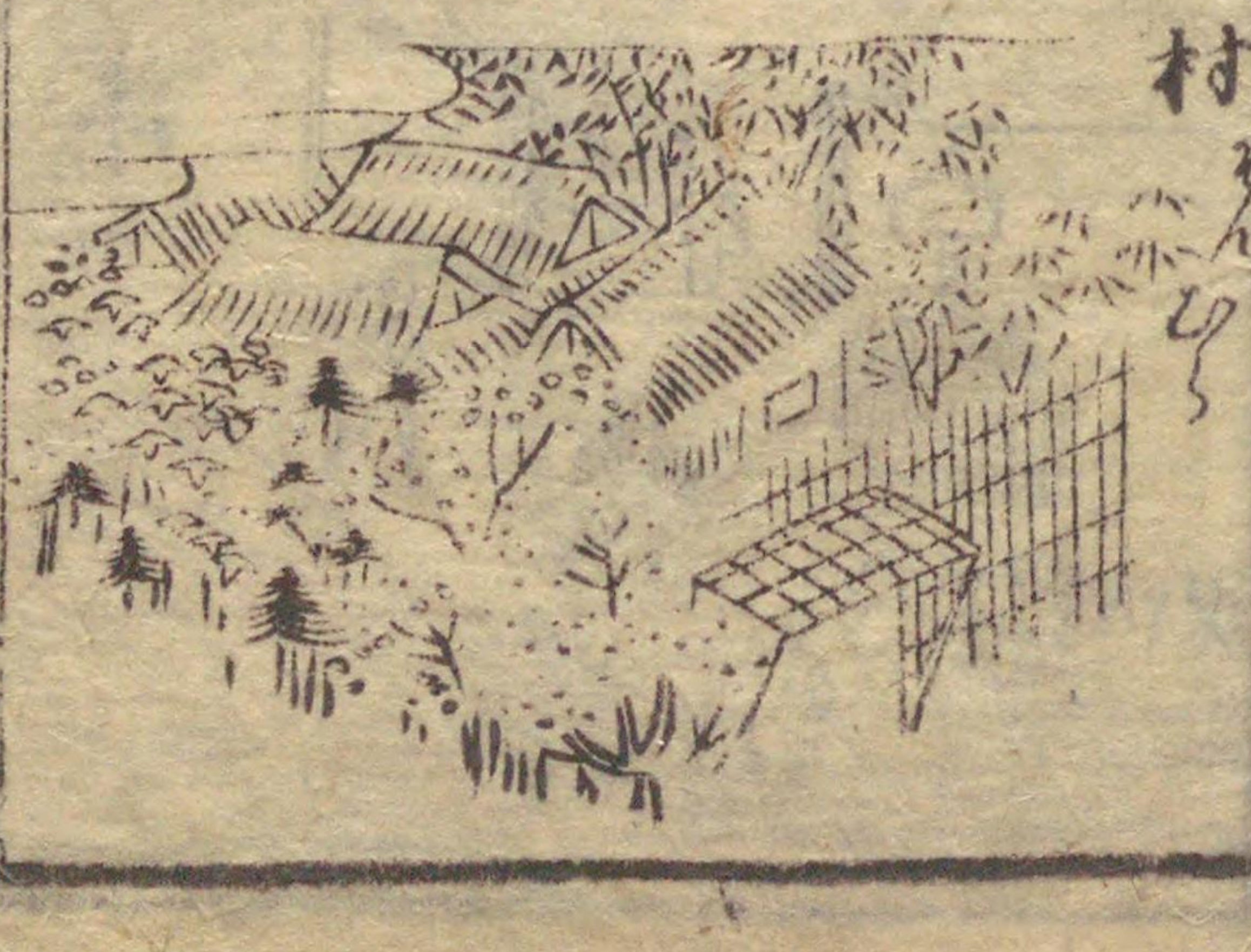
○城ハ黄帝つる  
 りのありて又  
 とふ人けり始  
 ありてを門と  
 城とい外と  
 とりて天守  
 多門武者也  
 櫓 尤走 虎魚  
 市と云



○韓ハ根垣あり  
 とあり俗にいけ  
 ぬつとらふ井  
 治とすいあり  
 韓のころころに  
 竹とらふ一園  
 圓竹實とら  
 よとののれい  
 かつてつこのあり  
 塹と云



村人のあつら  
 なるあり村  
 宇通に経史に  
 の家の一  
 に依りて  
 村のころころに  
 今通とらふ  
 邑と云





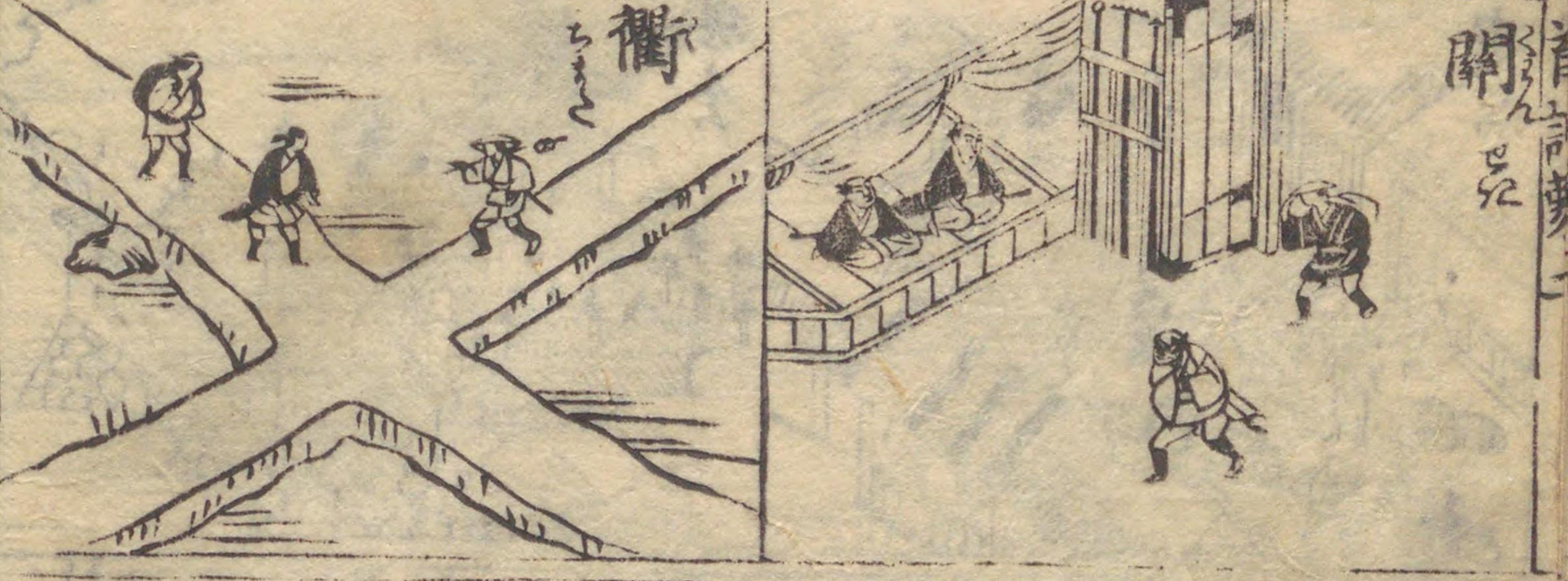
封疆  
○封疆の土と封  
トし疆をわたり  
とり小橋をわたり  
とて小橋をわたり  
いし小橋をわたり  
吉公の土と東西  
に封疆をわたり  
作とて小橋を  
にあり  
獨梁  
○獨梁ハ木を  
いし木梁  
ともいふ  
孤橋ともいふ



水柵  
○水柵ハ竹木を  
わんでこれとて  
水柵をわたり  
山川の間に  
あつたはこれ  
わたりわたり  
ともいふ  
水柵あり  
浮橋  
○浮橋ハ木を  
いし又浮梁  
ともいふ  
舟とつた  
あつた



關  
關ハゆるり  
かき入ると  
ひつとりの  
關餘麻の  
坂の國と  
下ろ三國  
今ハ  
官根の國  
衛  
○衛ハ四邊の  
ありて十  
街といふ  
衛子過り  
衛つと  
衛洞達



道  
道ハ道路  
途同ハ徑  
えりあり  
用明天皇  
五歳七通  
文武天皇  
六十六  
津  
○津ハ水の  
とらあり  
津波津  
今津  
津ハ





頭書增補訓蒙圖彙卷之三

居處

此都の宮殿門や壁櫓庭窓のしくみ  
 多く家屋をたつとして文字あり

○宮の唐にてハ宮  
 聖子の居所と  
 常とハ和物小  
 てハ祇の居所  
 不と宮といふ  
 柱とも祠とも云

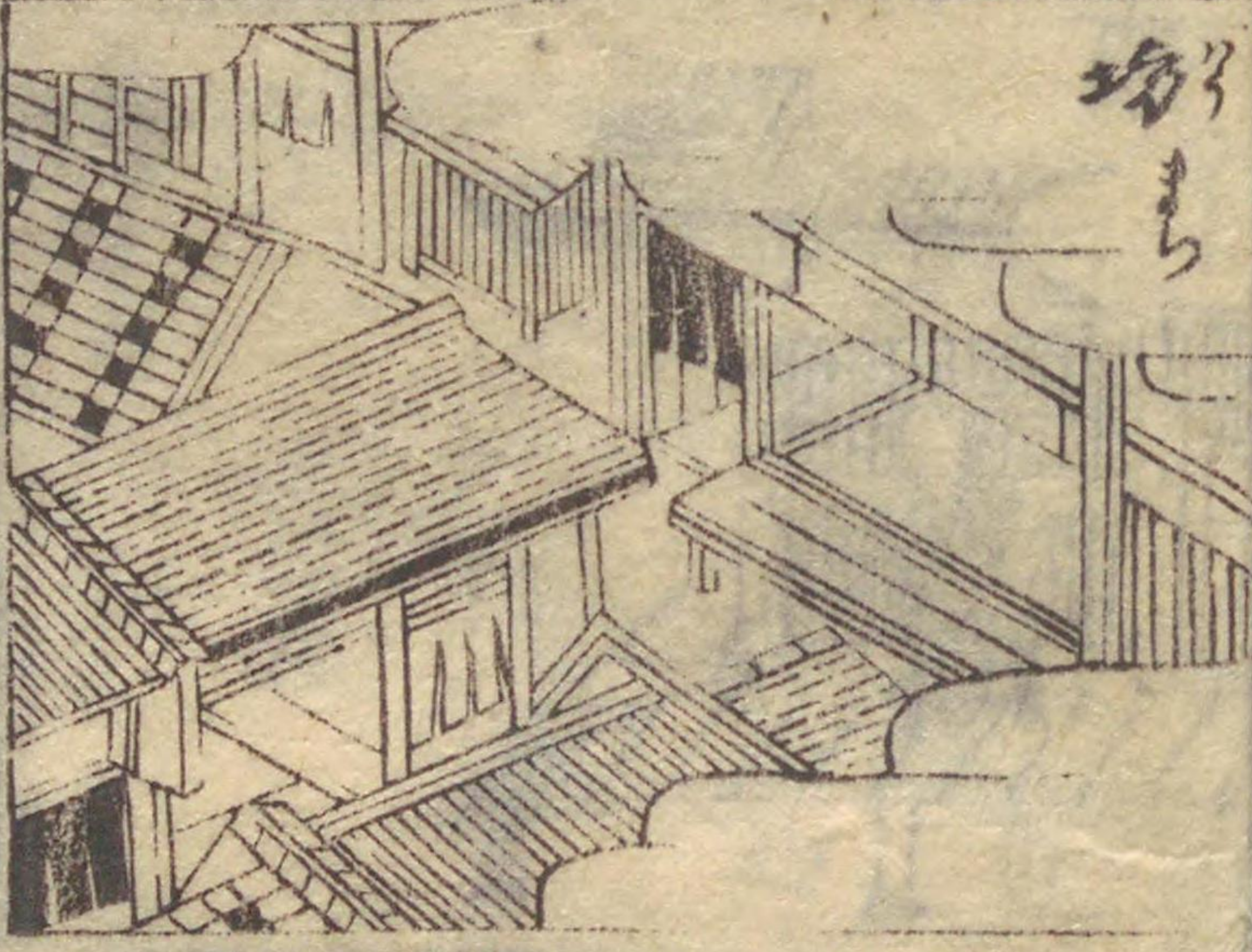


○廊ハ殿下の  
 外屋へと云  
 下廻廊を云  
 本殿ハかふひ



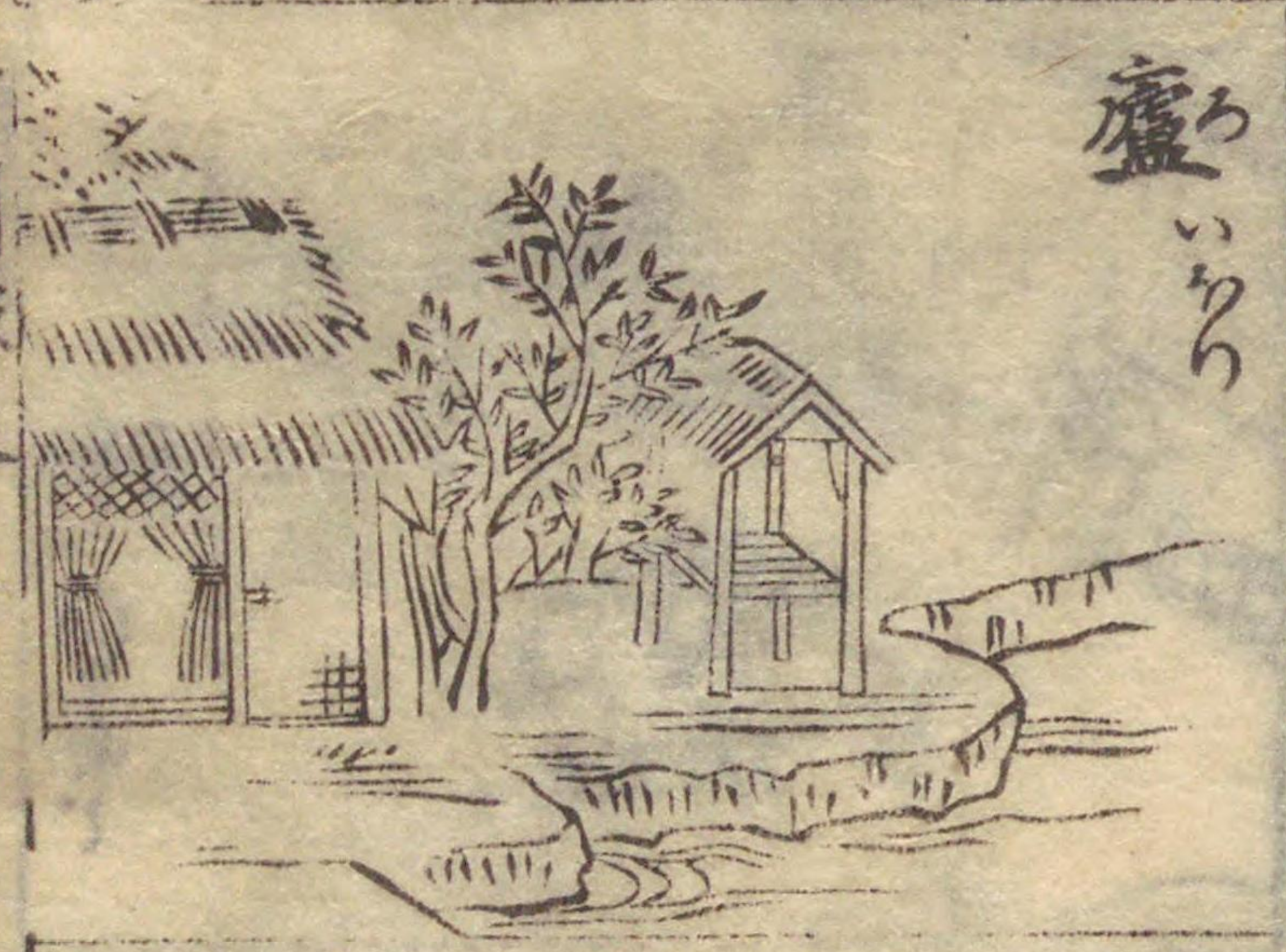
坊

○坊ハ町里の名  
 ちまゝハ町ハ系  
 二条通と銅駝坊  
 別屋と坊といふ  
 僧坊ハ坊といふ



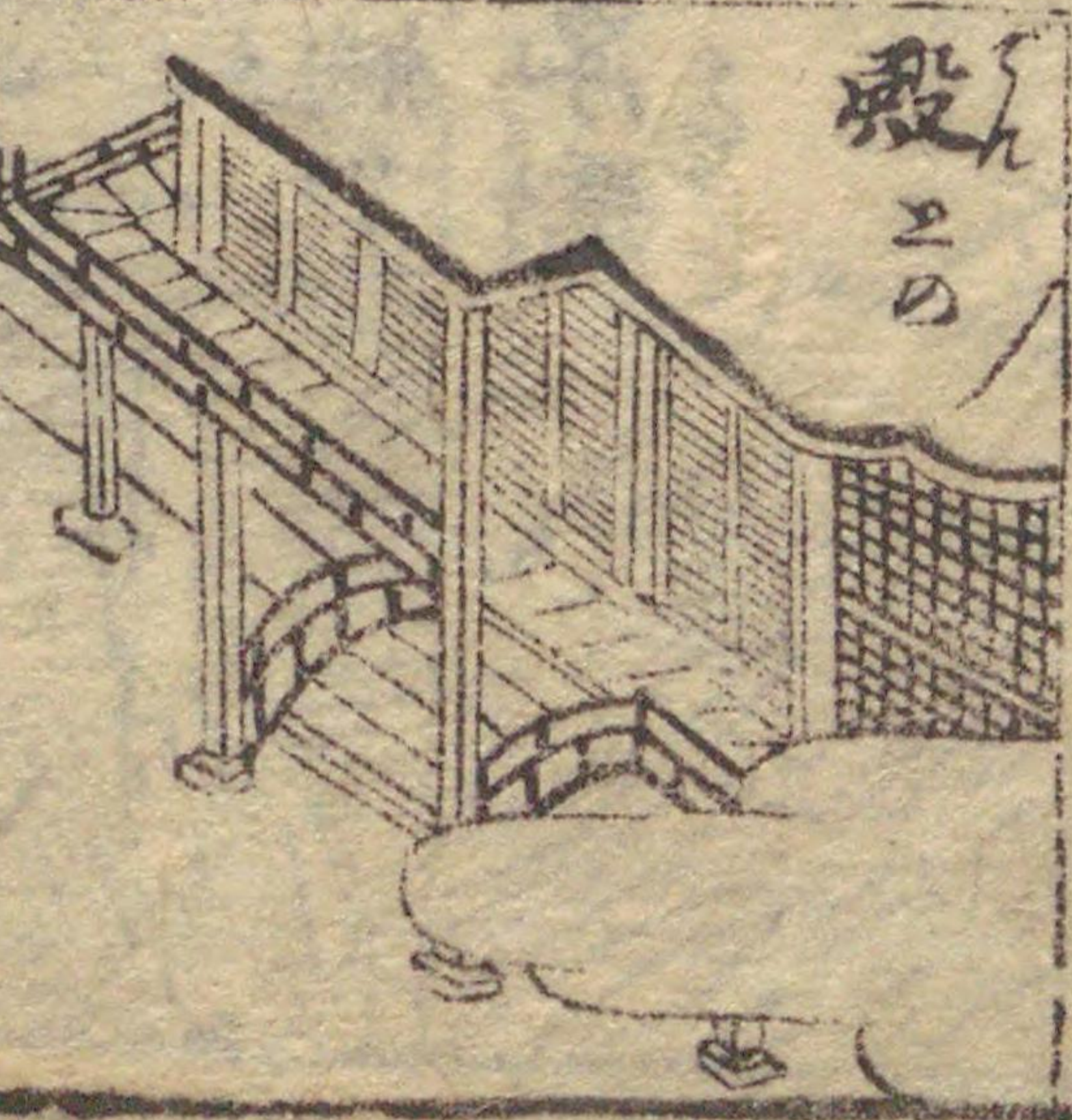
廬

○廬ハ田中ハ屋  
 あり籬をくり  
 つくふ草に  
 てヤぬと云  
 屋といハ菴同  
 りハの廬のとい  
 ハ廬の字を云

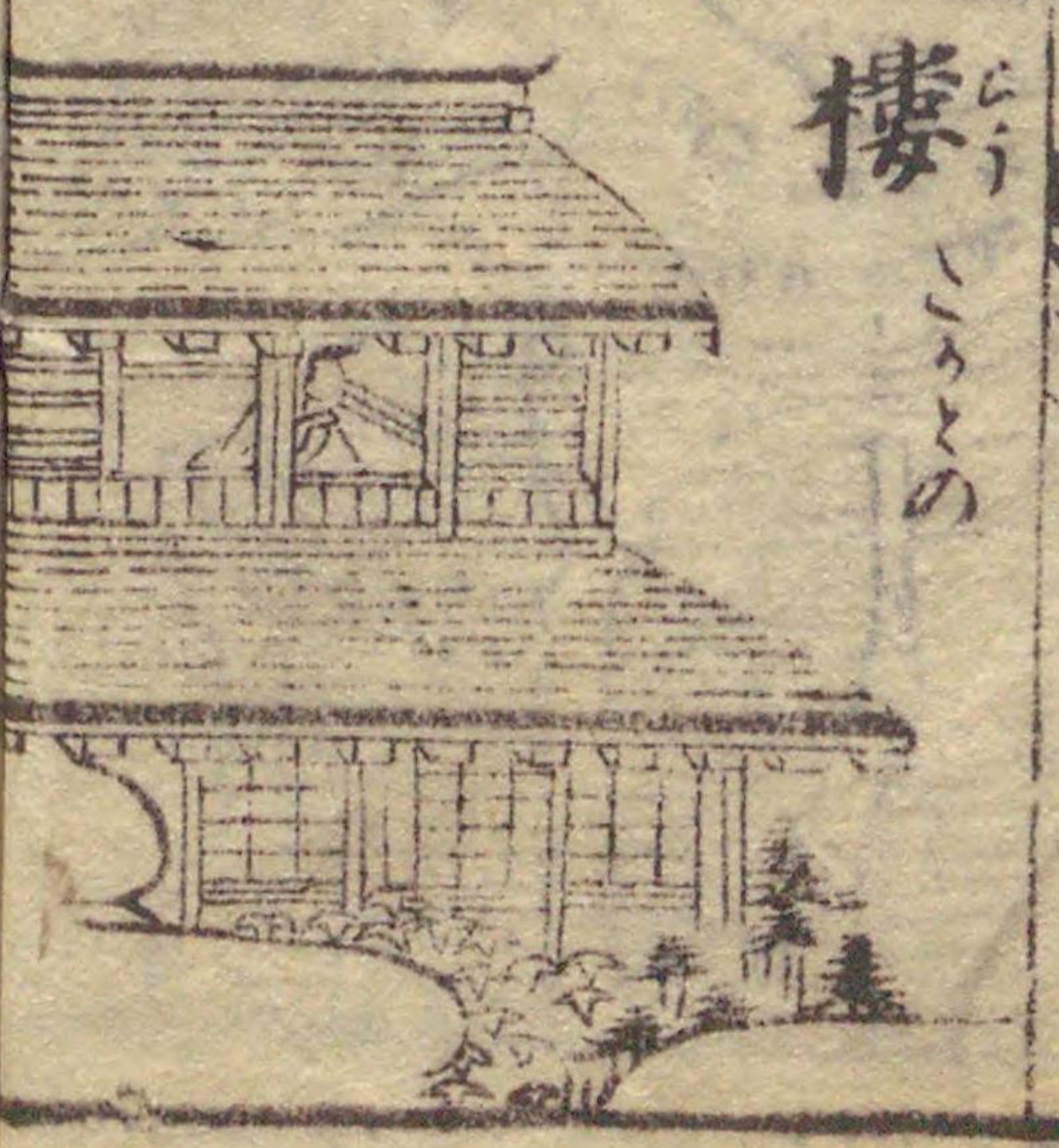


殿

○殿ハ堂のより  
 して大なりといふ  
 天子の居所  
 殿といハ殿の天  
 井ハ藻と云くハ  
 藻ハ水草のハ  
 火災と云くハ  
 天井といふもハ  
 樓ハ重屋あり  
 今俗にらんといふ

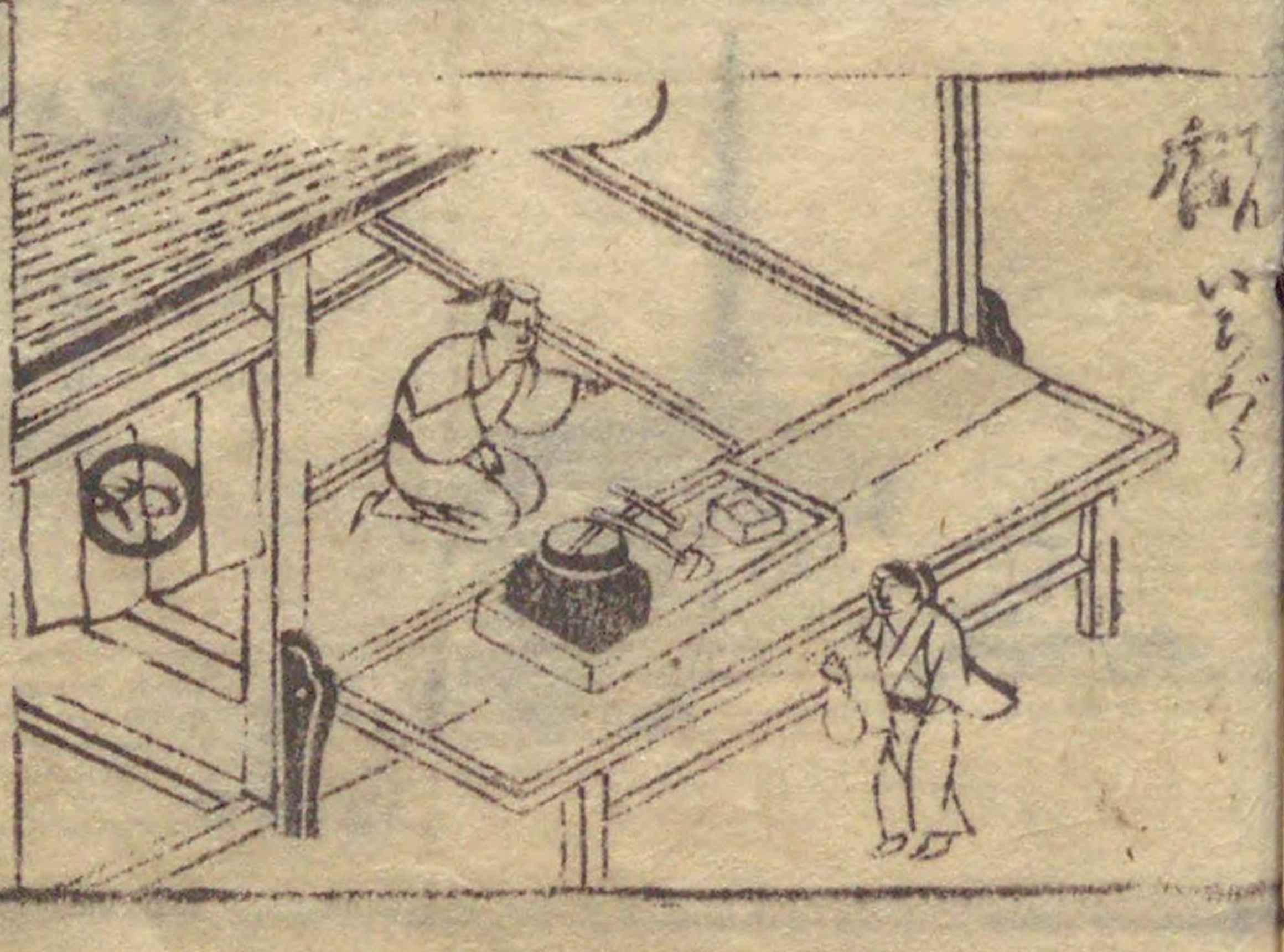


樓



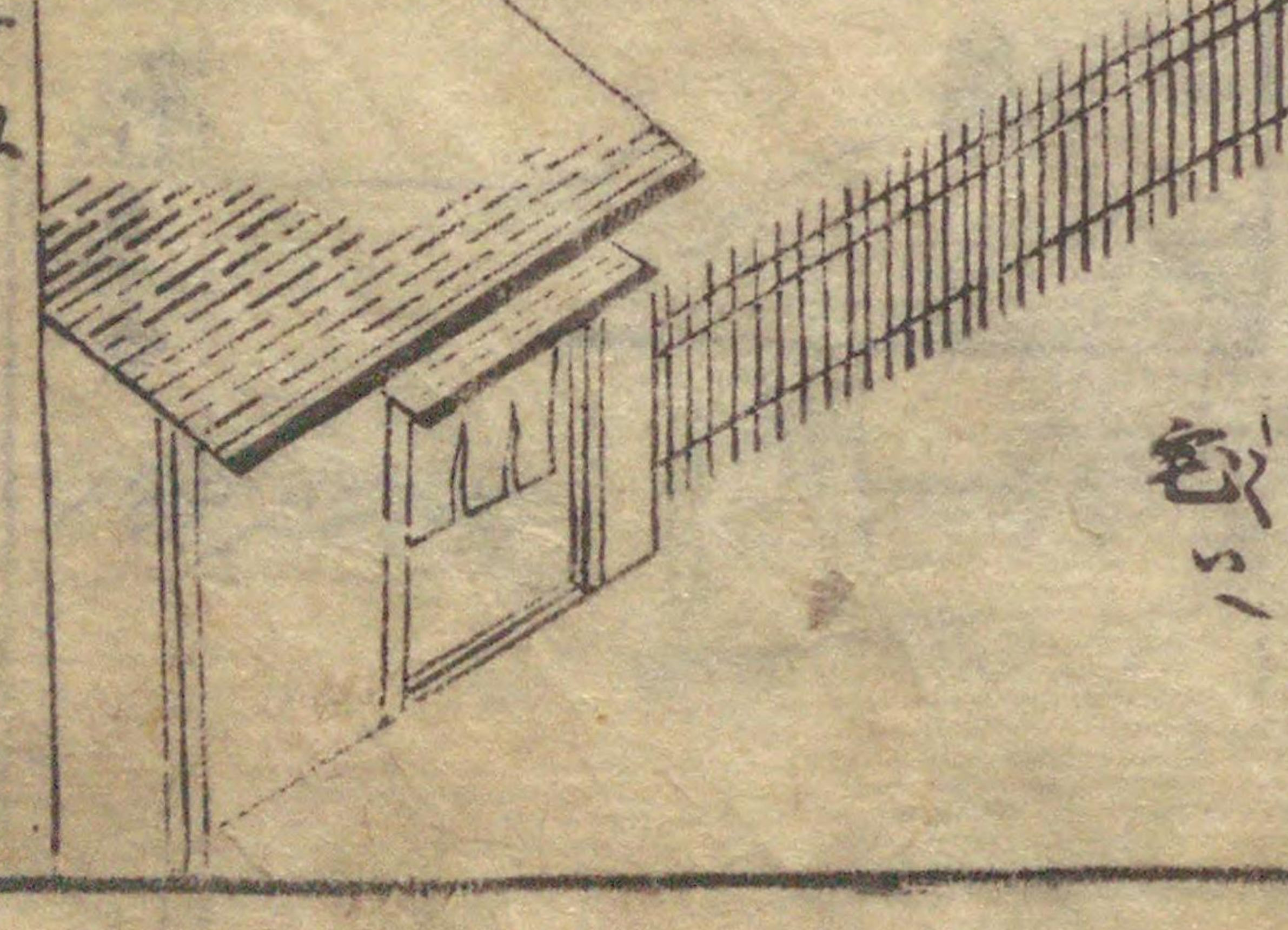
軒

○軒ハ楹といふ  
 ありハ茶  
 店ハ軒を云くハ  
 店屋物も云  
 肆廬舗ハ  
 あり



宅

○宅ハ擇といふ  
 宅と擇といふ  
 宅といハ又ハ  
 能と云くハ  
 もわりハ家  
 屋といハ同  
 又ハ  
 第宅





驛 いまご

○ 驛の道平をいふ  
いふはつとこいふ  
澤館いふも又澤  
舎しと澤館は  
いふまごい

寺

○ 寺のいし堂の  
わらわの名天竺  
より佛徳と自ら  
かせては佛寺  
よふかたの居不  
に事しち佛氏  
の居不のを寺



驛 いまご

寺

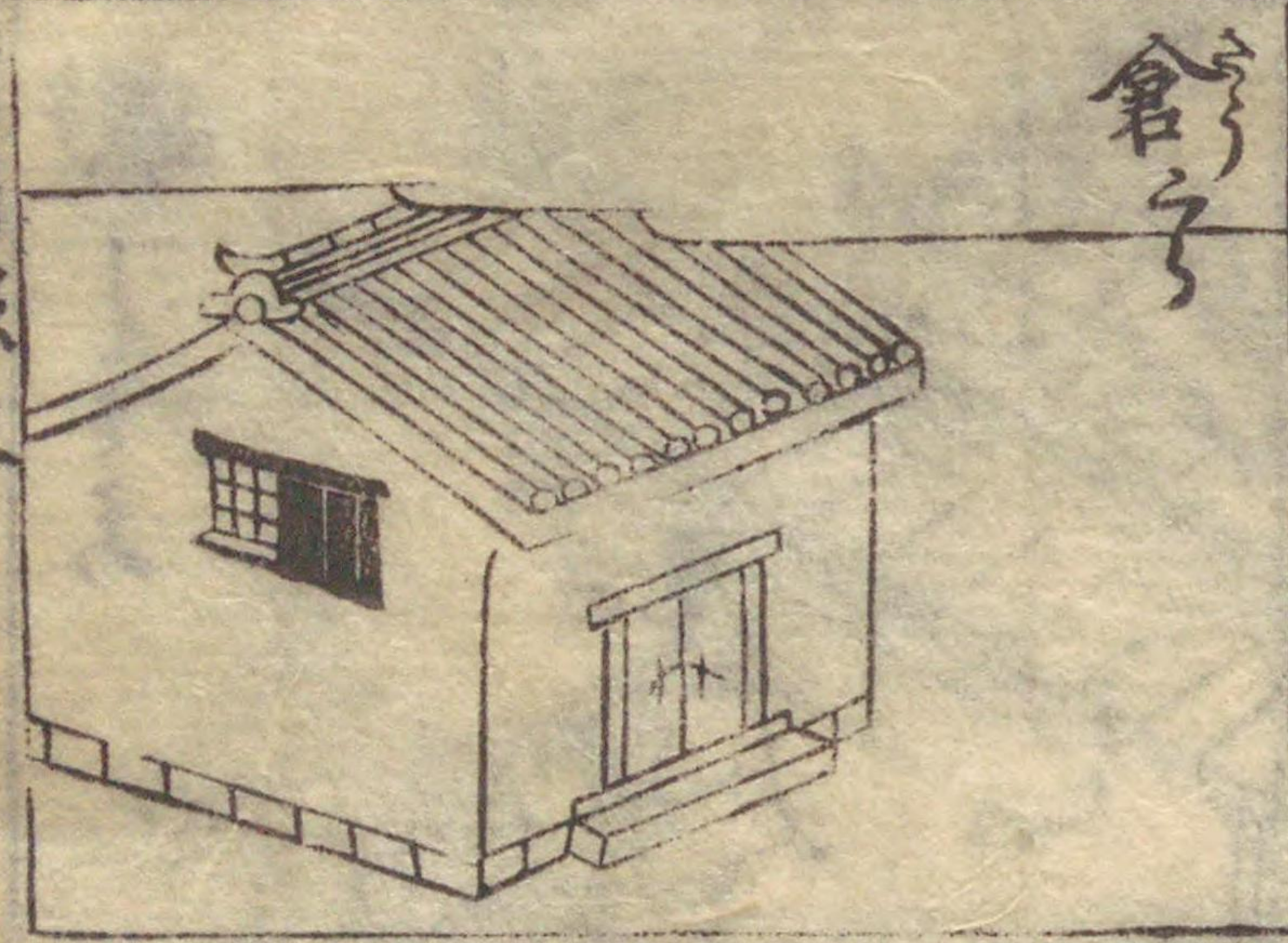


廡

廡の堂下の周  
廊より大屋凡四  
本の重櫓あり  
いしあり

倉

倉のらうりみ  
こといふと倉  
いふ米といふと  
倉といふ財宝と  
いふと倉といふ  
書物といふと  
倉といふ上庫  
いふとありあり  
府もらうり

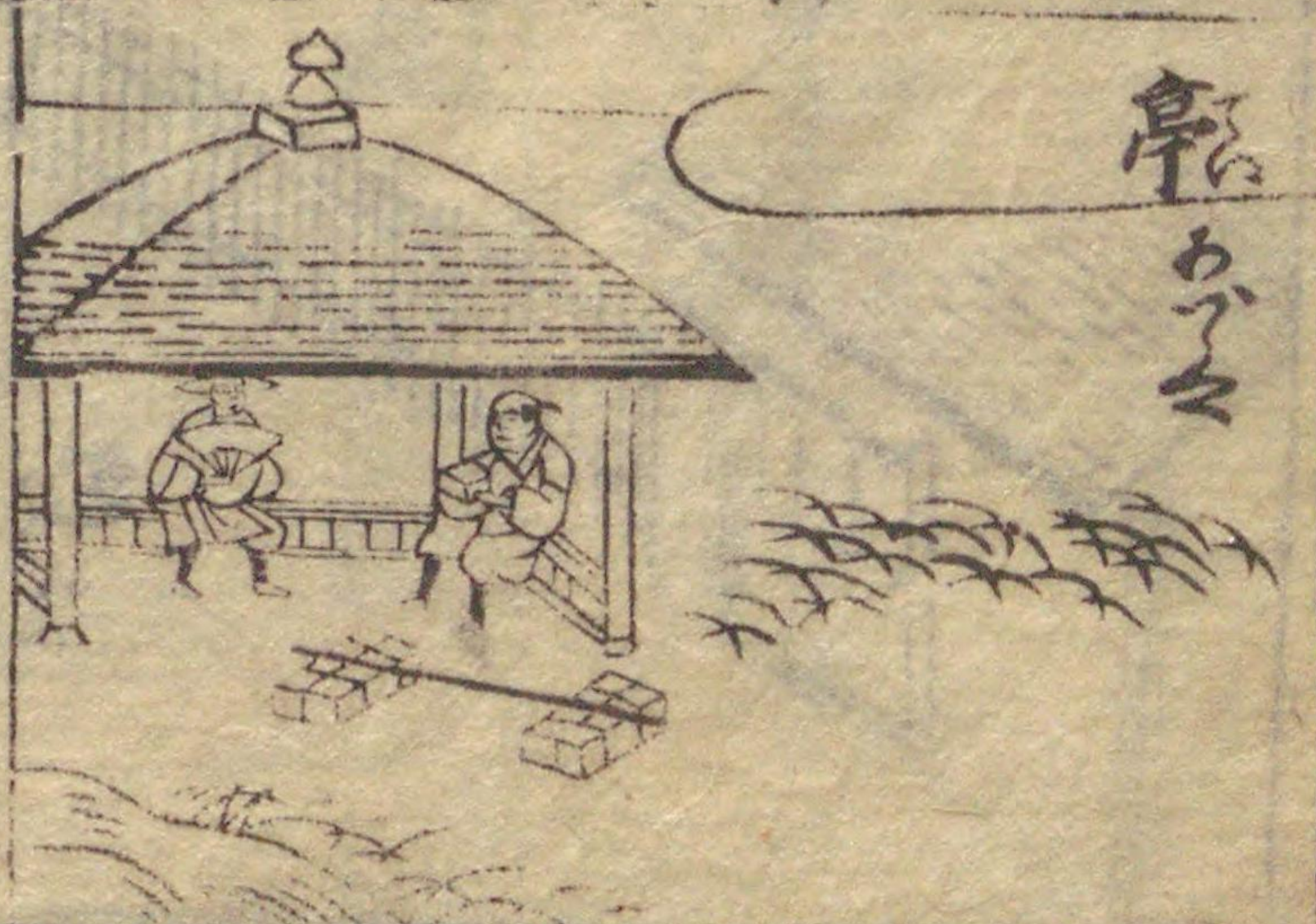


軒

○ 軒の道跡の舎  
ふ又行旅者舎  
乃館といふも  
いふは俗いといふ  
いふ又いふといふ  
と軒といふ

塔

○ 塔のいし堂の  
長安の慈恩寺に  
いふあり塔あり  
塔といふ進士  
名といふといふ  
塔婆浮圖といふ



軒

塔

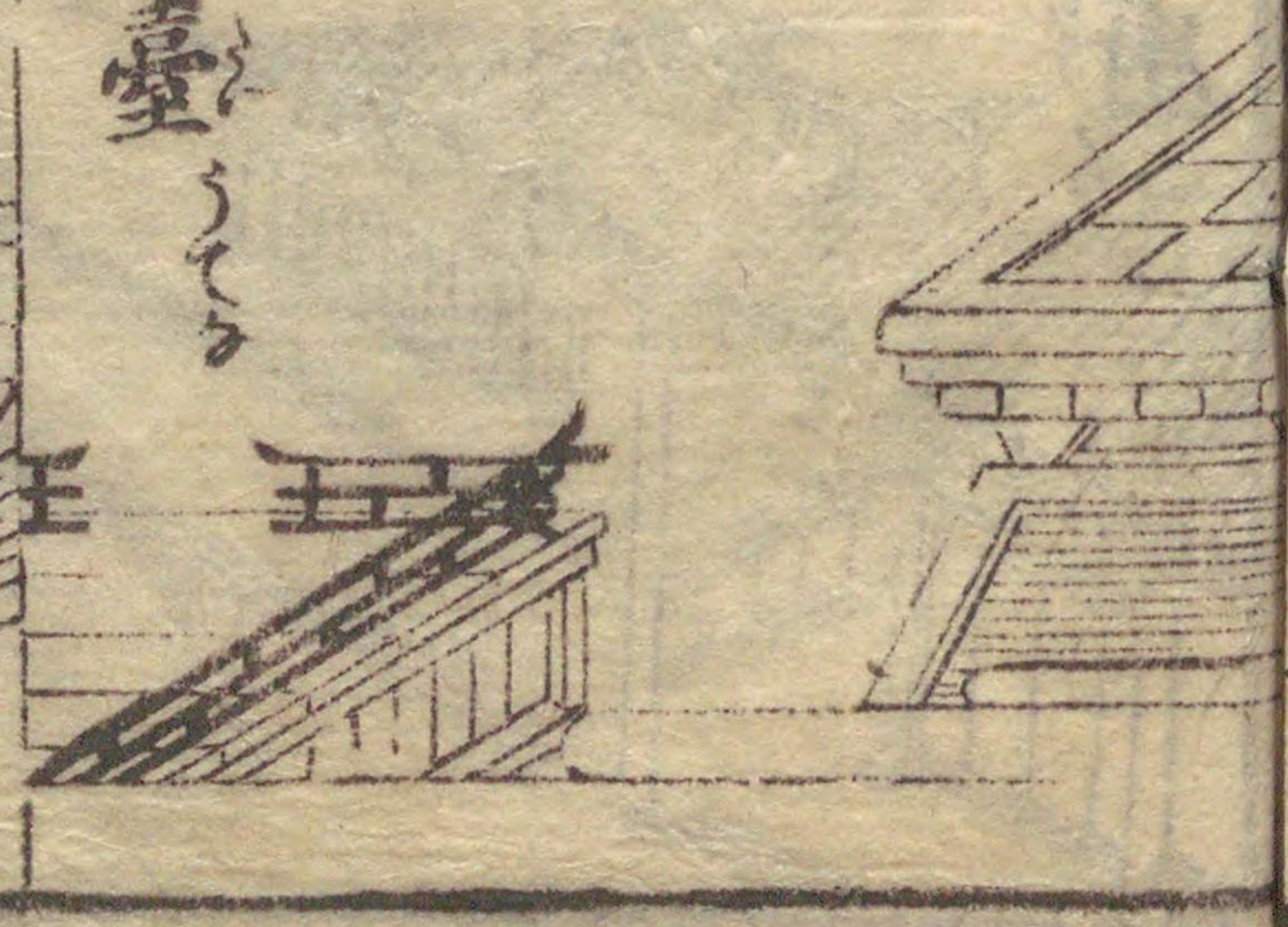


臺

臺のいし堂の  
いふといふと臺といふ  
臺といふ屋と架といふ  
臺といふといふ又  
臺といふといふ又  
臺といふ

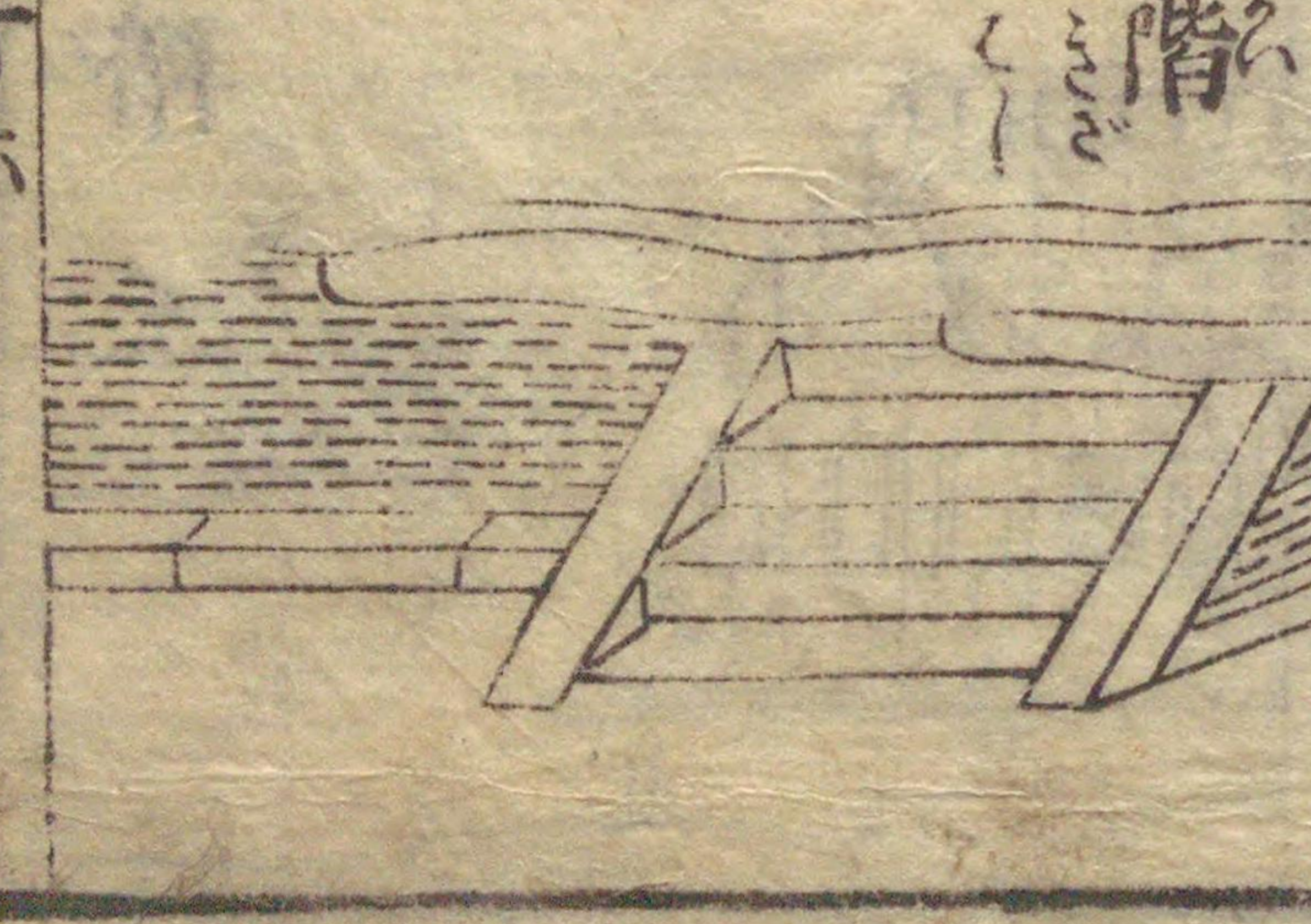
階

階のいし堂の  
いふといふと階といふ  
階といふ階といふ  
いふといふといふ  
いふといふといふ  
いふといふといふ



臺

階

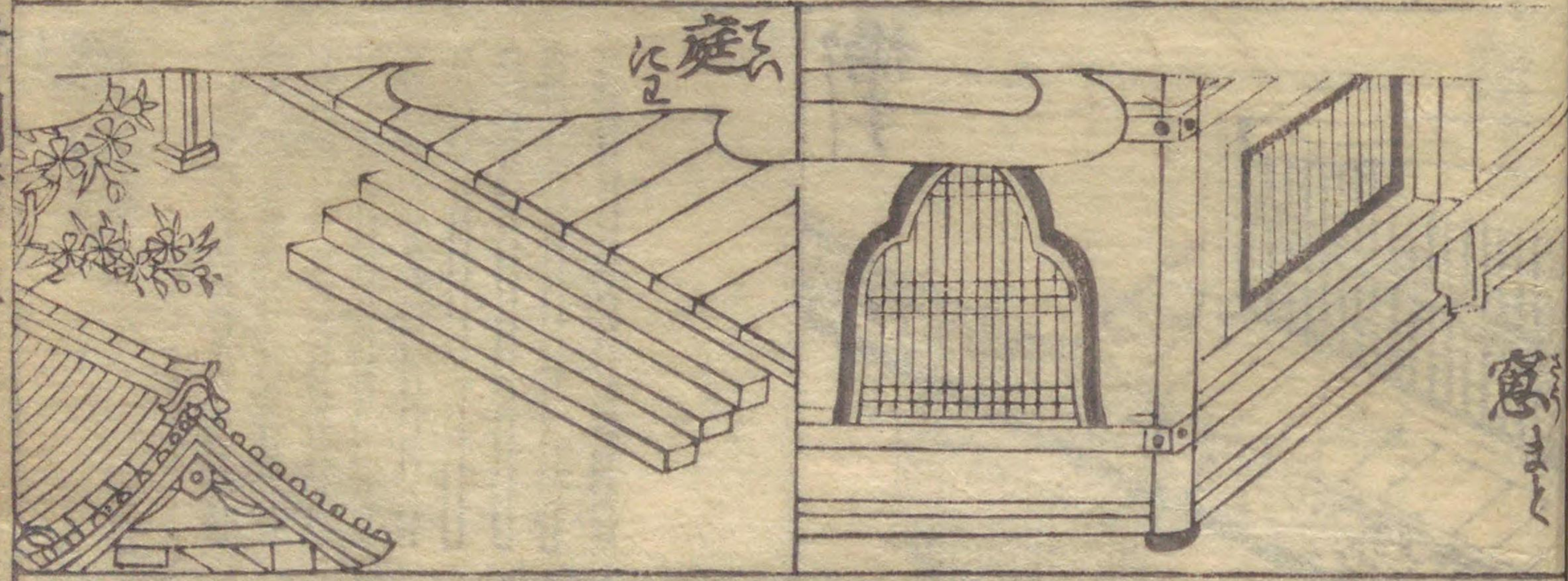




○庭の門扉の  
礎と起し又  
礎と起し又

庭

窓の釋名は窓  
の窓ありゆり  
外とありゆり  
ゆりて窓と身  
のまあり窓  
ゆりゆり  
紙窓 紙窓

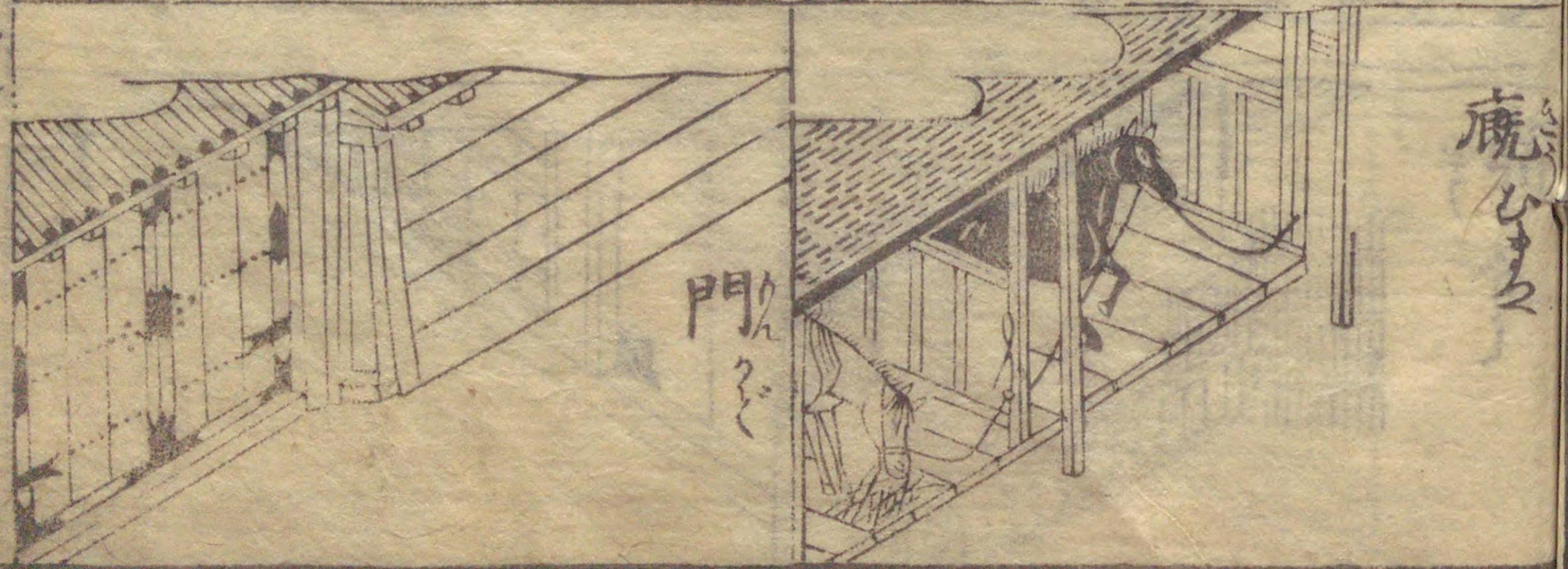


○門の  
兩戸とあり  
門闕あり

門

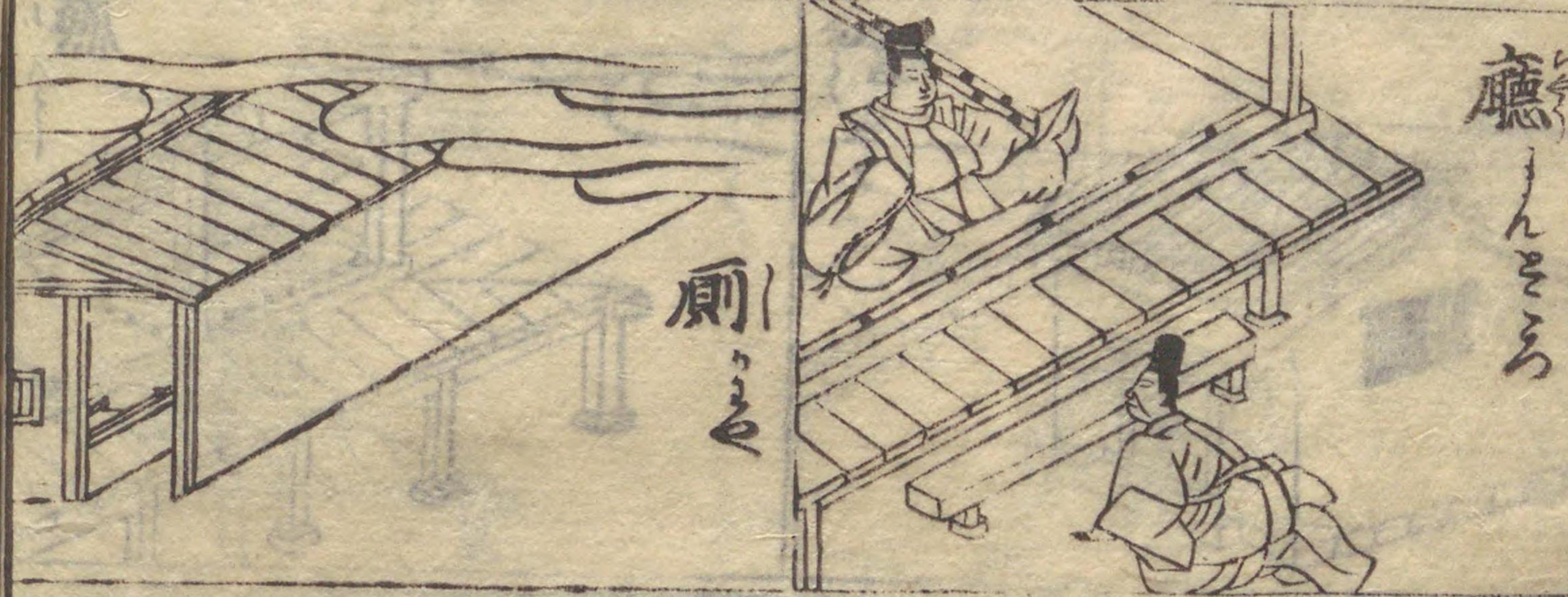
○廐の馬舎あり  
後の名を廐と  
とありて廐  
に柱とあり  
廐の上より又  
木と柱あり

廐



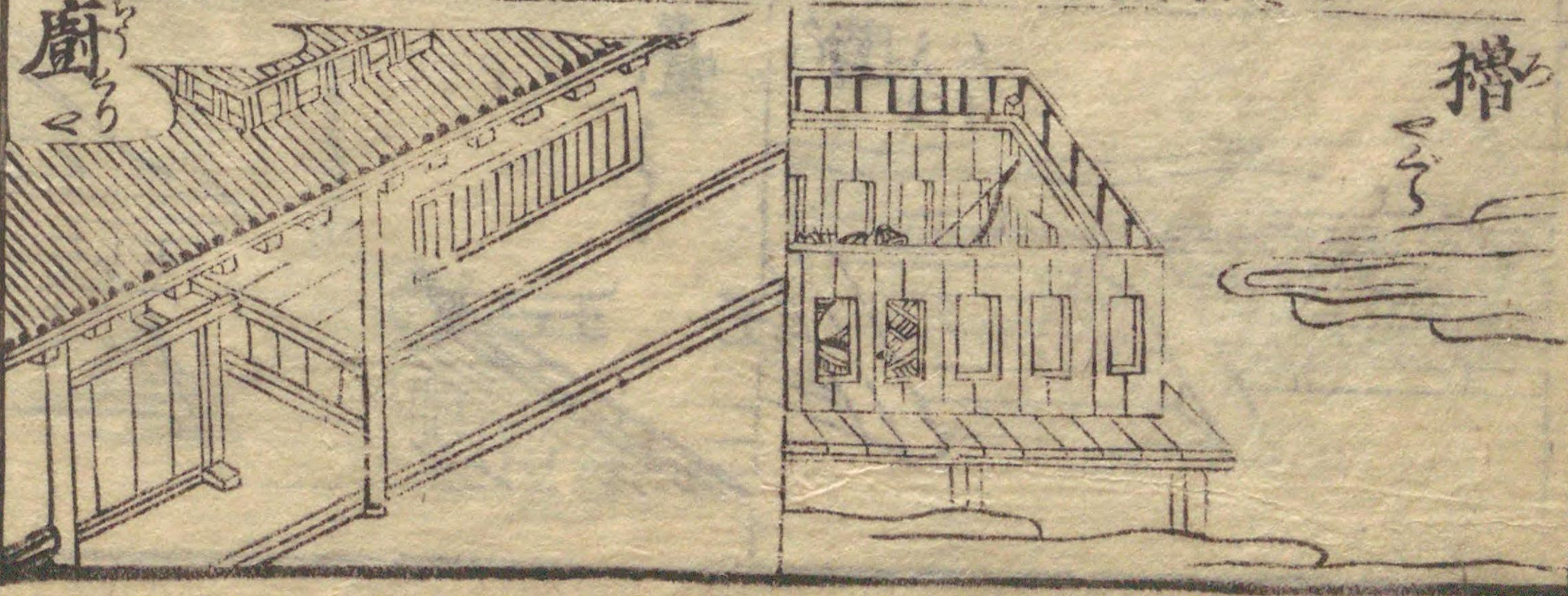
○廁の圓あり  
俗に雪隠と  
いふ言ひ  
不潔と清除と  
ゆりて名あり  
釋名は糞あり  
人の上より糞  
あり

廁



○櫓の臺あり  
不之今ハ料理乃  
向ありりりり  
りりりりりり  
器してありり  
りりり

櫓









捷けんののこ

○捷けんの限げん門もん木き  
也いま今いまのの木き  
ありあり捷けん門もん  
ありあり同どう

捷けんのこ

○捷けんのこ  
同どうトト造ぞう捷けんのこ點てん  
滴てき如に琴しん筑ちくとと詩し  
にもにもつつりり又また捷けんのこ  
ののわわのの捷けんのこ  
水みづののここにに捷けんのこ  
ありあり

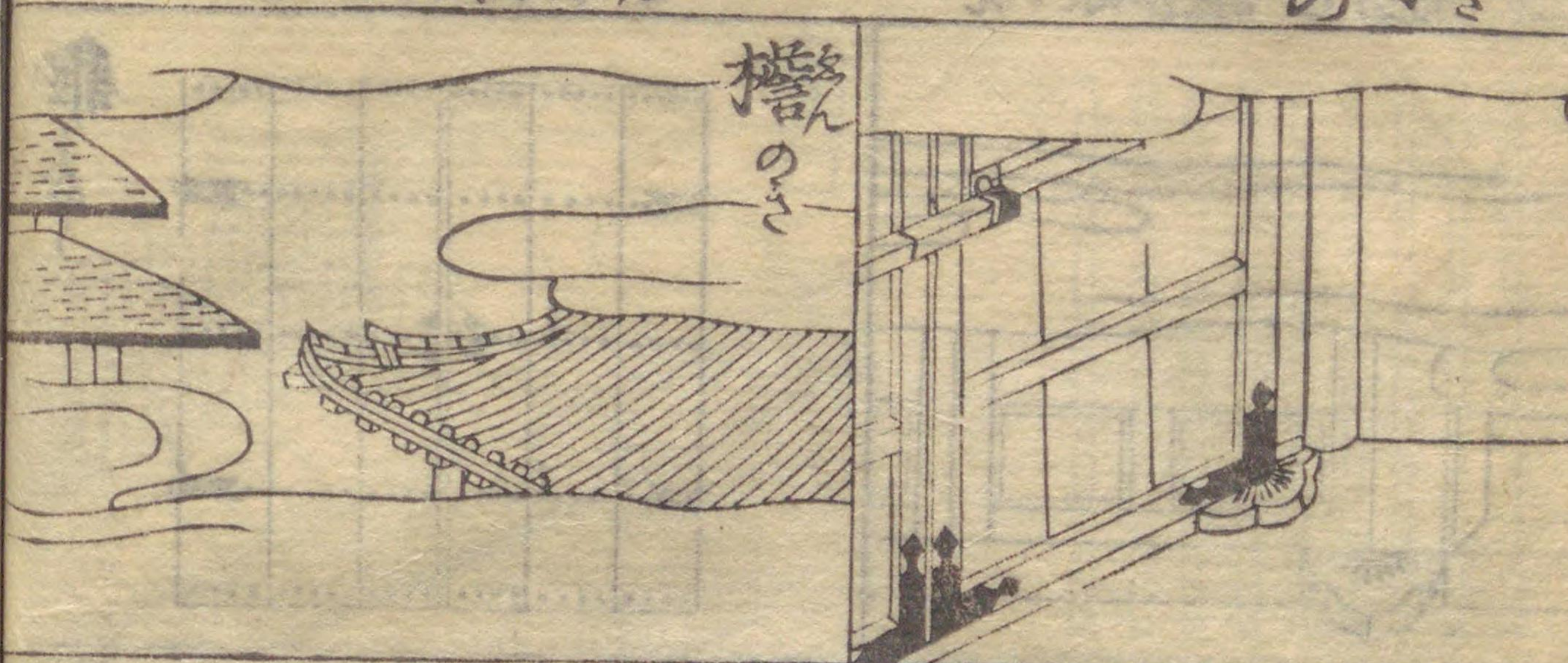
欄らん杆かんををいいぬ

○欄らん杆かんのの階き除じゆのの  
木き向むか欄らんのの間ま干かん  
ととををすすへへしし干かん又また  
欄らんのの心こころををととぬ  
欄らんのの心こころををととぬ

桁けらのの屋やのの横よこ木きをを  
又また是こゝににせせららべべるる  
とと桁けらのの心こころををととぬ  
わわりり又また衣い敷しきととか  
ららううとと衣い桁けらととか  
とと杜と子こ義ぎがが約やくす  
つつららりり

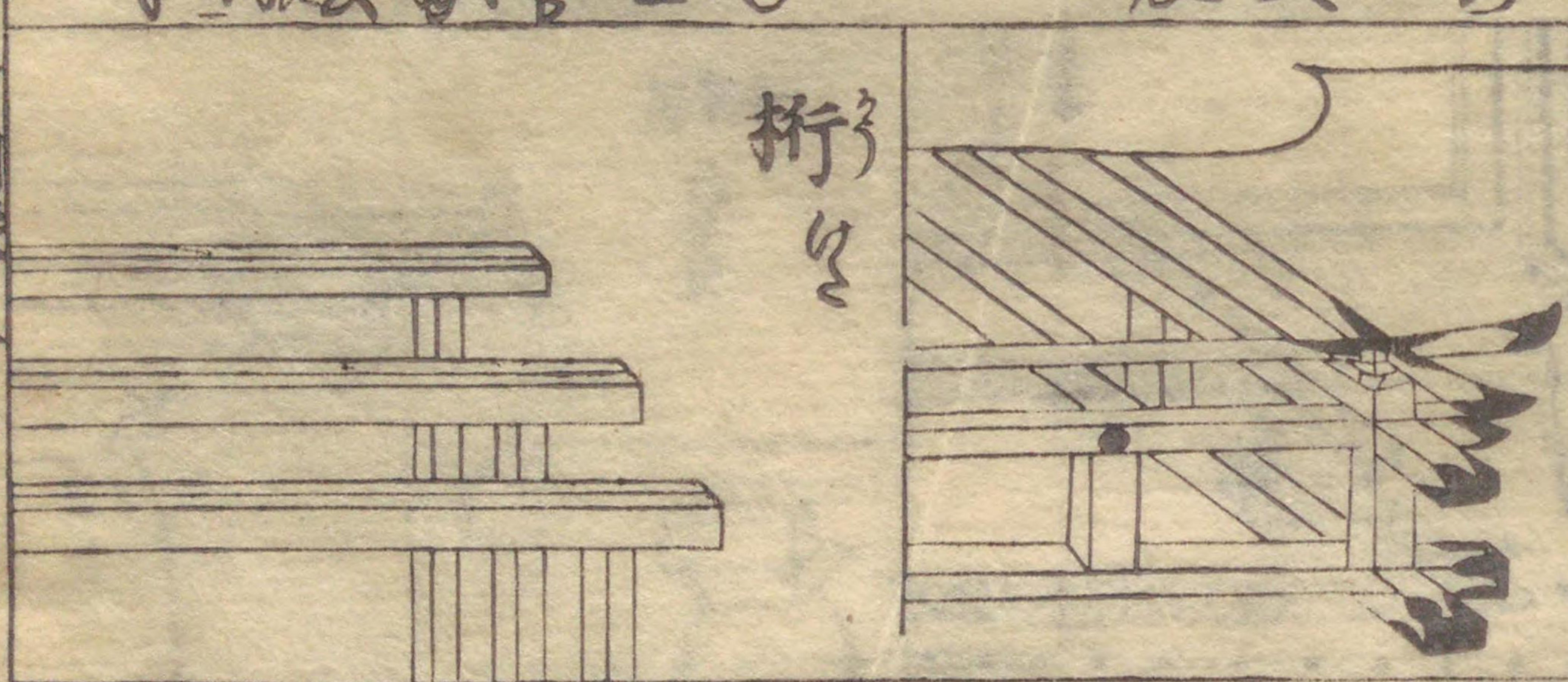
捷けんののこ

捷けんののこ



欄らん杆かんををいいぬ

桁けらのの



捷けんののこ

捷けんののこ  
殿てんのの心こころををととぬ  
わわりり又また衣い敷しきととか  
ららううとと衣い桁けらととか  
とと杜と子こ義ぎがが約やくす  
つつららりり

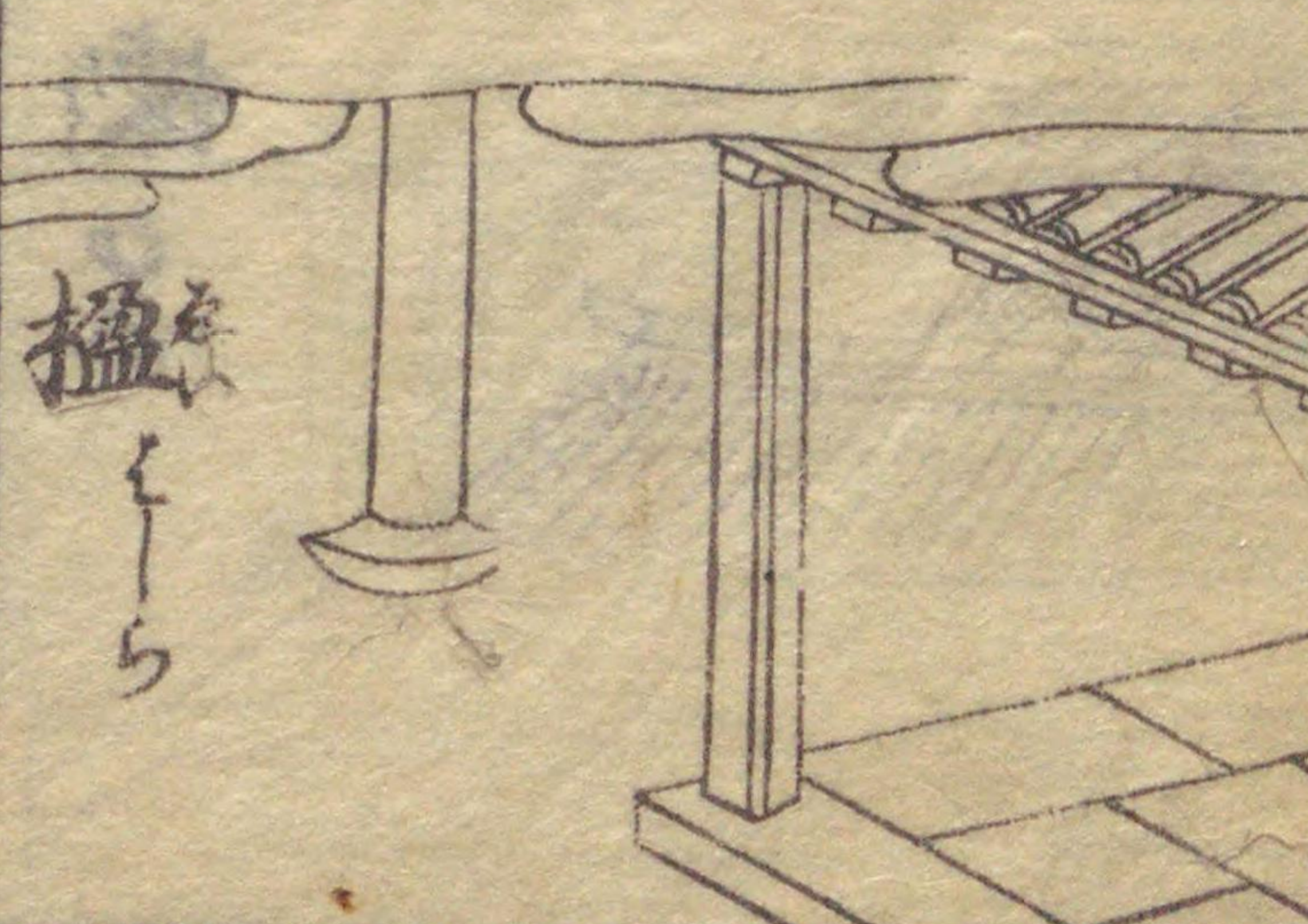
捷けんののこ

○捷けんののこ  
同どうトト造ぞう捷けんののこ點てん  
滴てき如に琴しん筑ちくとと詩し  
にもにもつつりり又また捷けんののこ  
ののわわのの捷けんののこ  
水みづののここにに捷けんののこ  
ありあり

屋やのの

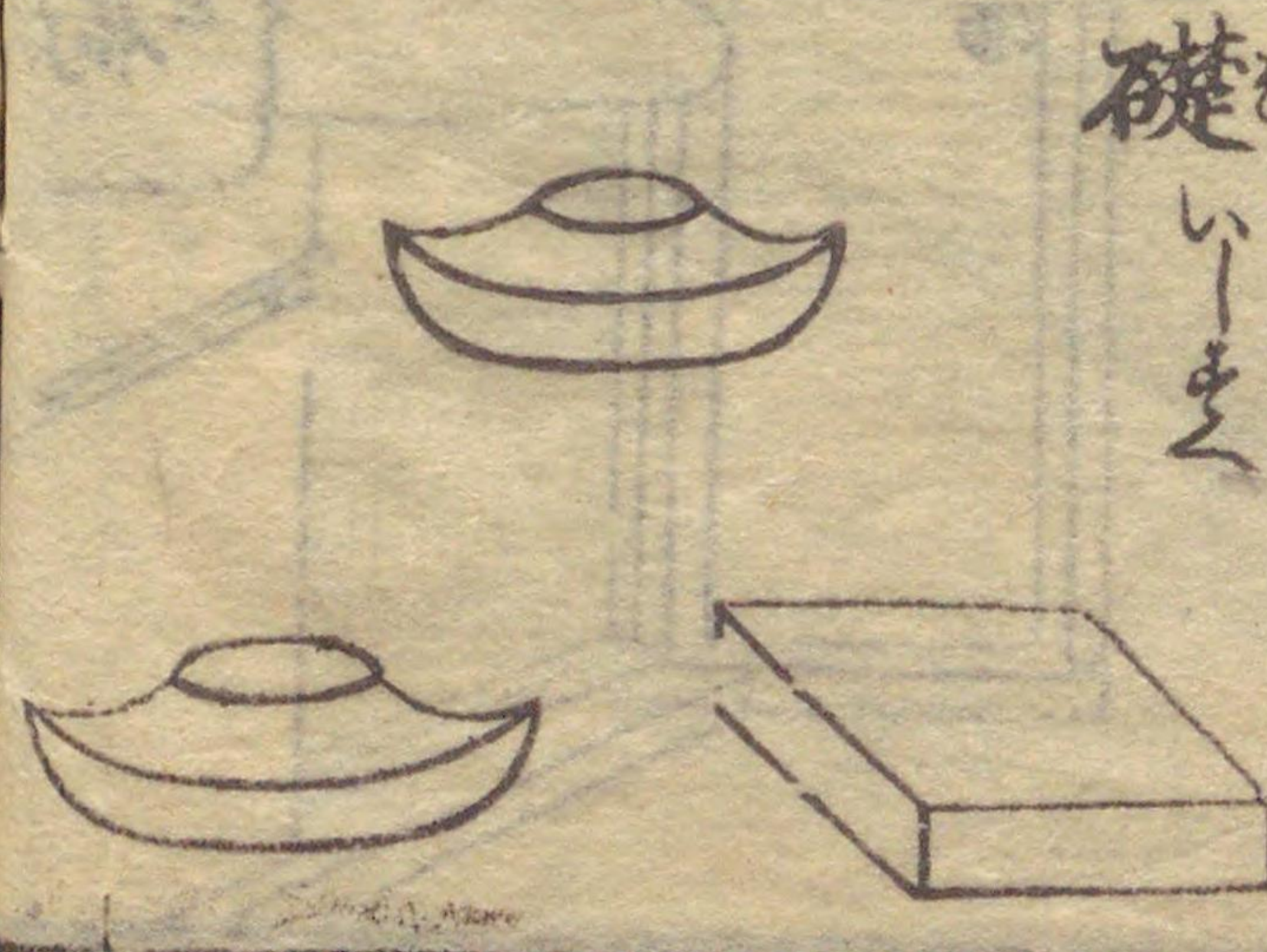
○屋やのの心こころををととぬ  
屋やとと慶けい屋やとといいふ  
すすとととととととととととと  
のの心こころををととぬ  
のの心こころををととぬ  
とと阿あ屋やとといいふ  
とと屋やとととととととととと

捷けんののこ  
縁えんのの心こころををととぬ  
とと阿あ屋やとといいふ  
とと屋やとととととととととと

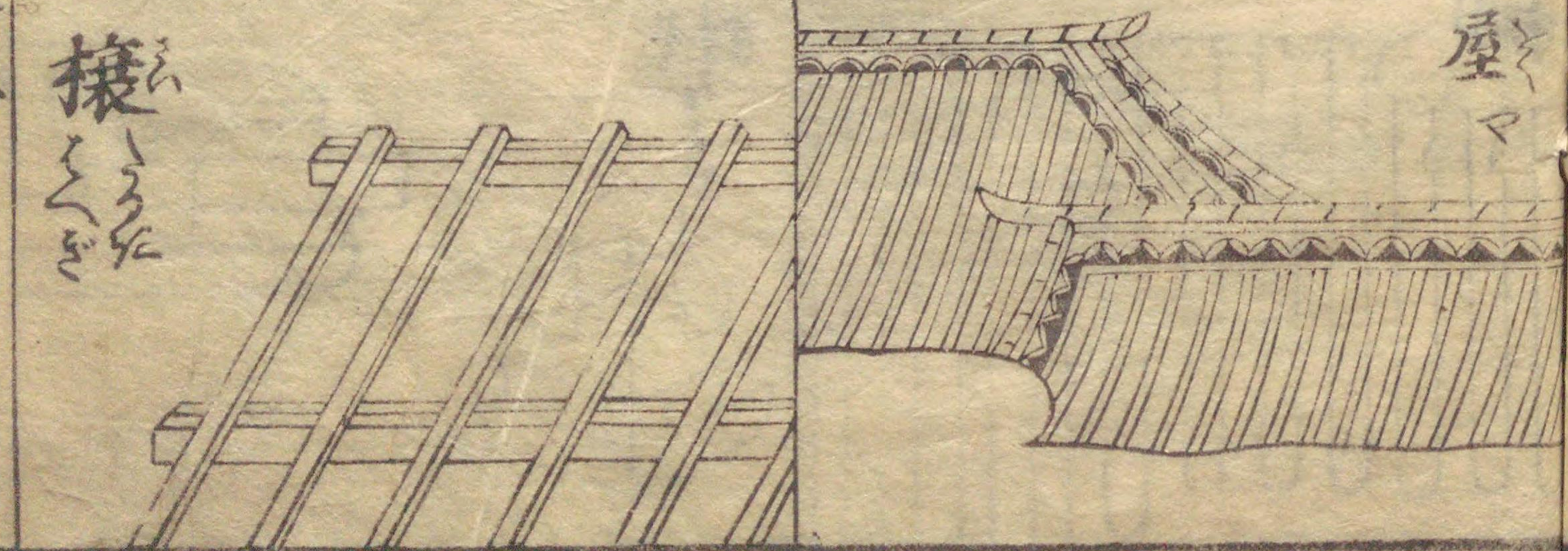


捷けんののこ

捷けんののこ



屋やのの

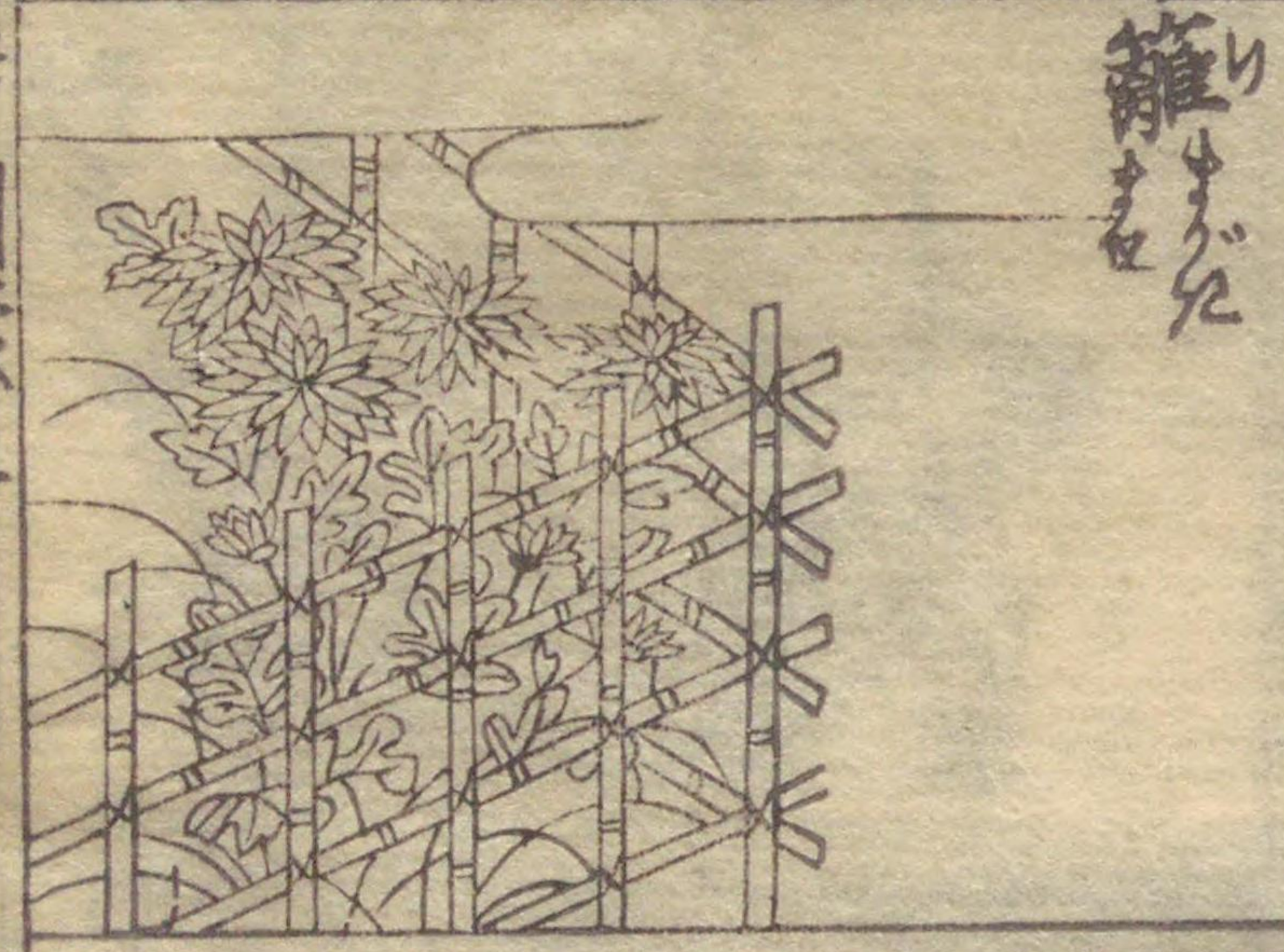


捷けんののこ

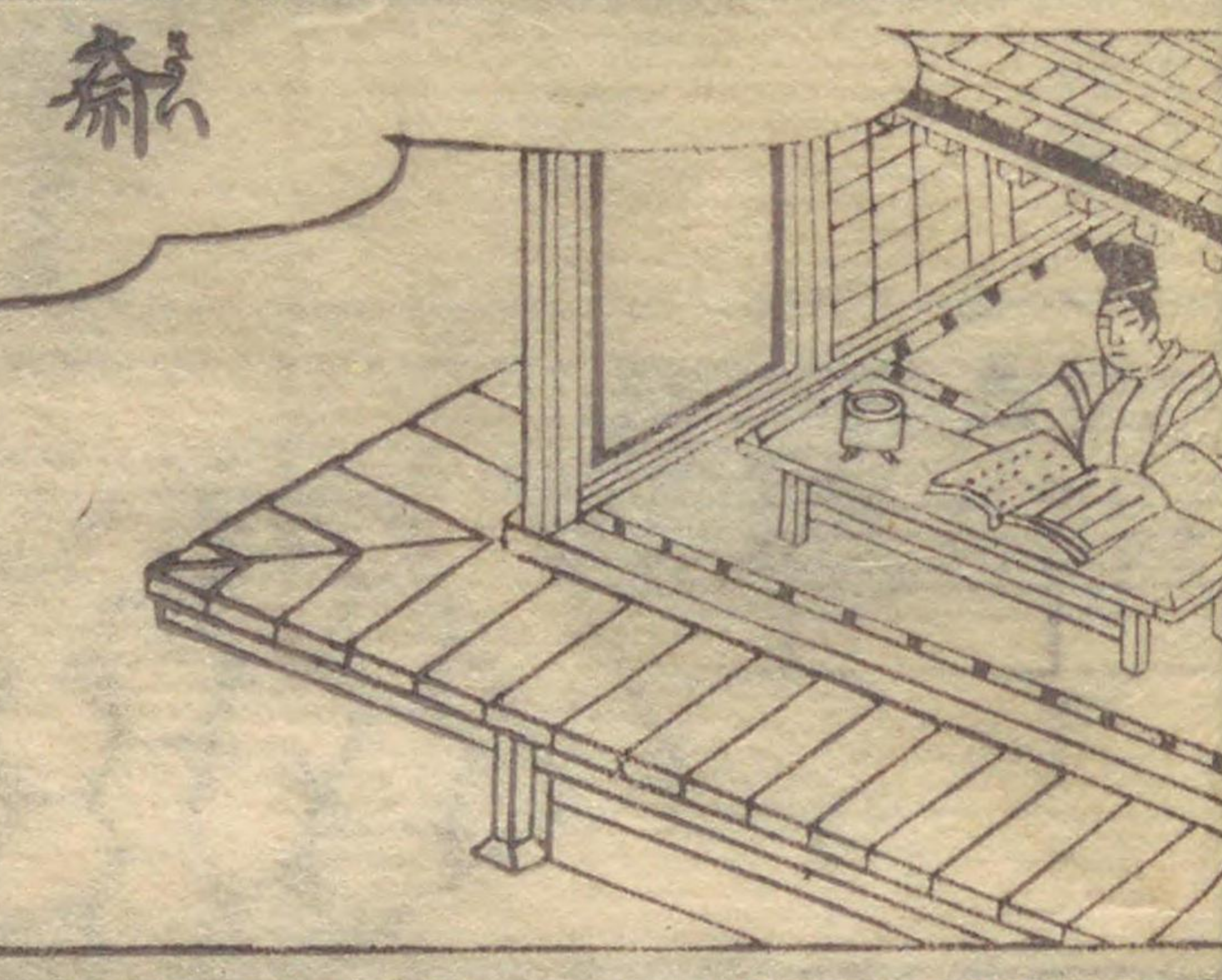


悠然對南山  
採菊東籬下  
陶淵明詩  
芭蕉の同  
○籬へ竹にてわ  
るるうらるる籬

籬  
まき

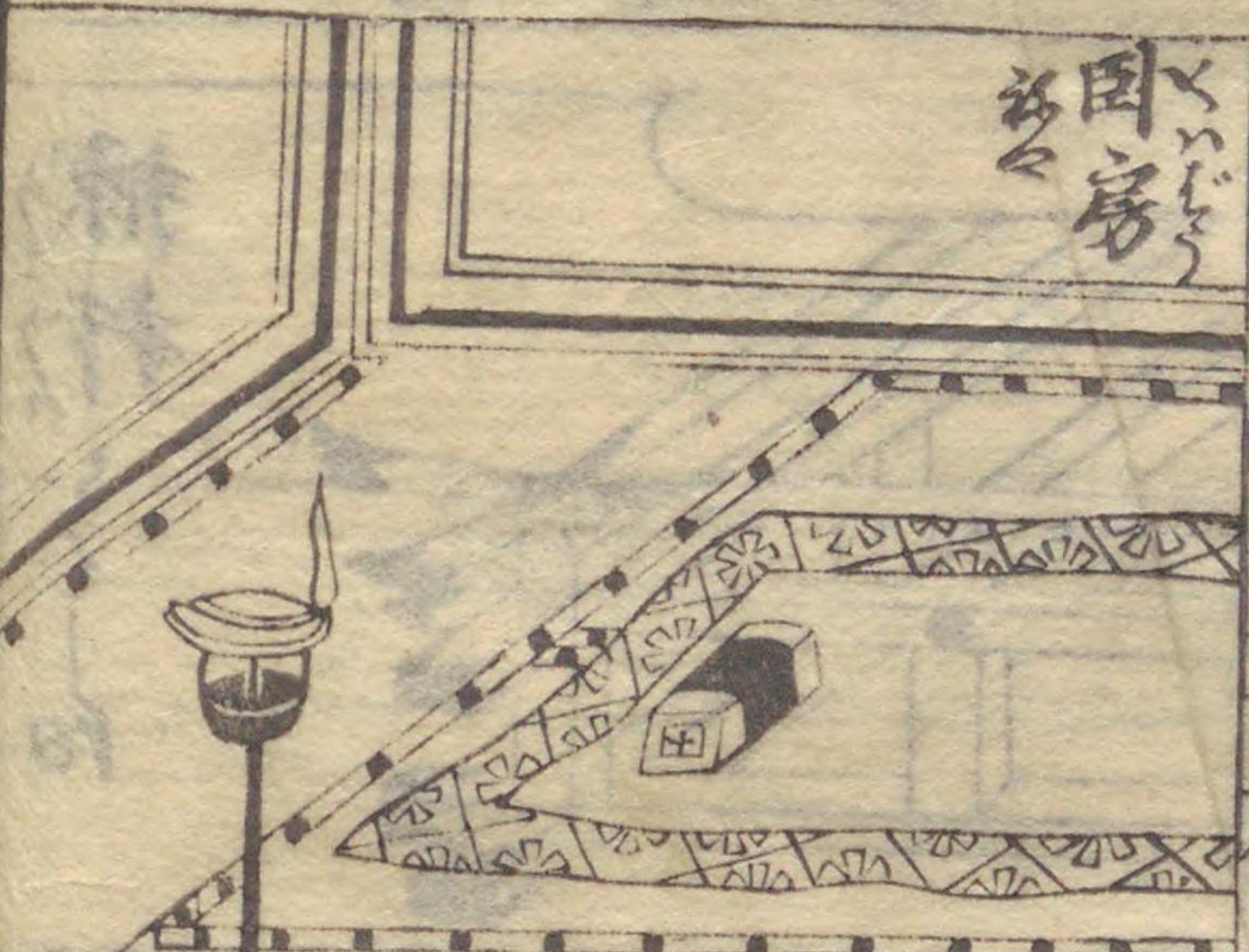


○齋の潔い心と  
法を齋よりあま  
文所のありあま  
香のありあま  
文所より人齋  
と付くはま  
文所よりま  
あり



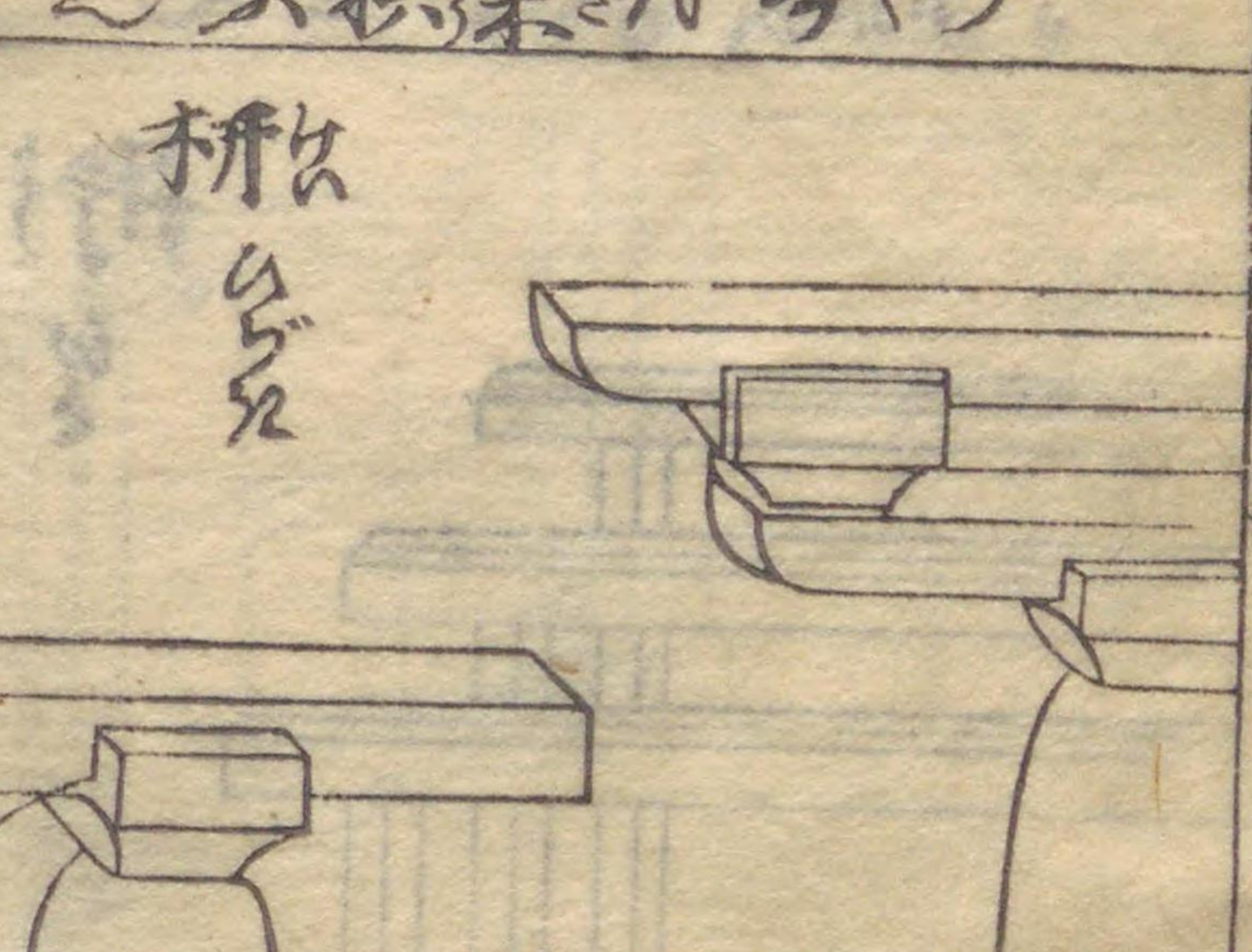
○睡房の寢室  
とをよ又聞房  
とをよ天子の  
寝所と夜  
敷しふ

睡房  
まき



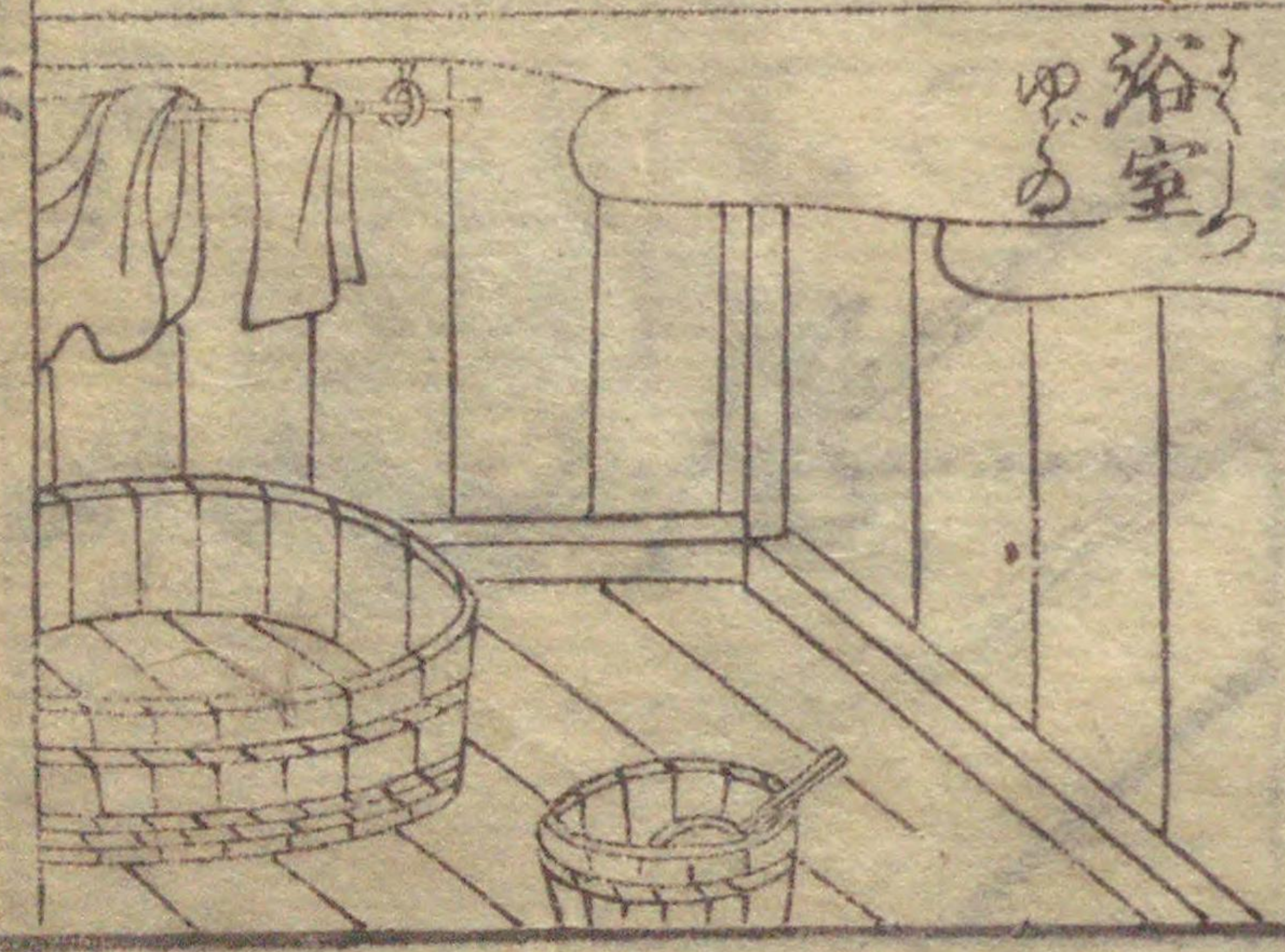
○柵の  
柵の  
柵の  
柵の

柵  
まき



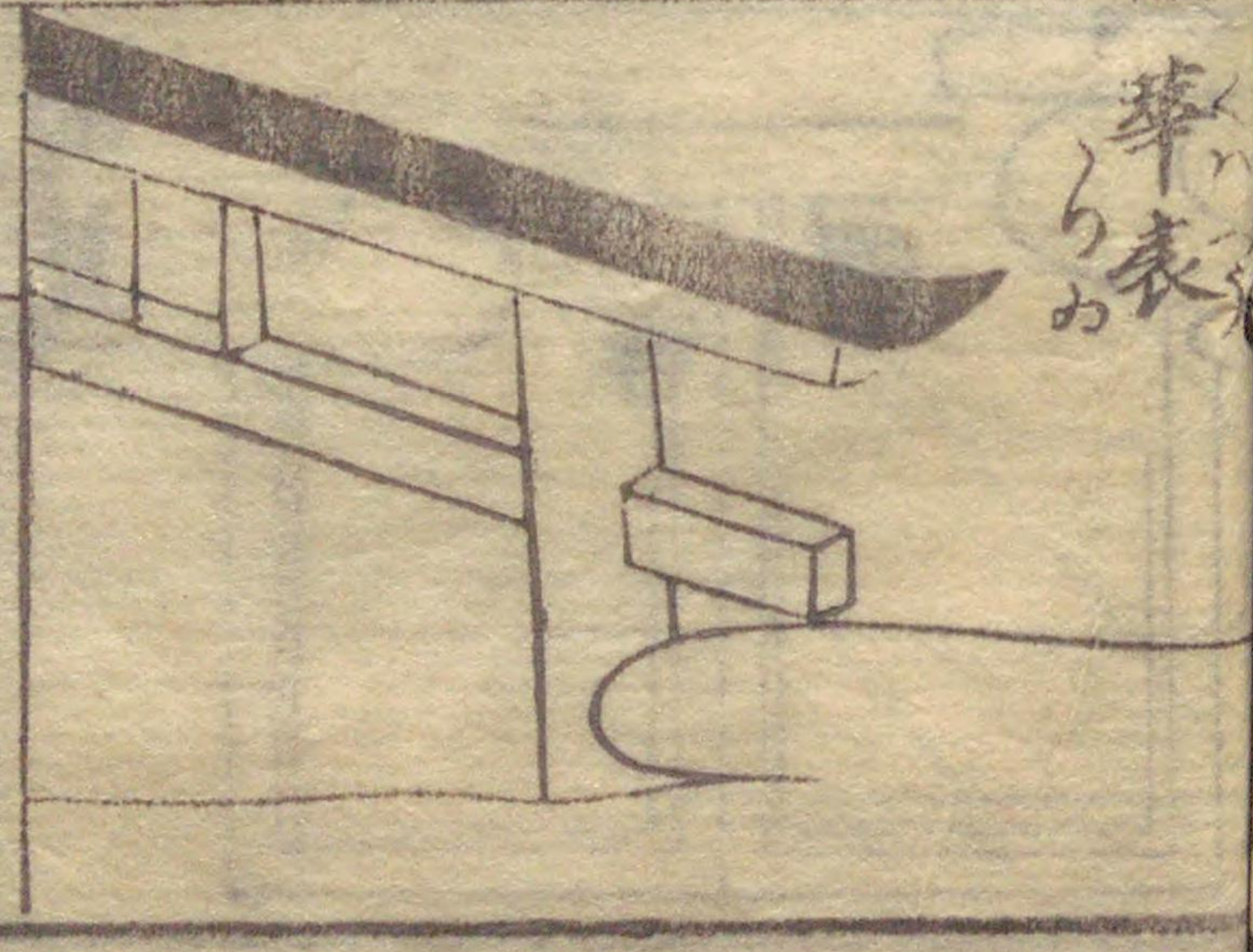
○浴室の沐浴  
を浴室と類  
を浴室と類  
を浴室と類

浴室  
まき



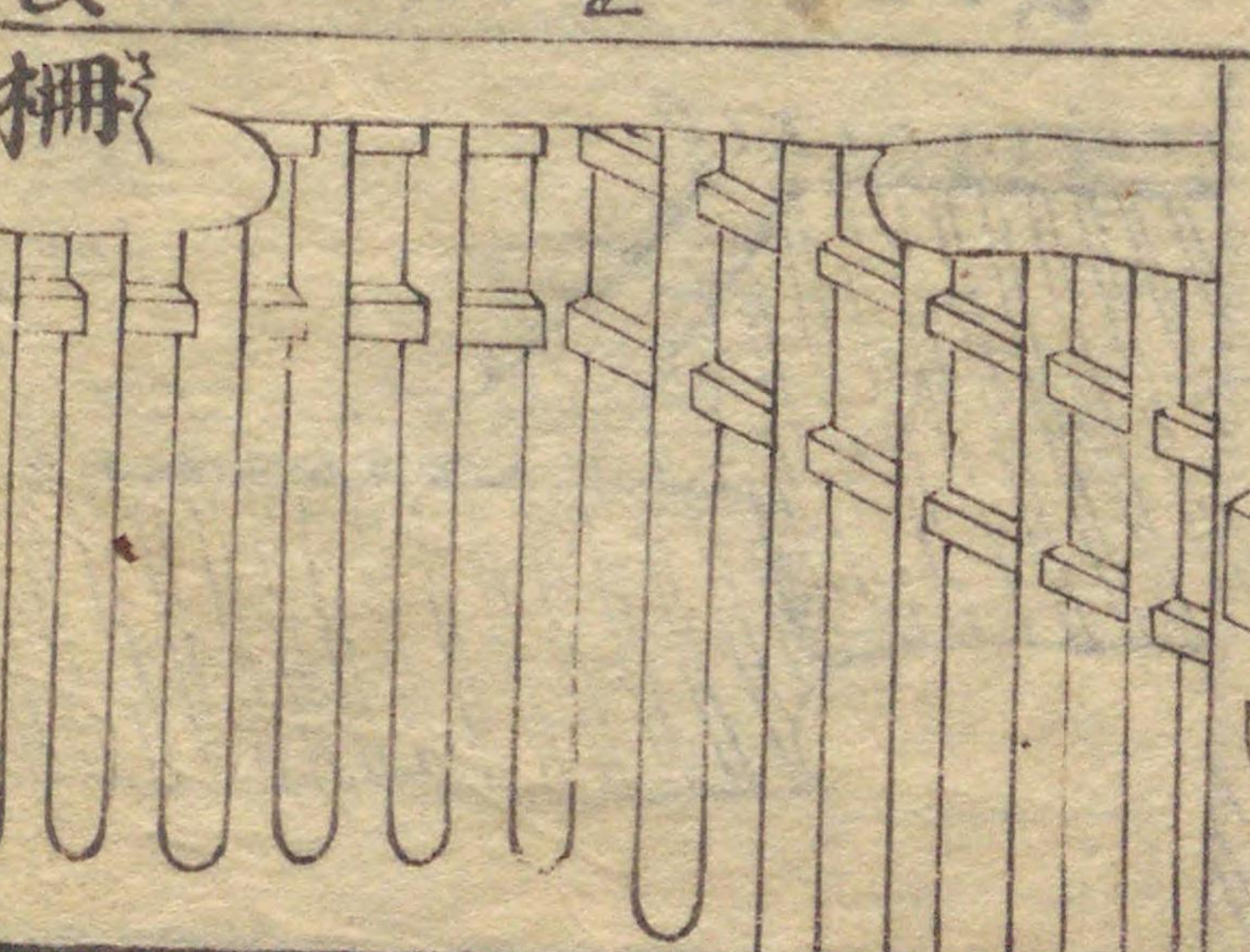
○華表の  
乃多井の  
ありせよ又天乃  
ありせよ又天乃  
ありせよ又天乃

華表  
まき



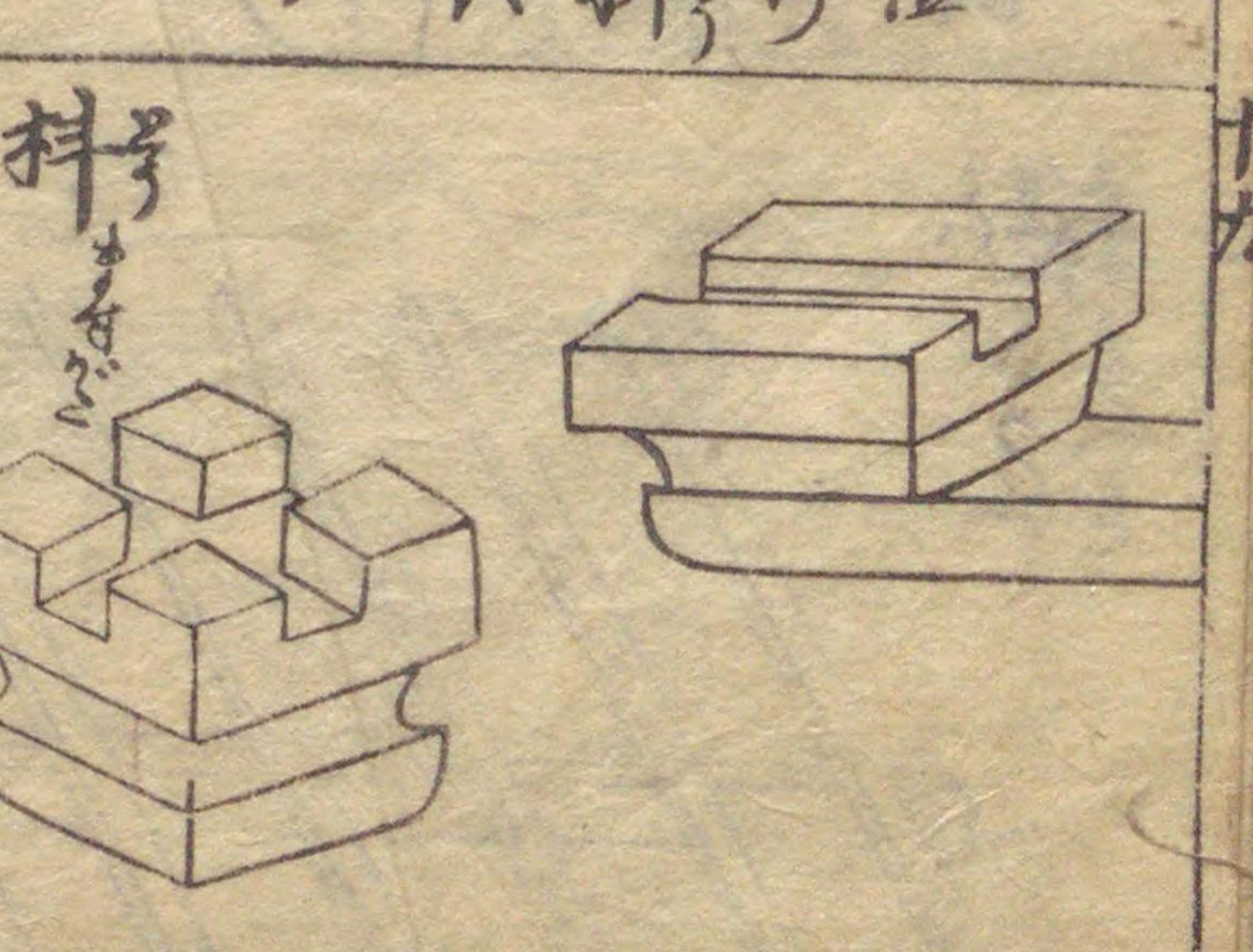
○柵のおとわ  
てとれとつら  
軍陣の  
同しとつら  
俗とつら  
ともつら

柵  
まき



○柵の  
柵の  
柵の  
柵の

柵  
まき









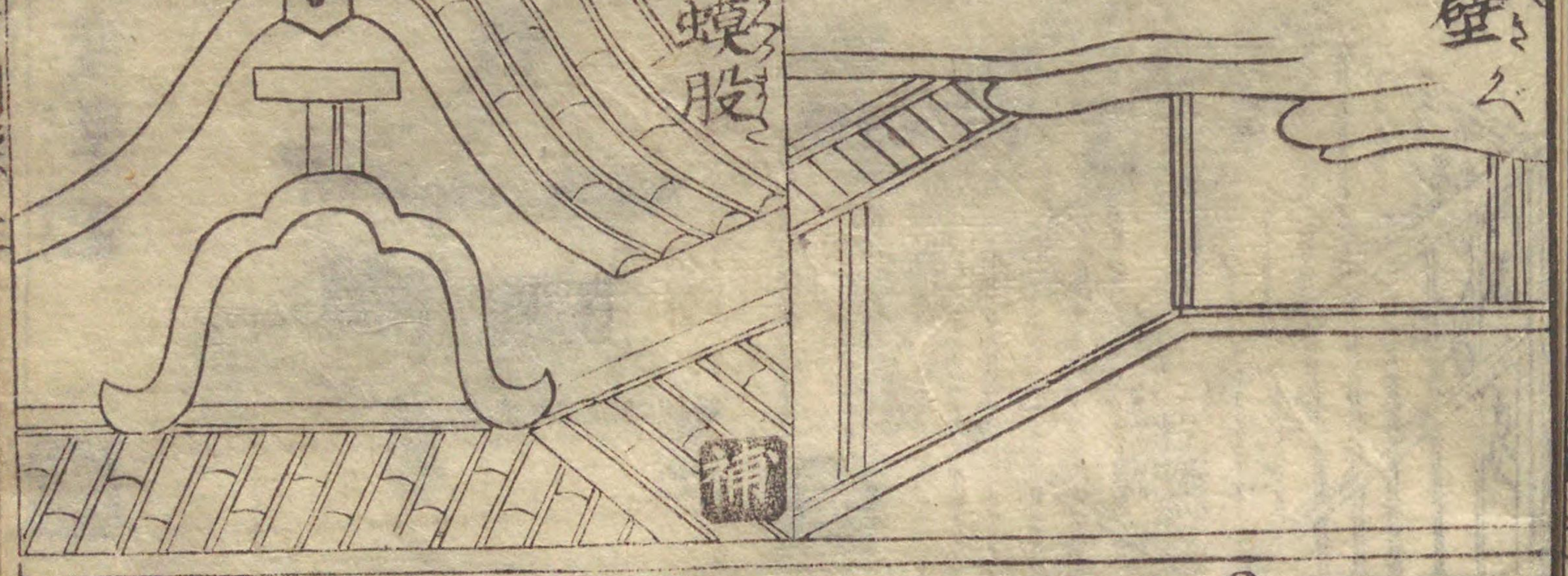
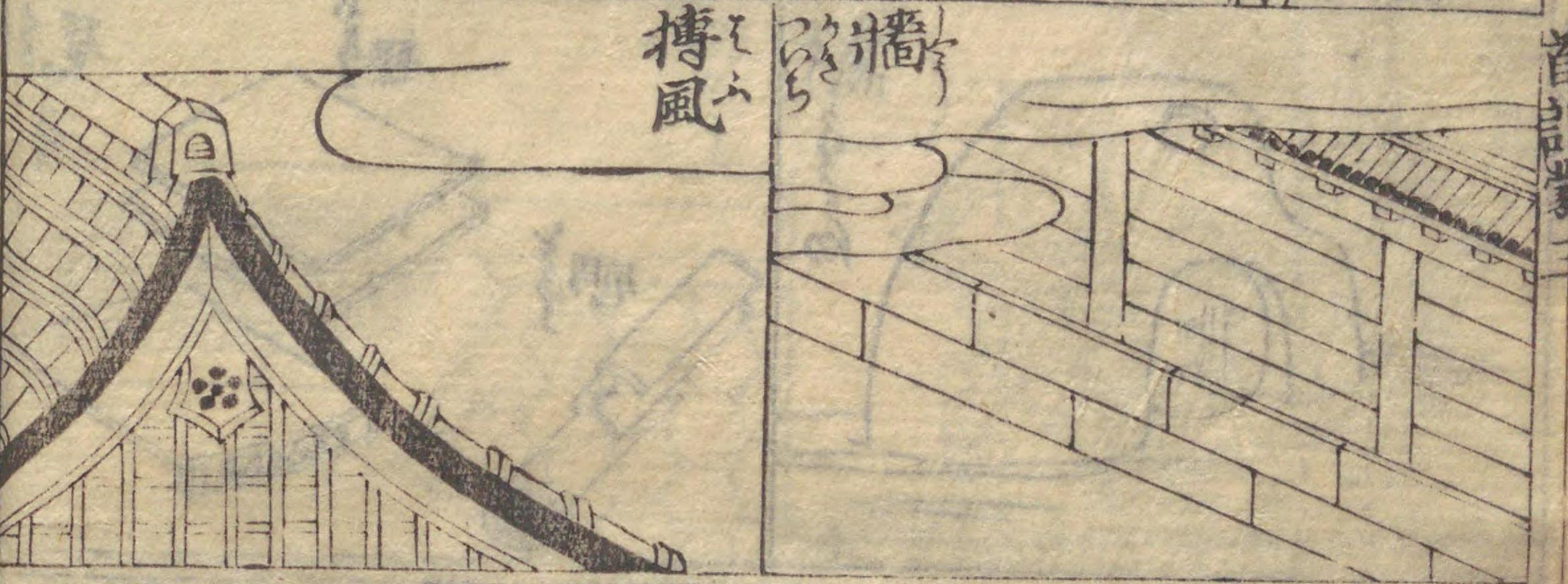
牆の牆垣は、  
らふよ同又門扉  
と蕭牆といふ蕭  
が言ひ蕭のり君  
臣のいふまゝゆり  
のれは門扉は  
りらて蕭敬と  
くふらあり

搏風 搏風は、  
搏風は、  
搏風は、  
搏風は、  
搏風は、  
搏風は、  
搏風は、  
搏風は、

壁は、  
壁は、  
壁は、  
壁は、  
壁は、  
壁は、  
壁は、  
壁は、

壁は、  
壁は、  
壁は、  
壁は、  
壁は、  
壁は、  
壁は、  
壁は、

壁は、  
壁は、  
壁は、  
壁は、  
壁は、  
壁は、  
壁は、  
壁は、

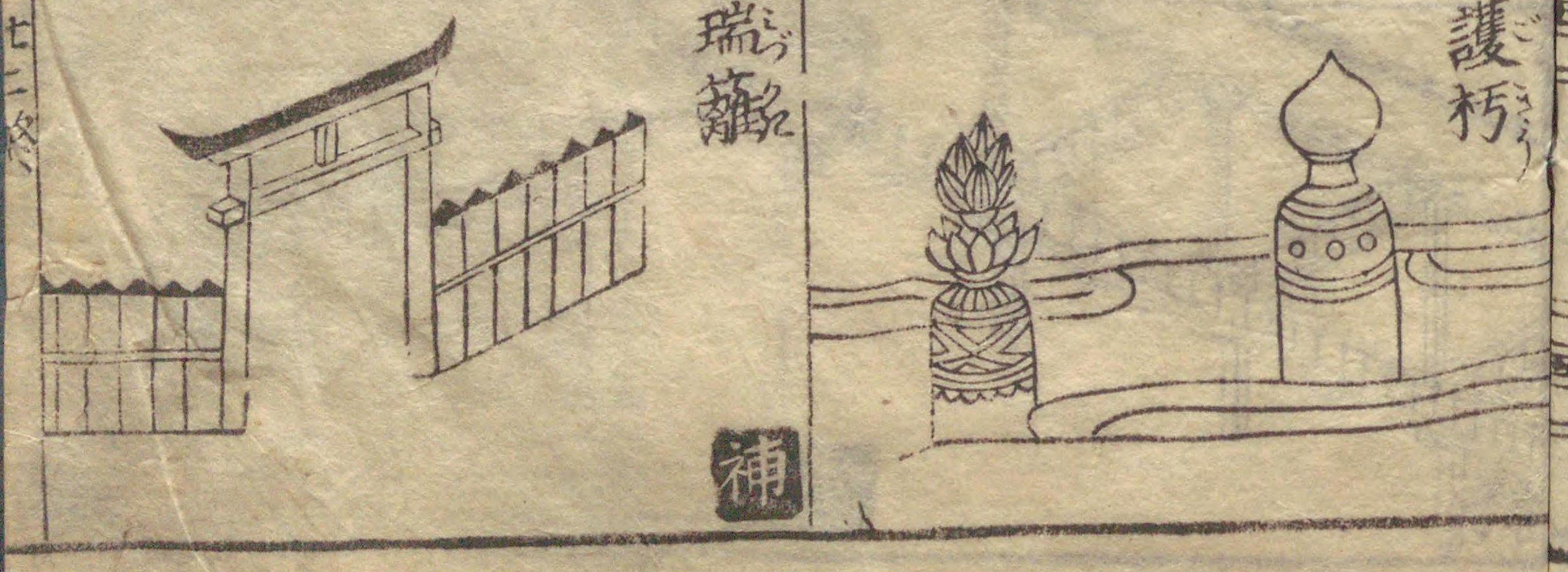
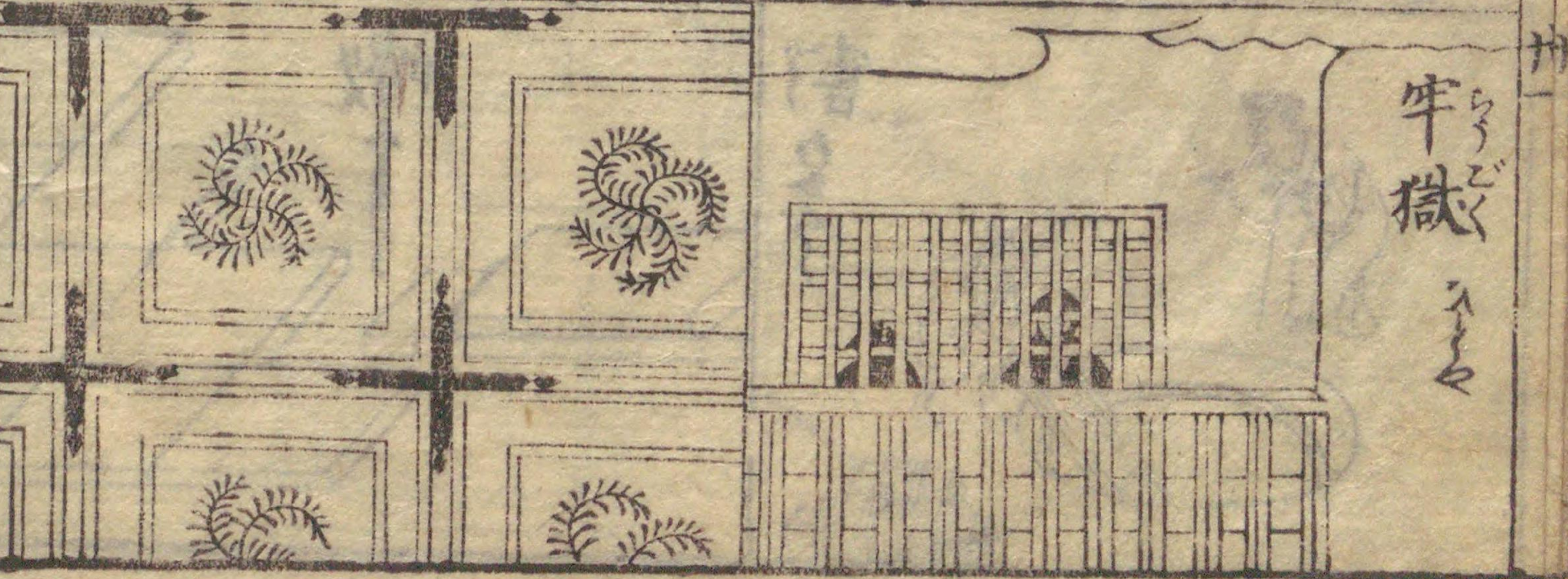


牢獄の罪人  
囚は、  
囚は、  
囚は、  
囚は、  
囚は、  
囚は、  
囚は、

藻井は、  
藻井は、  
藻井は、  
藻井は、  
藻井は、  
藻井は、  
藻井は、  
藻井は、

護柵は、  
護柵は、  
護柵は、  
護柵は、  
護柵は、  
護柵は、  
護柵は、  
護柵は、

瑞籬は、  
瑞籬は、  
瑞籬は、  
瑞籬は、  
瑞籬は、  
瑞籬は、  
瑞籬は、  
瑞籬は、



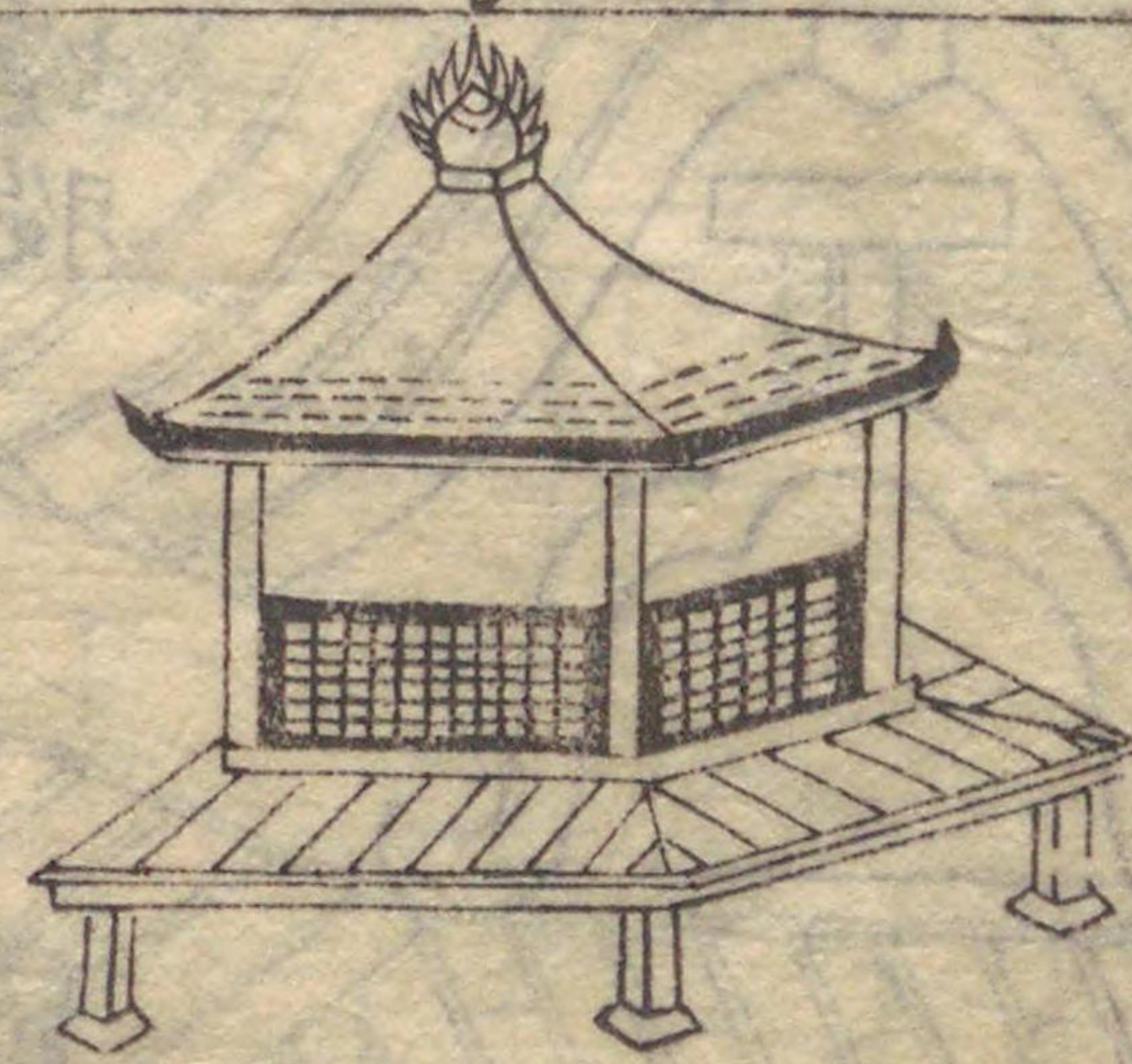
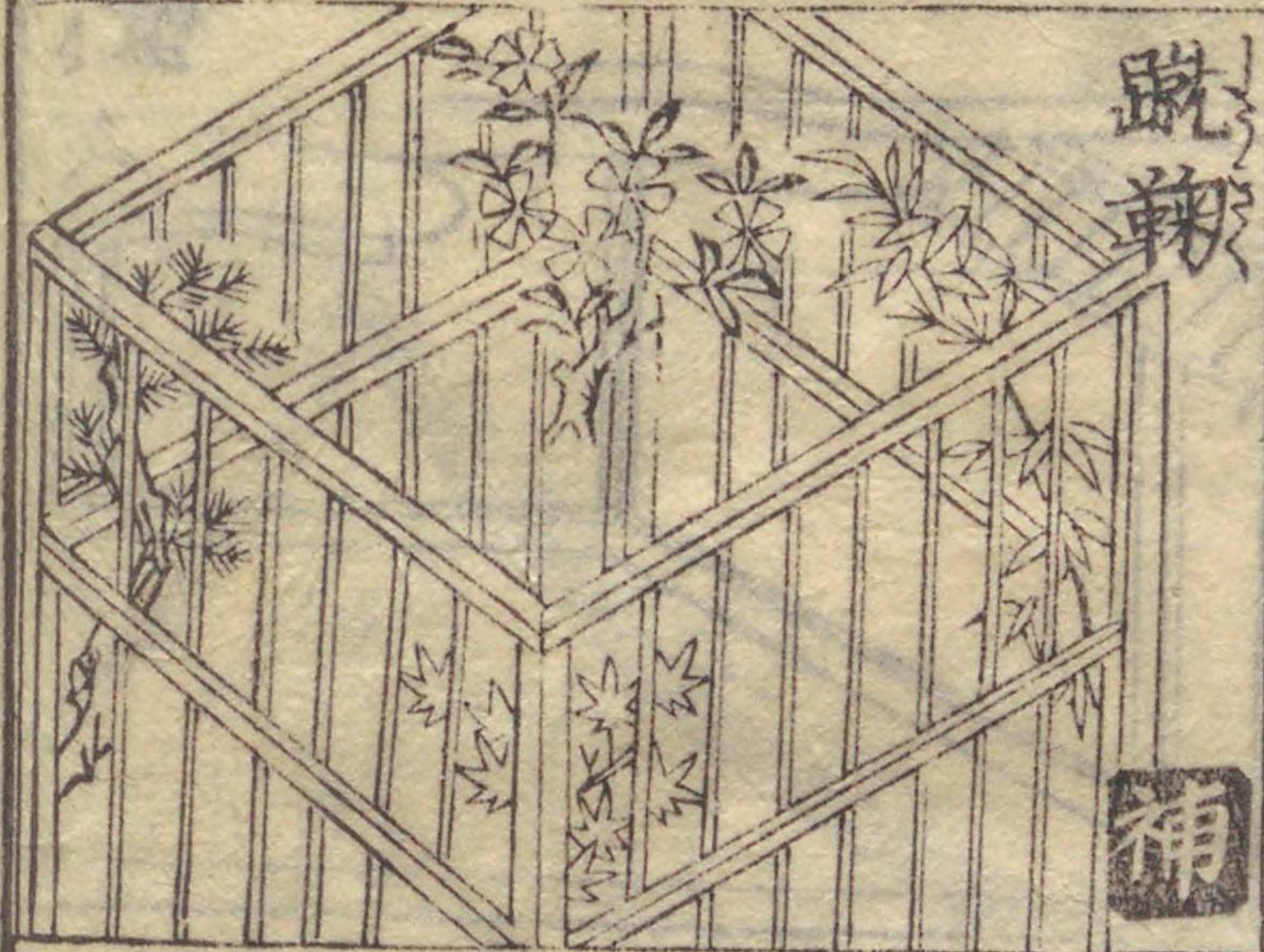


031  
36  
2

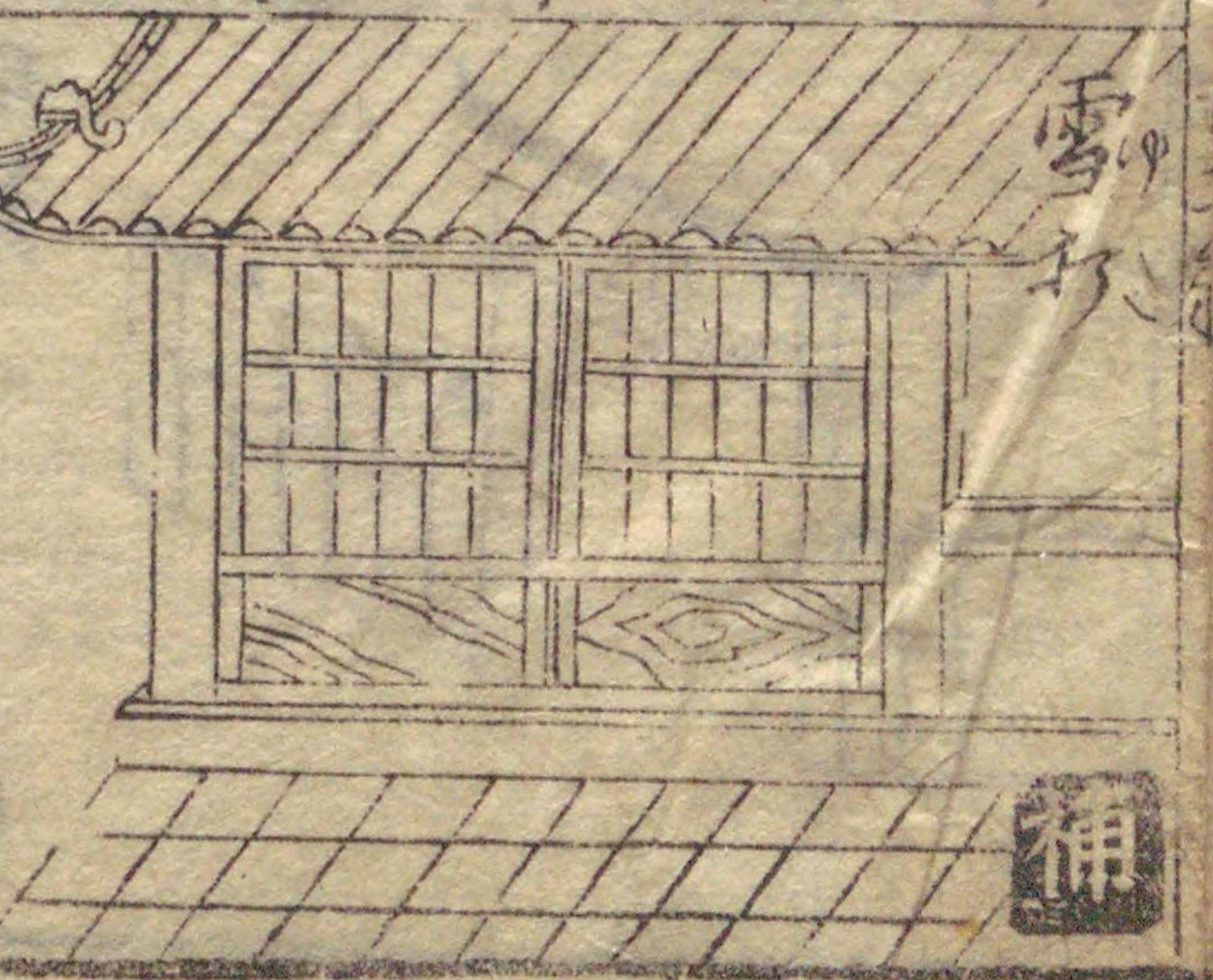
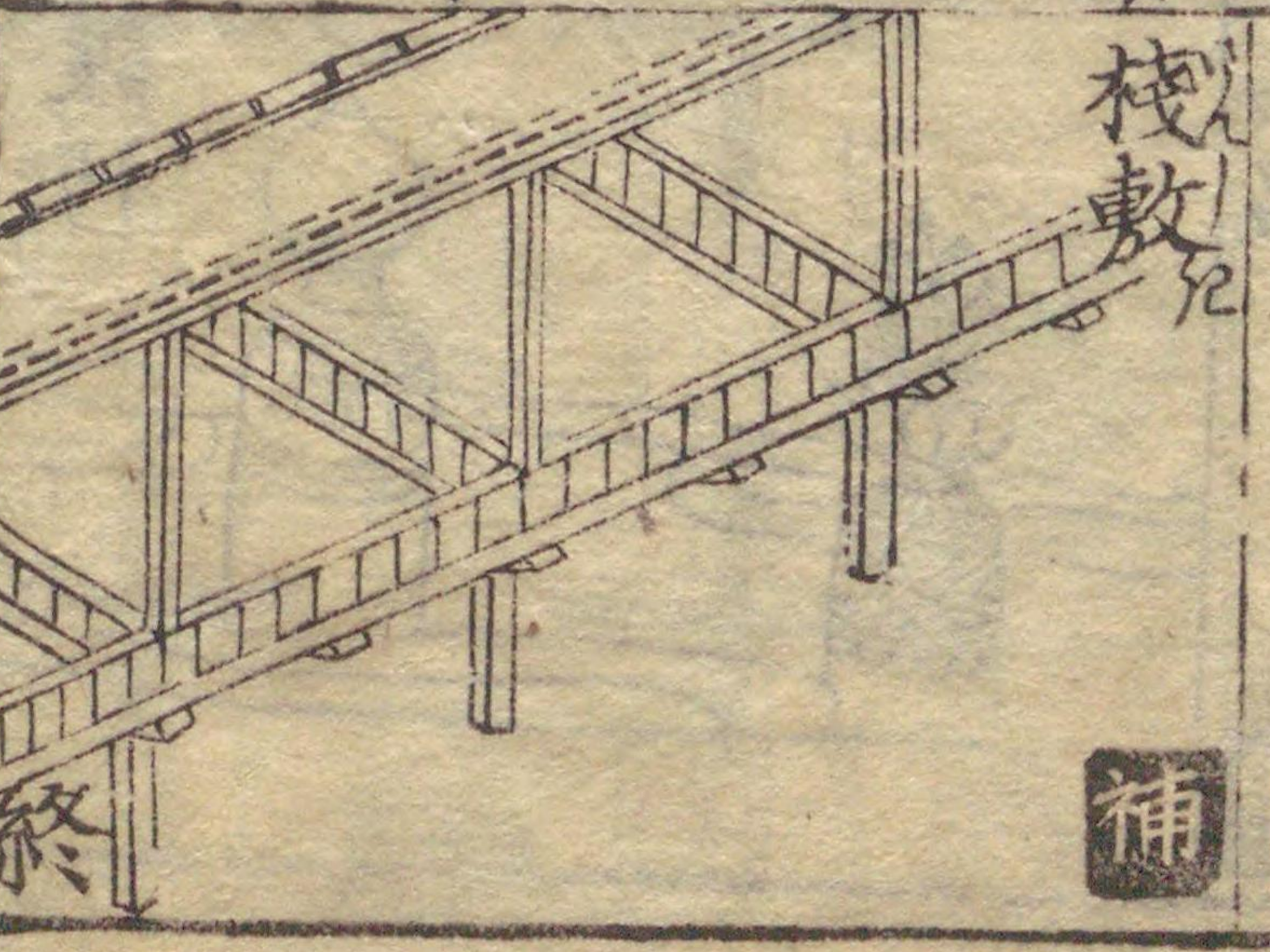
20320

護摩堂  
護摩の梵語  
焚燒と翻譯  
そまらねば獲  
摩しくとこの  
室言の獲摩  
と依る獲摩  
そのまらねば  
護摩の梵語  
護摩の梵語  
護摩の梵語

護摩堂



雪打  
雪打の併敷  
閣又ハ二階あり  
にありとれん雨  
雪かしのあり  
とくくまをれん  
様子おまかせと  
りあり  
椽敷  
椽敷の併敷  
あり椽敷の併敷  
又うけりあり云  
べくぞ椽敷か  
まのりあり云  
る







国立国会図書館 頭書増補訓蒙図彙 21巻 わ031-36

ガラス使用